

第3章 在宅医療の実施内容

1 訪問診療実施内容

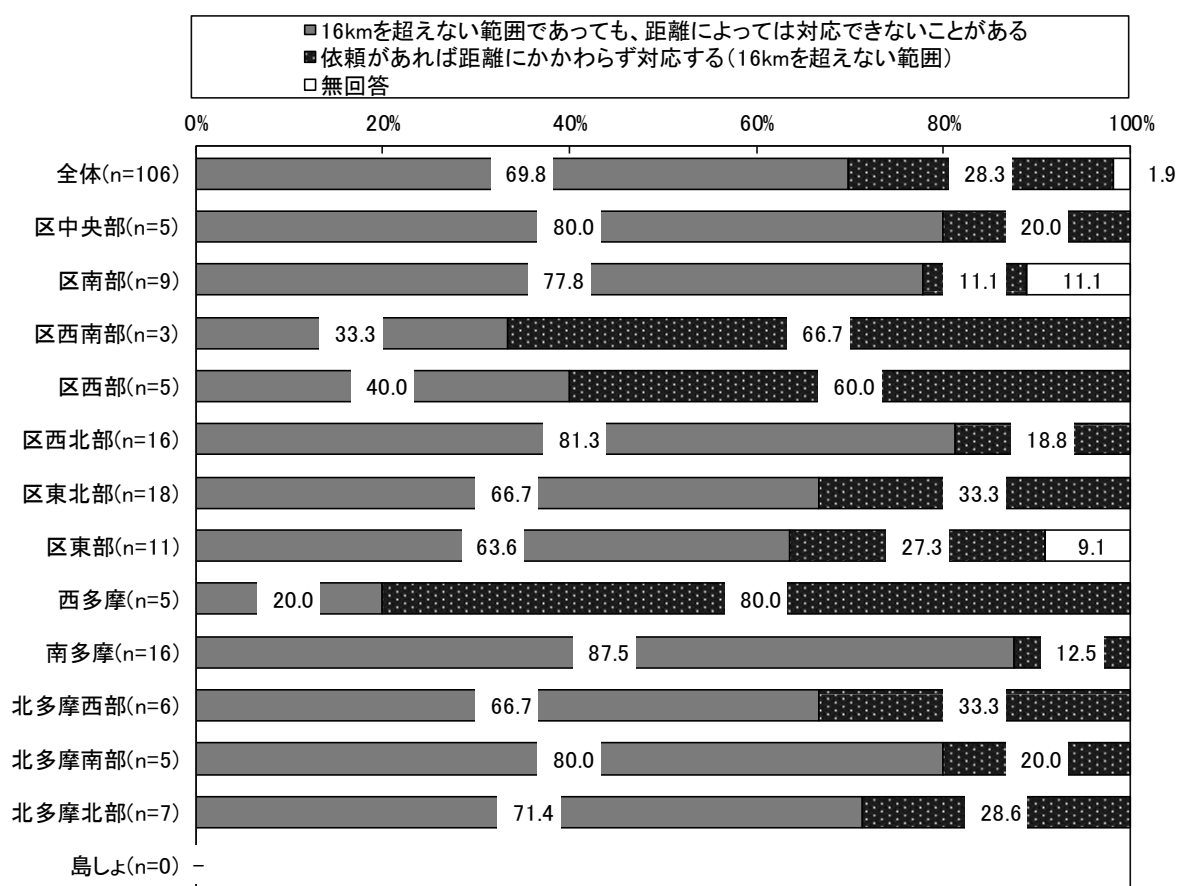
(1) 訪問診療の対応距離と交通手段

① 訪問診療の対応距離

訪問診療を実施している病院、一般診療所ともに「16kmを超えない範囲であっても、診療所からの距離によっては対応できないことがある」が最も多く、それぞれ69.8%、76.0%となっている。

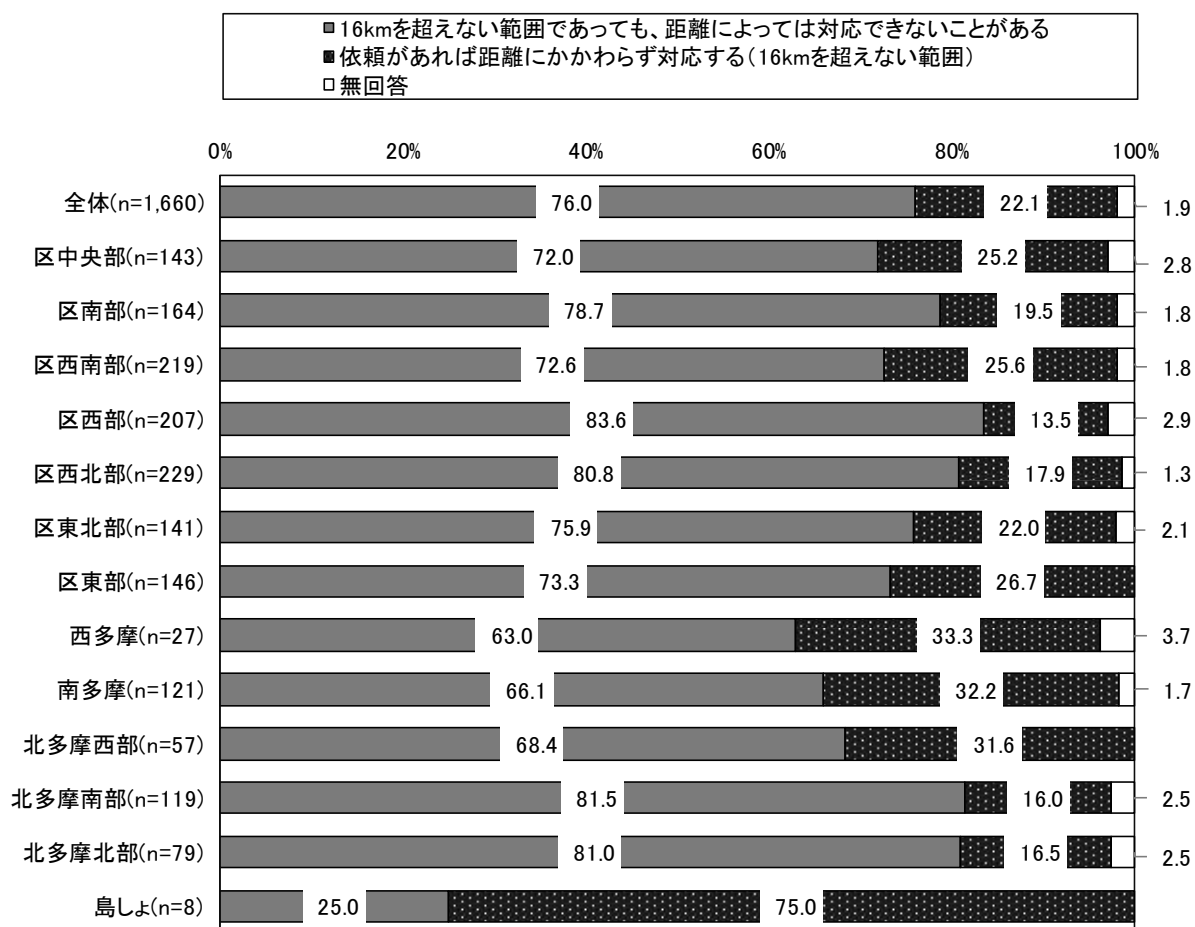
対応距離は、病院では「4～5 km」（35.1%）が最も多く、平均では7.2 kmであった。一般診療所では、「2～3 km」（33.0%）が最も多く、平均は4.7 kmとなっている。

図表 100 訪問診療に対応している距離（病院：Q13-①）二次医療圏別



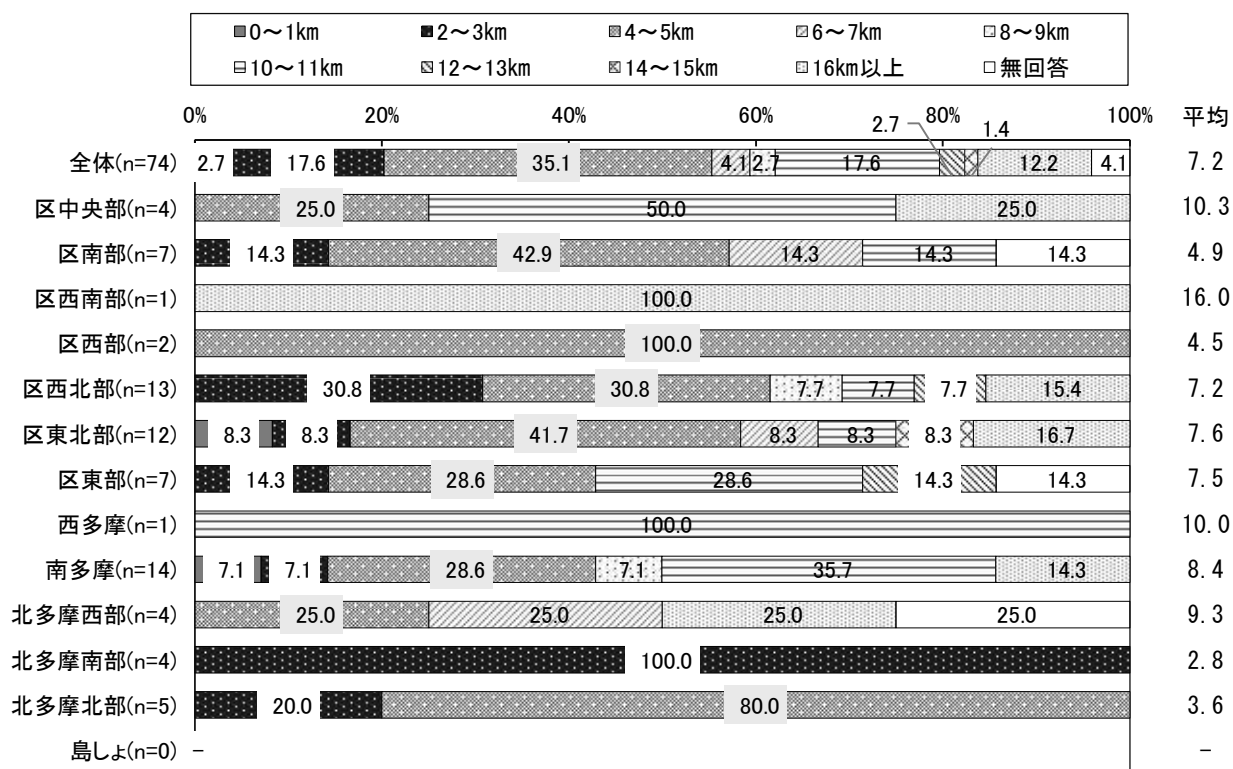
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 101 訪問診療に対応している距離（一般診療所：Q14-①）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

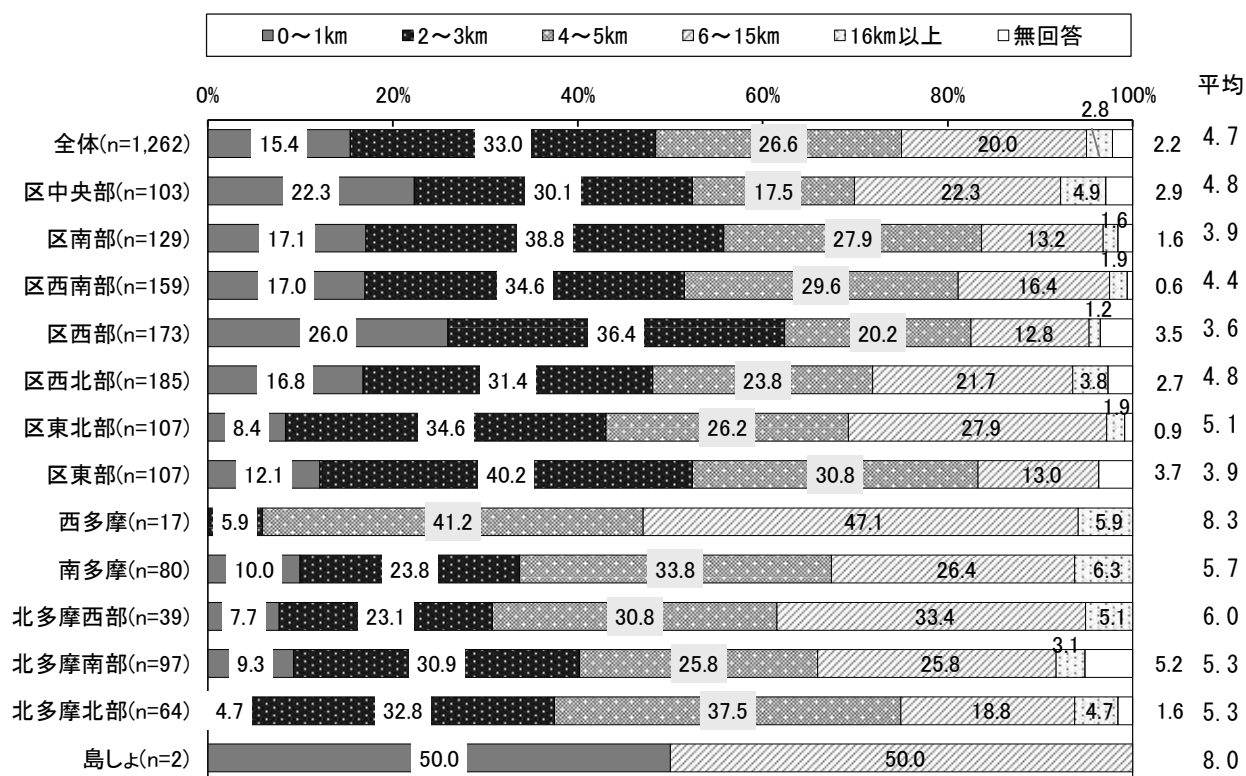
図表 102 訪問診療に対応している距離—対応距離（実数）（病院：Q13-①-1）二次医療圏別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、「16km を超えない範囲であっても、診療所からの距離によっては対応できないことがある」と回答した 74 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 103 訪問診療に対応している距離（一般診療所：Q14-①-1）二次医療圏別



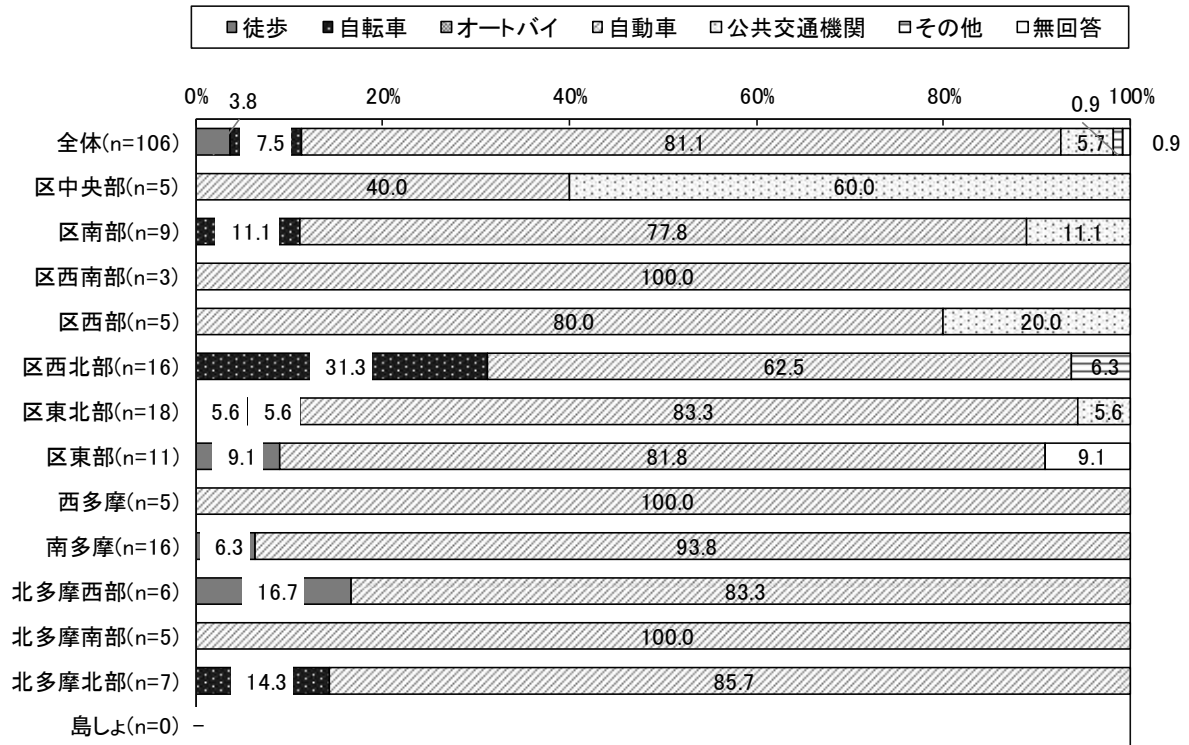
集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、「16km を超えない範囲であっても、診療所からの距離によっては対応できないことがある」と回答した 1,262 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

② 訪問診療実施時の主な交通手段

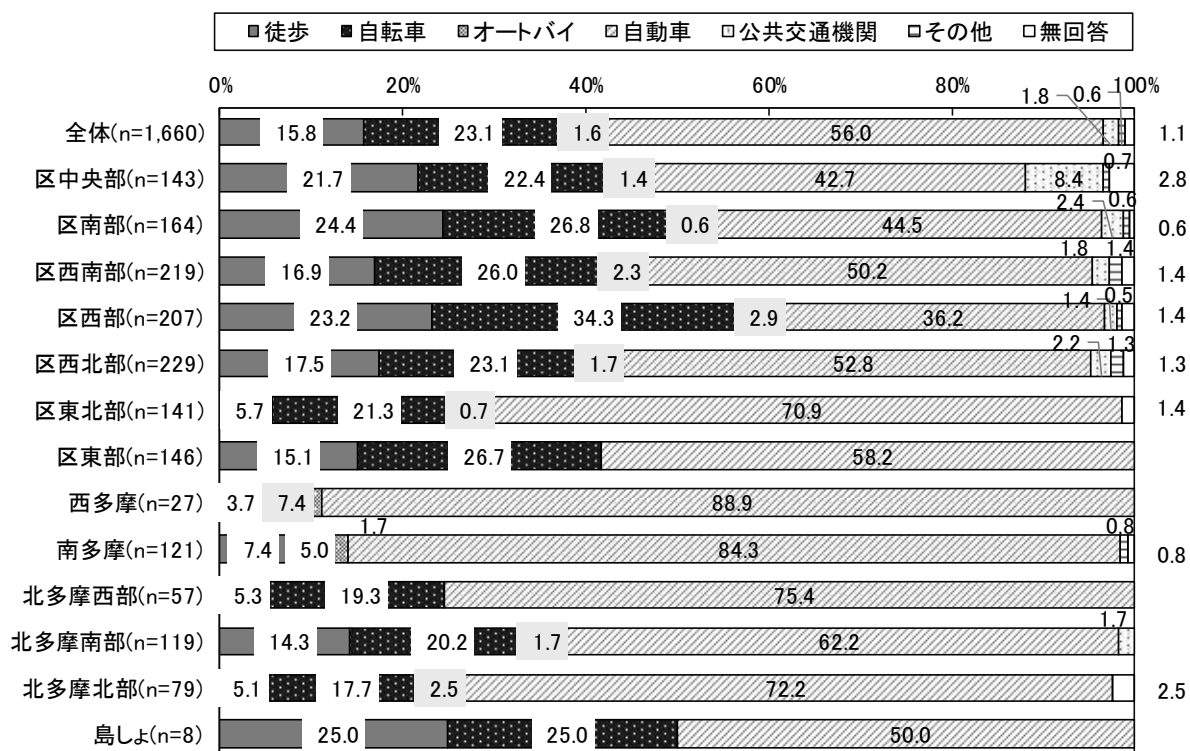
病院では、「自動車」(81.1%)が最も多く、8割を超える。一般診療所では、「自動車」(56.0%)が最も多く、「自転車」(23.1%)、「徒歩」(15.8%)などが続く。

図表 104 訪問診療の対応・実施状況（病院：Q13-②）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 105 訪問診療の対応・実施状況（一般診療所：Q14-②）二次医療圏別



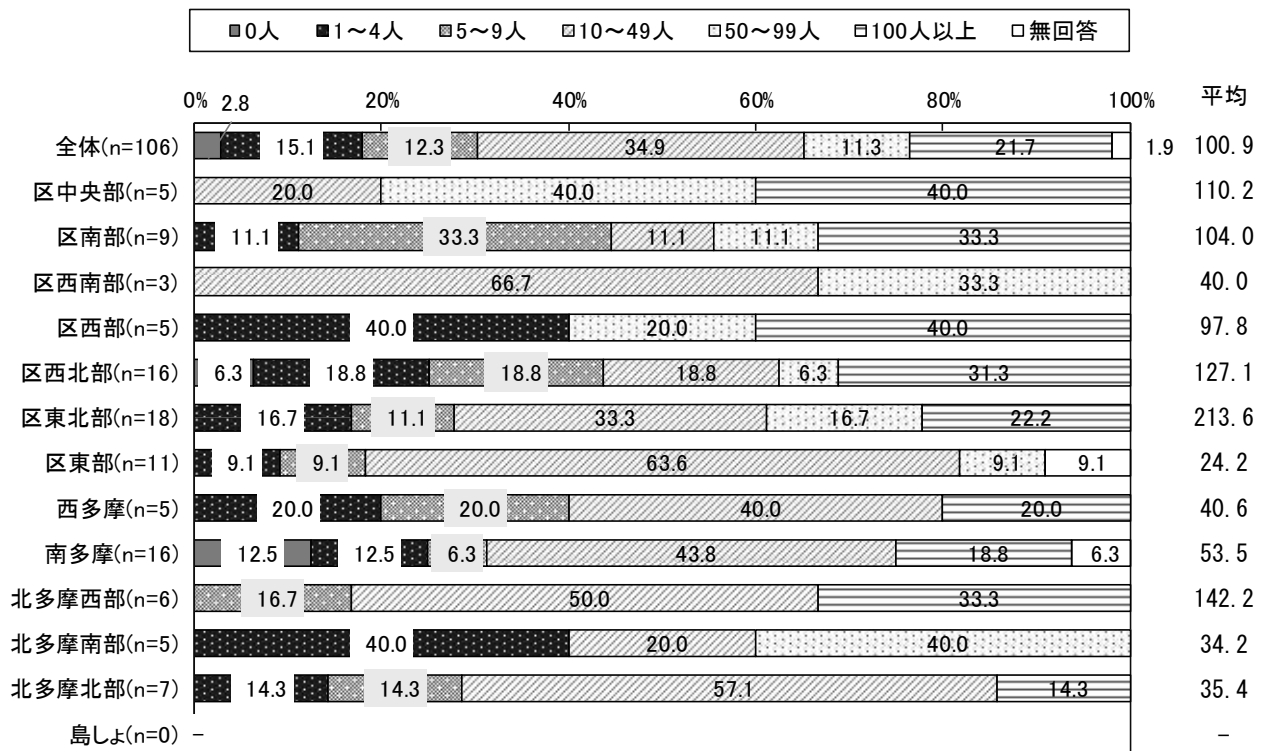
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

(2) 2019年12月中の訪問診療を行った患者の実人数

訪問診療を実施している病院では、「10～49人」(34.9%)が最も多く、次いで「100人以上」(21.7%)が2割を超え、平均では100.9人となっている。

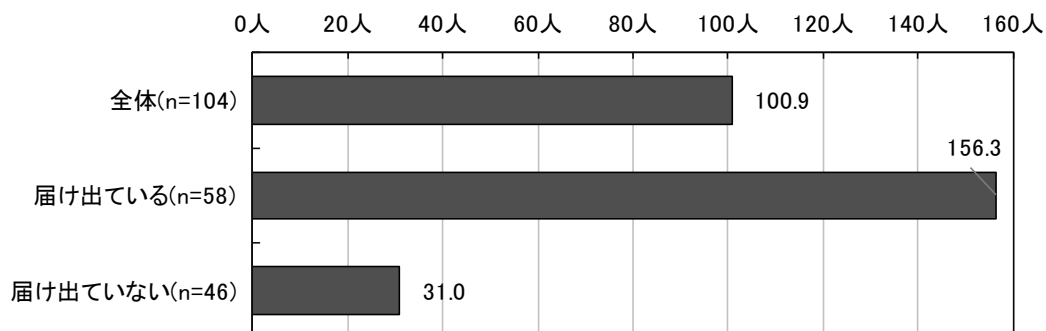
在宅療養支援病院の届出有無で、実人数の平均を比較すると、「届け出ている」施設は156.3人、「届け出していない」施設は31.0人と差がみられる。診療行為の加算状況では、「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」を算定している施設は600人を超える。往診状況では、「往診している」施設(128.9人)と「往診していない」施設(24.8人)で差がみられる。

図表 106 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数(総数)(病院:Q14) 二次医療圏別



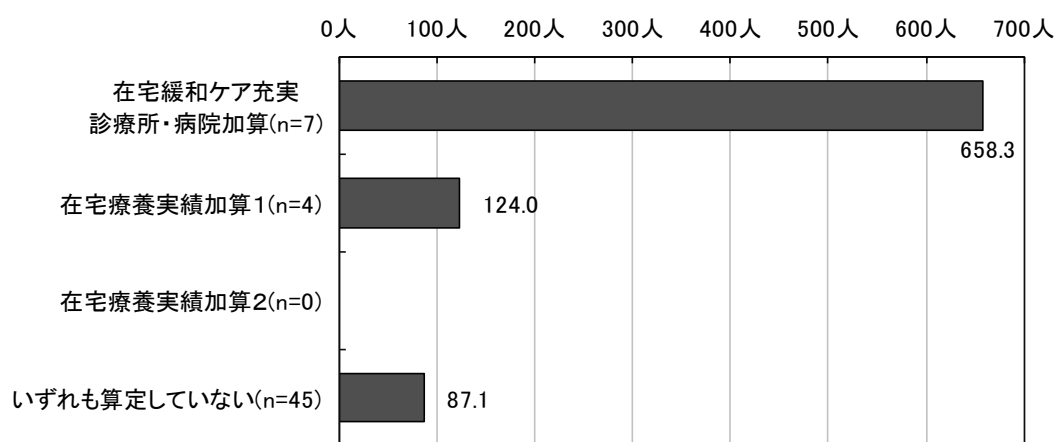
集計対象：調査に回答した病院全366施設のうち、訪問診療を実施している106施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 107 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数(総数)(病院:Q14) 在宅療養支援病院の届出別の平均人数



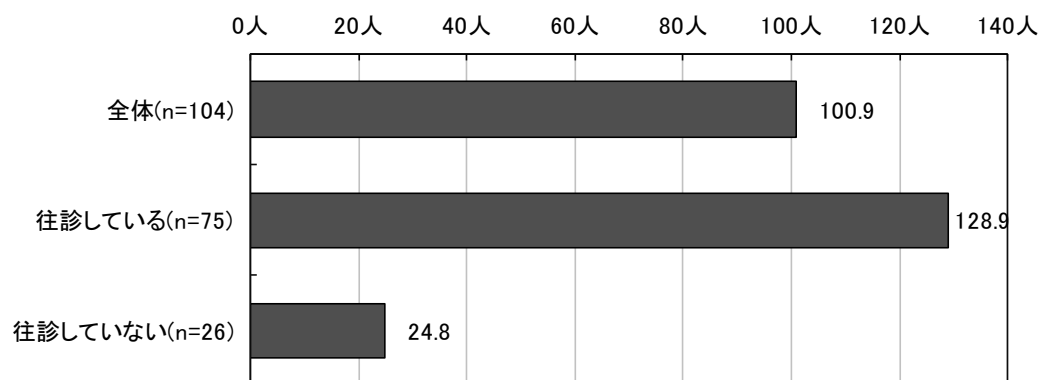
集計対象：調査に回答した病院全366施設のうち、訪問診療を実施している106施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 108 2019 年 12 月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（病院：Q14）診療行為の加算状況別の平均人数



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、診療行為の加算状況に回答した 57 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 109 2019 年 12 月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（病院：Q14）往診の実施別の平均人数

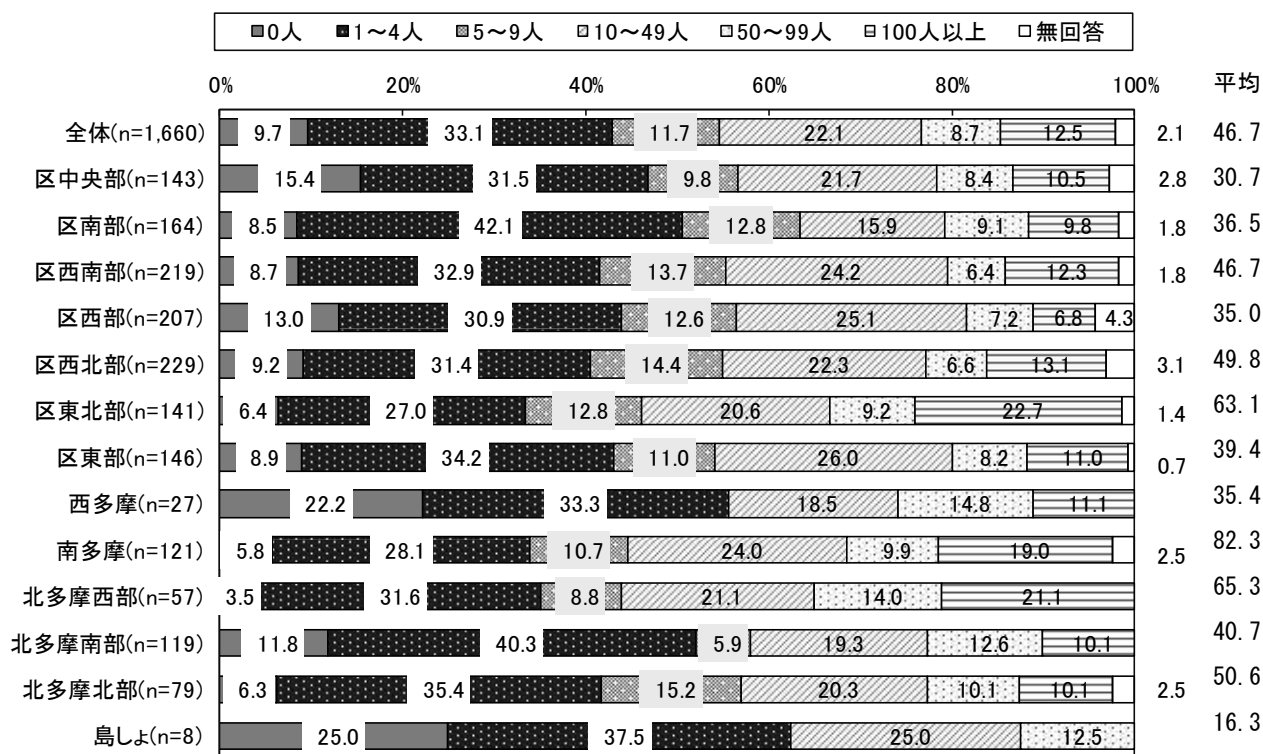


集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

訪問診療を実施している一般診療所について、2019年12月中の訪問診療を行った患者の実人数をみると、「1～4人」(33.1%)が最も多く、次いで「10～49人」(22.1%)、「100人以上」(12.5%)、「5～9人」(11.7%)が続き、平均は46.7人であった。

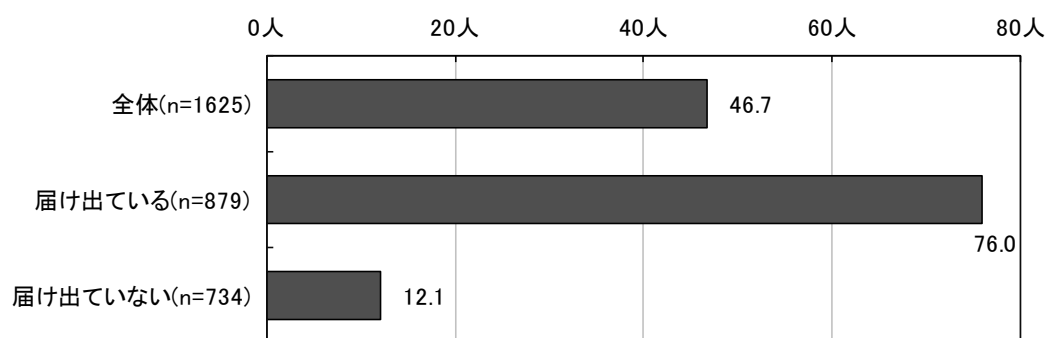
在宅療養支援診療所の届出有無で、実人数の平均を比較すると、「届け出ている」施設は76.0人、「届け出していない」施設は12.1人と差がみられる。診療行為の加算状況では、「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」を算定している施設は200人を超える。往診状況では、「往診している」施設(49.3人)と「往診していない」施設(24.4人)で差がみられる。訪問診療の位置付け別では、「在宅専門で、外来は実施していない」施設は100人を超える。

図表 110 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数(総数)(一般診療所:Q15) 二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

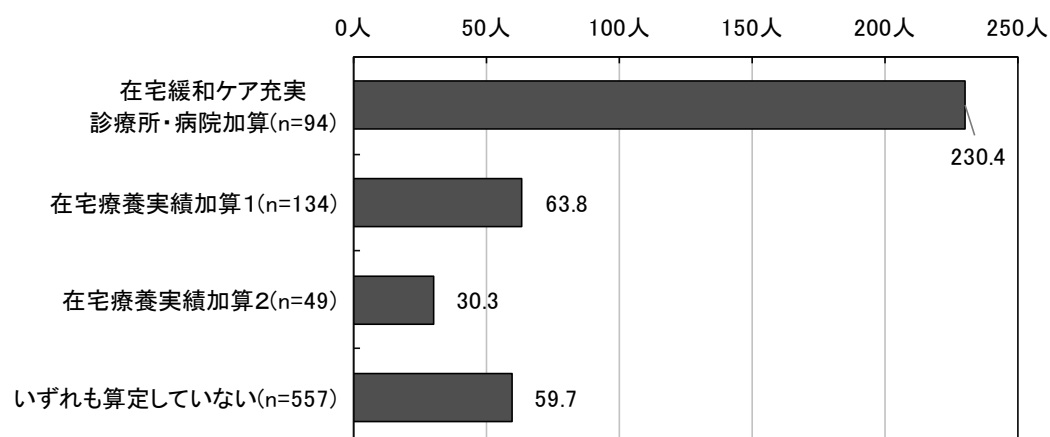
図表 111 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（一般診療所（Q15）在宅療養支援診療所の届出別の平均人数



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数の回答があった 1,625 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

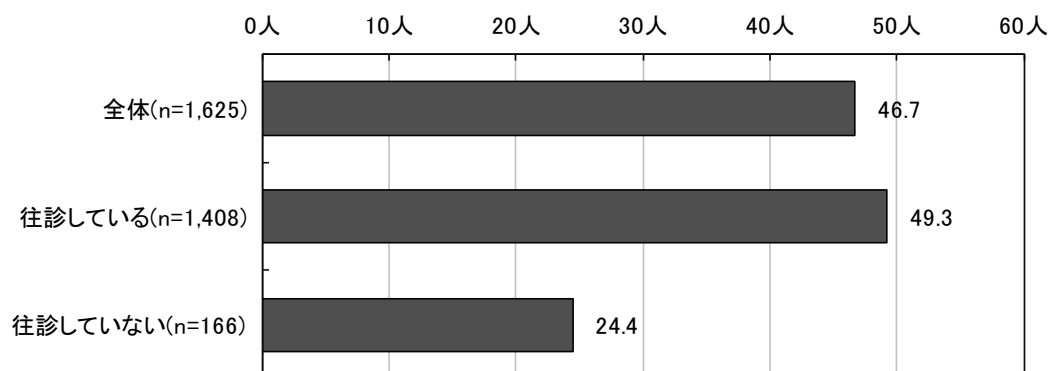
図表 112 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（一般診療所：Q15）加算状況別の平均人数



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、診療行為の加算状況に回答のあった 834 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

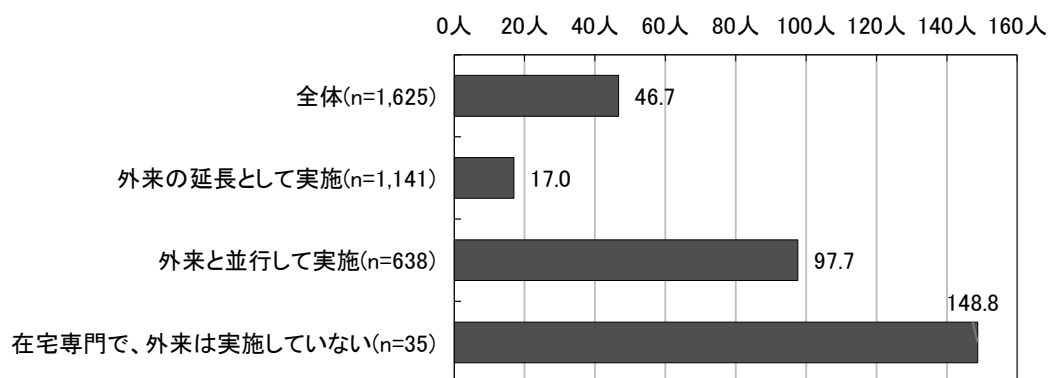
図表 113 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（一般診療所：Q15）往診の実施別の平均人数



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数の回答があった 1,625 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 114 2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数（総数）（一般診療所：Q15）訪問診療の位置付け別の平均人数



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者の実人数の回答があった 1,625 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

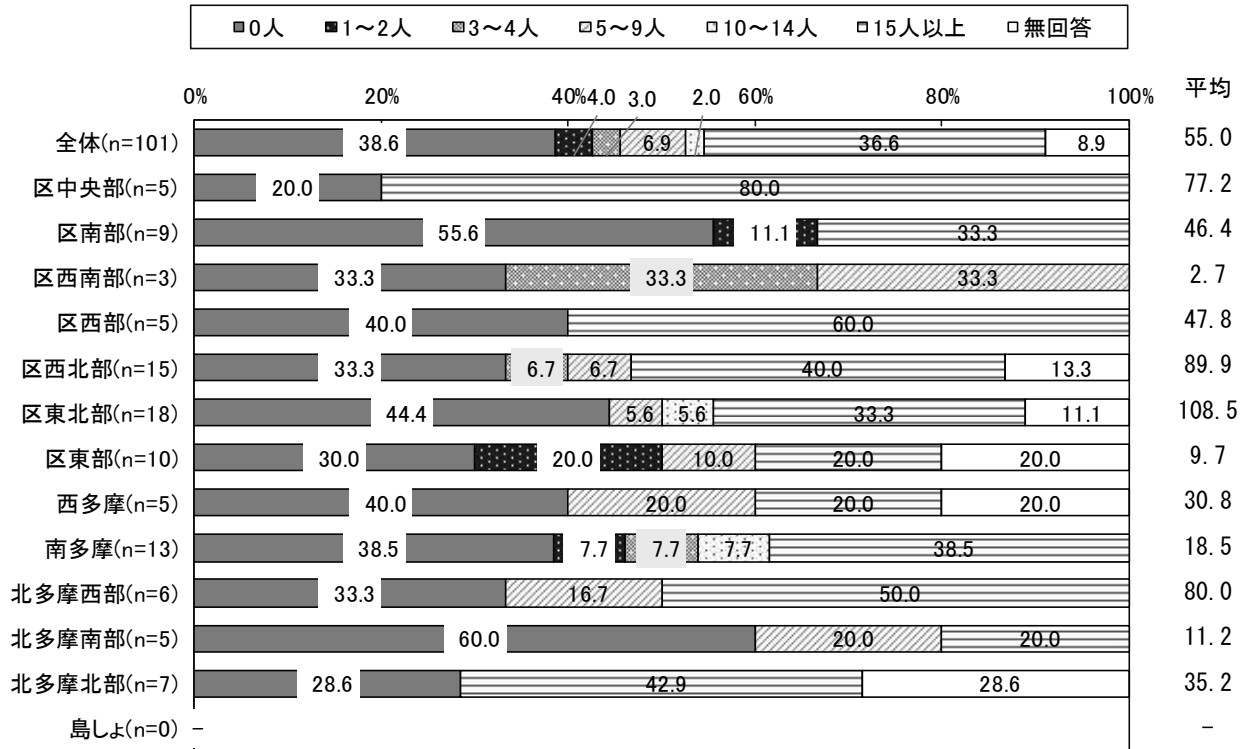
(3) 同一建物患者の内訳

① 同一建物患者の人数

2019年12月中に訪問診療を行った患者のうち、同一建物患者の実人数は、病院では、「0人」(38.6%)が最も多く、次いで「15人以上」(36.6%)である。平均は55.0人である。

一般診療所では、「0人」(35.8%)が最も多く、次いで「15人以上」(16.6%)である。平均は23.8人である。

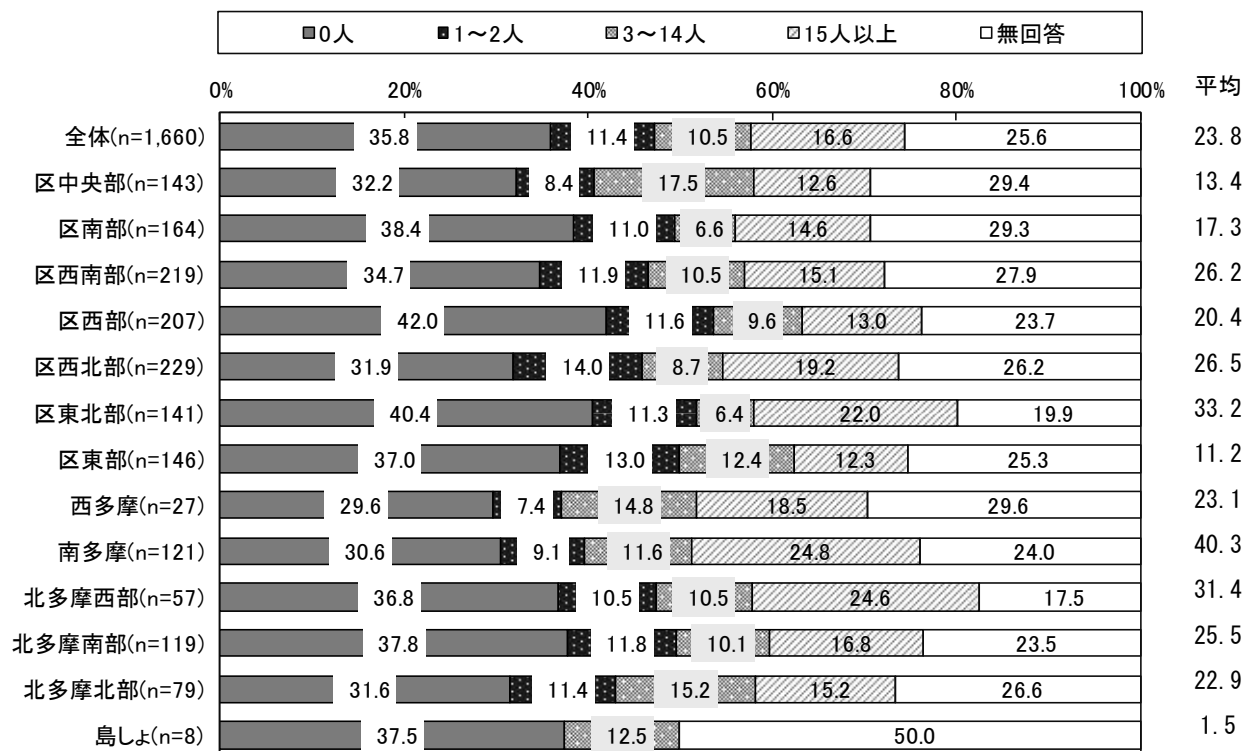
図表 115 同一建物患者の人数（病院：Q14-3）二次医療圏別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者数が1人以上の101施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 116 同一建物患者の人数（一般診療所：Q15-3）二次医療圏別



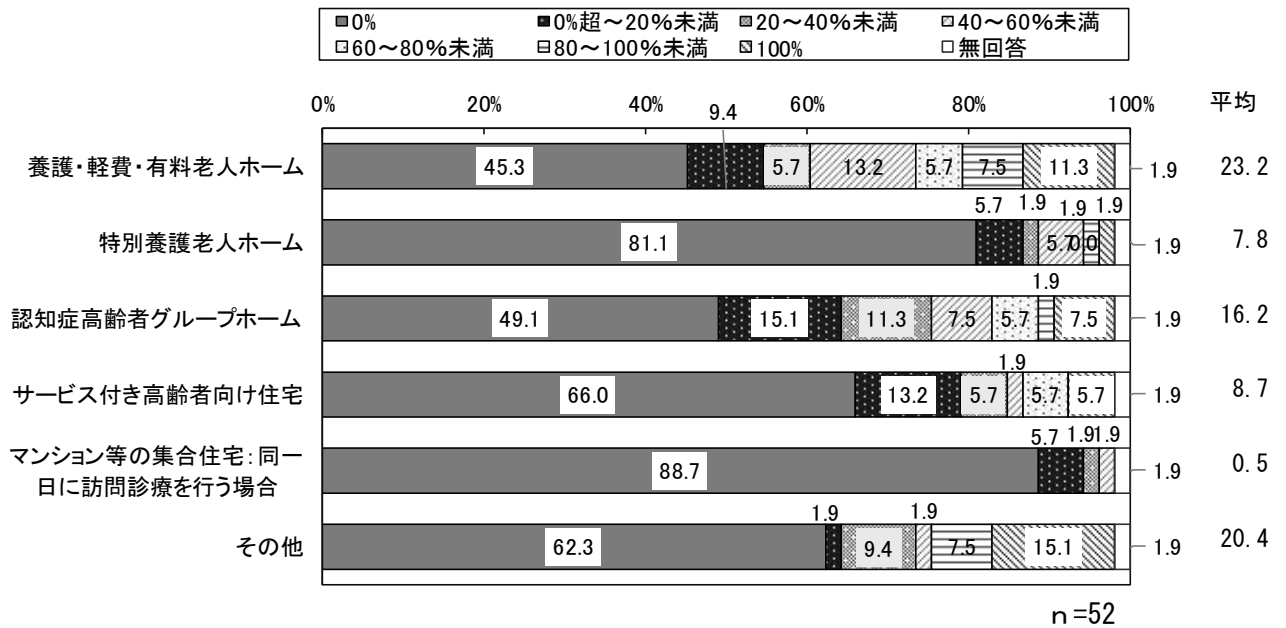
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

② 同一建物患者のおおよその内訳割合

病院での『0%以外』の割合は、「養護・軽費・有料老人ホーム」が54.7%と最も高く、次いで「認知症高齢者グループホーム」(50.9%)、「その他」(37.7%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(34.0%)の順となっている。

一般診療所での『0%以外』の割合は、「養護・軽費・有料老人ホーム」が50.6%と最も高く、次いで「その他」(35.6%)、「認知症高齢者グループホーム」(33.1%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(28.9%)の順となっている。

図表 117 同一建物患者のおおよその内訳割合（病院：Q15）



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、2019 年 12 月中に同一建物患者の訪問診療を行った 52 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

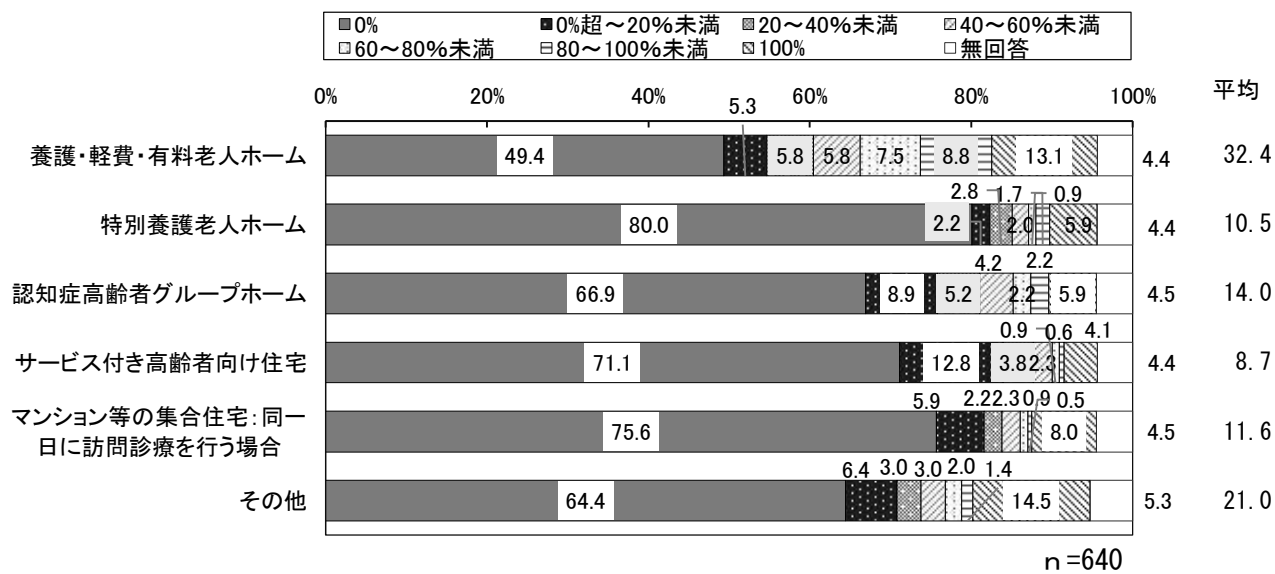
図表 118 同一建物患者のおおよその内訳割合（病院：Q15）二次医療圏別

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ	(%)
養護・軽費・有料老人ホーム	31.5	16.5	57.0	-	47.3	50.6	21.6	42.2	-	37.8	16.5	50.0	-	-	
特別養護老人ホーム	7.8	16.5	13.7	-	-	-	7.5	-	47.5	-	11.3	-	33.3	-	
認知症高齢者グループホーム	21.6	6.8	23.3	10.0	51.0	17.3	18.0	11.8	52.5	15.8	44.8	-	33.3	-	
サービス付き高齢者向け住宅	12.3	-	1.0	-	2.0	4.3	41.6	-	-	19.0	13.3	30.0	-	-	
マンション等の集合住宅(同一日に訪問診療を行う場合)	1.6	5.0	5.3	-	-	0.4	0.5	-	-	-	10.5	-	-	-	
その他	25.1	55.5	-	90.0	-	27.5	10.8	46.0	-	27.5	1.3	20.0	33.3	-	

集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、2019 年 12 月中に同一建物患者の訪問診療を行った 52 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 119 同一建物患者の人数（一般診療所：Q16）



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、2019 年 12 月中に同一建物患者の訪問診療を行った 640 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 120 同一建物患者の人数（一般診療所：Q16）二次医療圏別

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
養護・軽費・有料老人ホーム	32.5	29.8	25.7	35.8	29.5	38.0	29.9	25.9	30.8	36.4	14.7	46.2	38.0	-
特別養護老人ホーム	10.5	10.2	12.5	11.8	11.7	10.1	9.7	6.2	2.7	17.5	17.3	5.8	4.8	-
認知症高齢者グループホーム	14.1	11.2	18.6	12.5	21.6	12.4	17.8	7.3	10.1	12.6	29.7	5.4	14.2	-
サービス付き高齢者向け住宅	8.7	6.7	6.3	7.6	1.1	8.3	11.0	8.4	27.3	14.2	7.8	12.4	9.2	67.0
マンション等の集合住宅(同一日に訪問診療を行う場合)	11.6	21.5	14.8	8.3	11.0	7.8	13.1	22.2	0.9	10.6	8.5	0.3	13.4	-
その他	21.2	16.8	22.9	23.0	22.0	21.5	18.5	28.9	28.2	9.1	18.2	30.7	17.3	33.0

集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、2019 年 12 月中に同一建物患者の訪問診療を行った 640 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

2 訪問診療で対応可能な医療行為

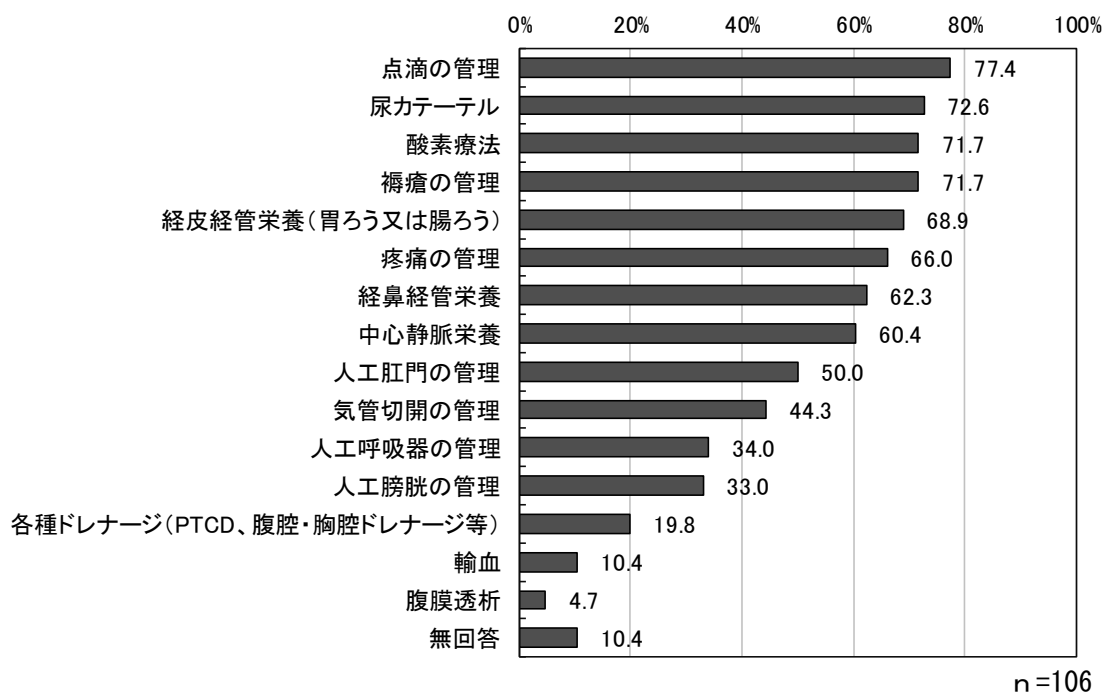
(1) 訪問診療で対応可能な医療行為

訪問診療を実施している病院では、「点滴の管理」(77.4%)、「尿カテーテル」(72.6%)、「酸素療法」(71.7%)、「褥瘡の管理」(71.7%)、「経皮経管栄養(胃ろう又は腸ろう)」(68.9%)、「疼痛の管理」(66.0%)、「経鼻経管栄養」(62.3%)、「中心静脈栄養」(60.4%)までが6割を超える。

在宅療養支援病院の届出有無でみると、いずれの医療行為も「届け出ている」施設は、「届け出していない」施設よりも対応している割合が高い。また、「往診している」施設は「往診していない」施設よりもいずれの医療行為も対応している割合が高い。

図表 121 訪問診療の対応・実施状況 (病院：Q17)

(複数回答のため、合計値は100%を超える)



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 122 訪問診療の対応・実施状況（病院：Q17）二次医療圏別

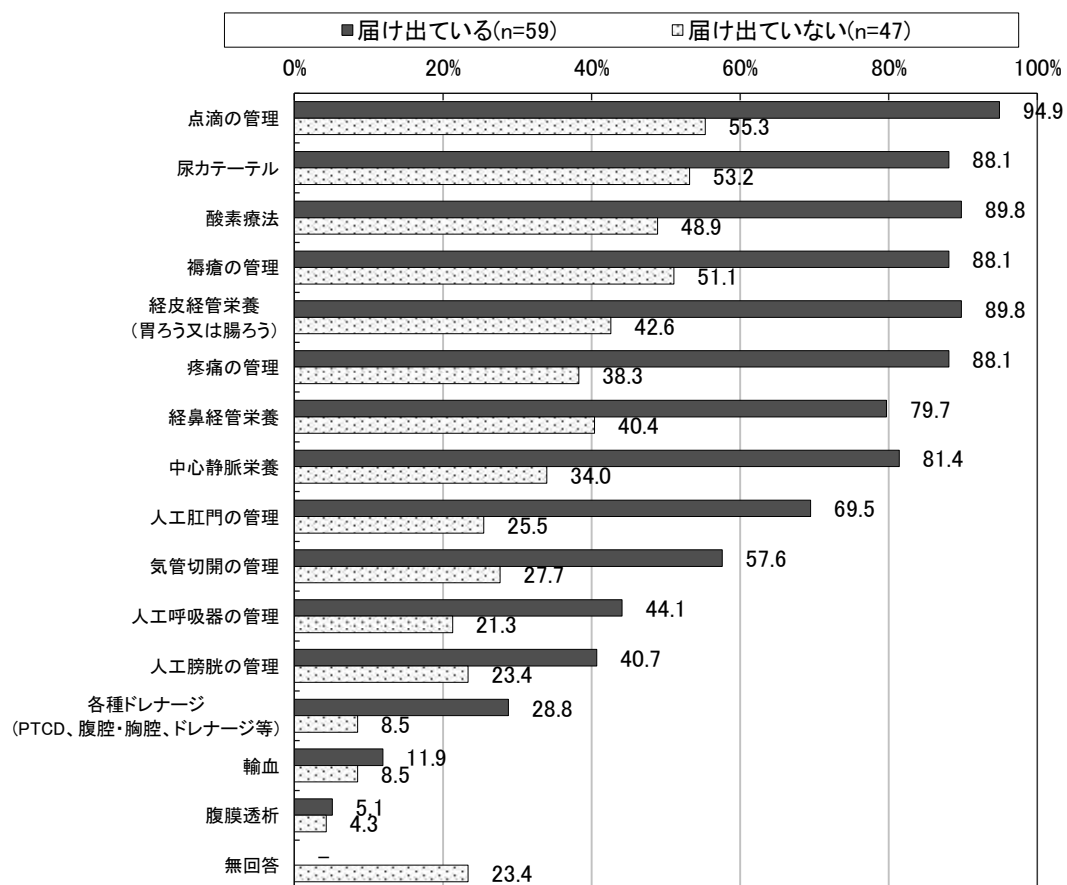
（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	106 100.0	5 100.0	9 100.0	3 100.0	5 100.0	16 100.0	18 100.0	11 100.0	5 100.0	16 100.0	6 100.0	5 100.0	7 100.0	-
点滴の管理	82 77.4	3 60.0	9 100.0	2 66.7	3 60.0	13 81.3	14 77.8	7 63.6	5 100.0	12 75.0	5 83.3	3 60.0	6 85.7	-
尿カテーテル	77 72.6	2 40.0	7 77.8	2 66.7	3 60.0	13 81.3	14 77.8	6 54.5	4 80.0	13 81.3	5 83.3	3 60.0	5 71.4	-
酸素療法	76 71.7	2 40.0	8 88.9	2 66.7	3 60.0	12 75.0	14 77.8	7 63.6	4 80.0	9 56.3	6 100.0	4 80.0	5 71.4	-
褥瘡の管理	76 71.7	2 40.0	7 77.8	3 100.0	3 60.0	13 81.3	15 83.3	5 45.5	5 100.0	10 62.5	5 83.3	3 60.0	5 71.4	-
経皮経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	73 68.9	3 60.0	8 88.9	2 66.7	3 60.0	13 81.3	12 66.7	6 54.5	4 80.0	10 62.5	5 83.3	3 60.0	4 57.1	-
疼痛の管理	70 66.0	2 40.0	7 77.8	2 66.7	3 60.0	13 81.3	14 77.8	7 63.6	4 80.0	7 43.8	4 66.7	3 60.0	4 57.1	-
経鼻経管栄養	66 62.3	1 20.0	9 100.0	1 33.3	3 60.0	12 75.0	12 66.7	5 45.5	4 80.0	9 56.3	4 66.7	2 40.0	4 57.1	-
中心静脈栄養	64 60.4	3 60.0	9 100.0	1 33.3	3 60.0	10 62.5	12 66.7	5 45.5	4 80.0	7 43.8	4 66.7	4 80.0	2 28.6	-
人工肛門の管理	53 50.0	2 40.0	6 66.7	1 33.3	2 40.0	9 56.3	11 61.1	3 27.3	3 60.0	5 31.3	5 83.3	3 60.0	3 42.9	-
気管切開の管理	47 44.3	-	7 77.8	1 33.3	3 60.0	9 56.3	11 61.1	3 27.3	2 40.0	5 31.3	2 33.3	2 40.0	2 28.6	-
人工呼吸器の管理	36 34.0	-	6 66.7	-	2 40.0	11 68.8	2 11.1	2 18.2	1 20.0	7 43.8	2 33.3	2 40.0	1 14.3	-
人工膀胱の管理	35 33.0	1 20.0	5 55.6	-	2 40.0	5 31.3	7 38.9	3 27.3	3 60.0	3 18.8	2 33.3	2 40.0	2 28.6	-
各種ドレナージ(PTCD、腹腔・胸腔ドレナージ等)	21 19.8	-	3 33.3	-	1 20.0	2 12.5	7 38.9	2 18.2	1 20.0	1 6.3	1 16.7	3 60.0	-	-
輸血	11 10.4	-	2 22.2	-	1 20.0	3 18.8	1 5.6	3 27.3	1 20.0	-	-	-	-	-
腹膜透析	5 4.7	-	1 11.1	-	-	1 6.3	1 5.6	-	-	-	1 16.7	1 20.0	-	-
無回答	11 10.4	2 40.0	-	-	2 40.0	1 6.3	2 11.1	2 18.2	-	2 12.5	-	-	-	-

集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 123 訪問診療の対応・実施状況（病院：Q17）在宅療養支援病院の届出別

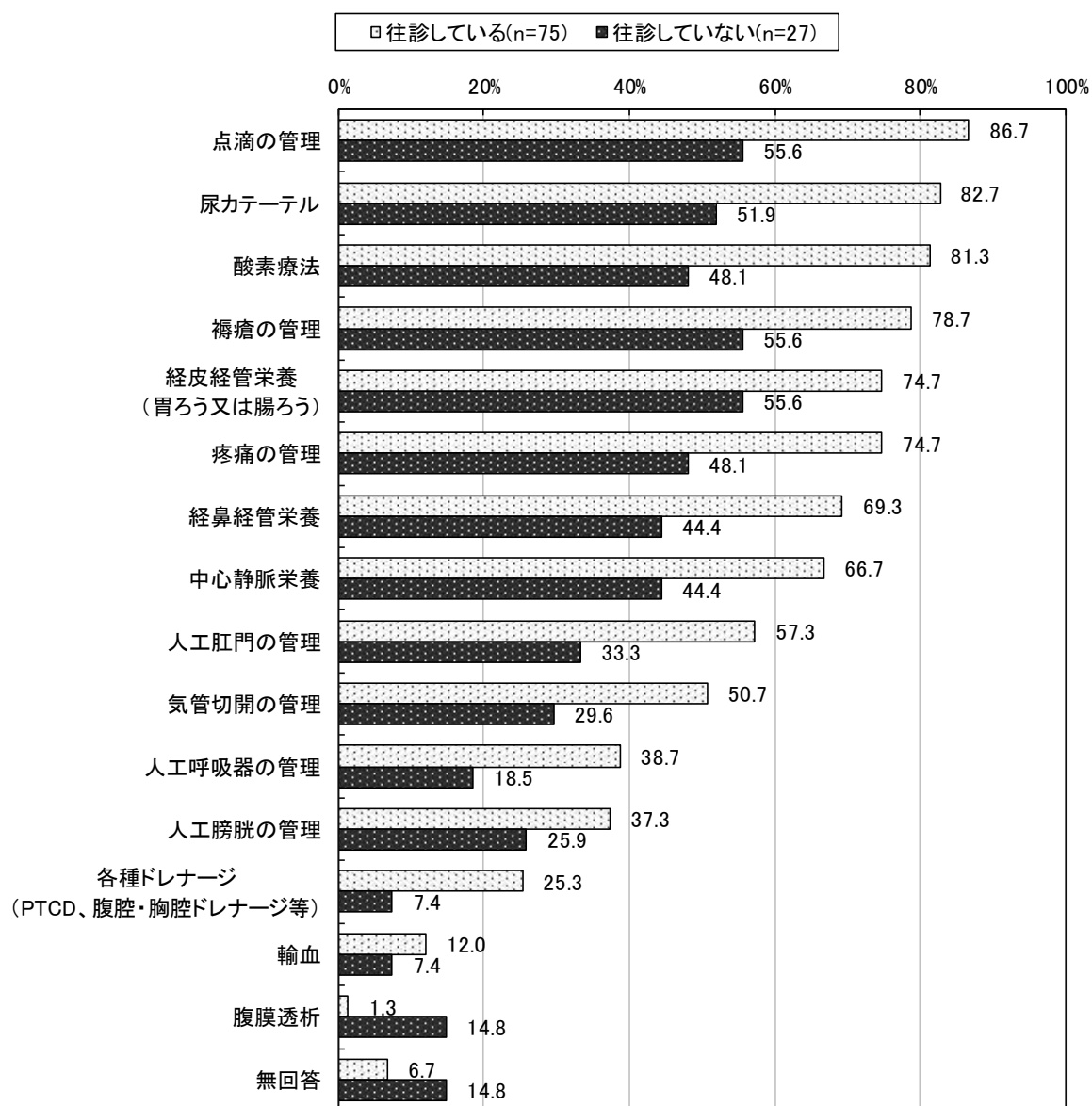
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 124 訪問診療の対応・実施状況（病院：Q17）往診の実施別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



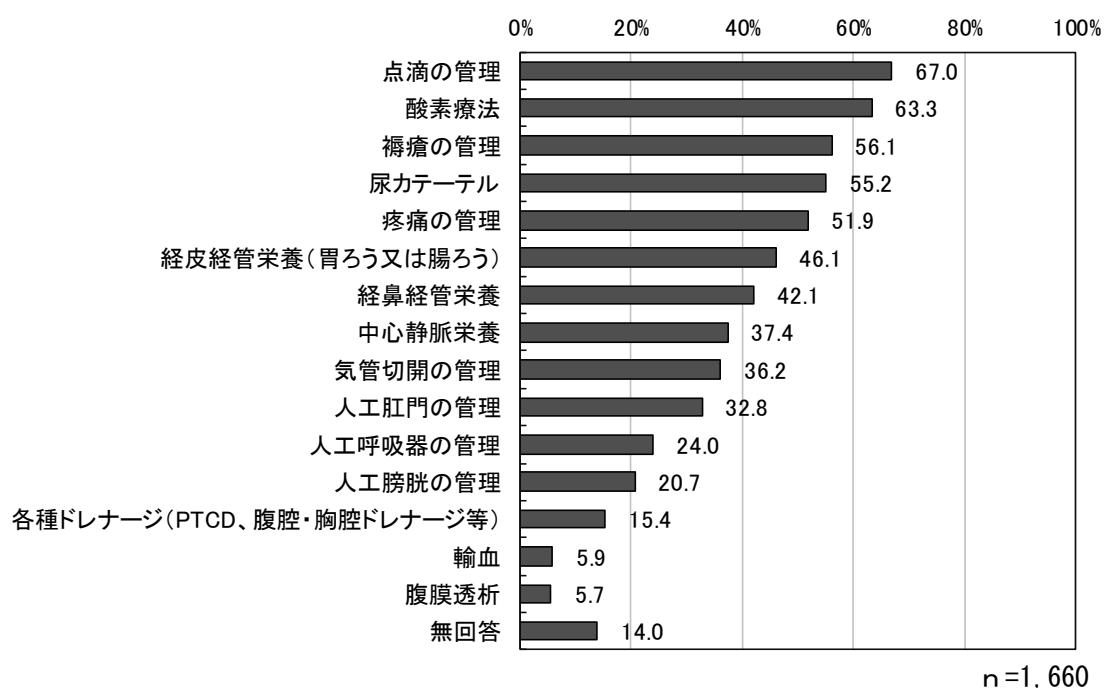
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

一般診療所について、訪問診療で対応可能な医療行為をみると、「点滴の管理」(67.0%)、「酸素療法」(63.3%)、「褥瘡の管理」(56.1%)、「尿カテーテル」(55.2%)、「疼痛の管理」(51.9%)までが5割を超える。

在宅療養支援診療所の届出有無でみると、いずれの診療行為も「届け出ている」施設は、「届け出していない」施設よりも対応している割合が高い。また、「往診している」施設は「往診していない」施設よりもいずれの診療行為も対応している割合が高い。

図表 125 訪問診療の対応・実施状況（一般診療所：Q18）

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 126 訪問診療の対応・実施状況（一般診療所：Q18）二次医療圏別

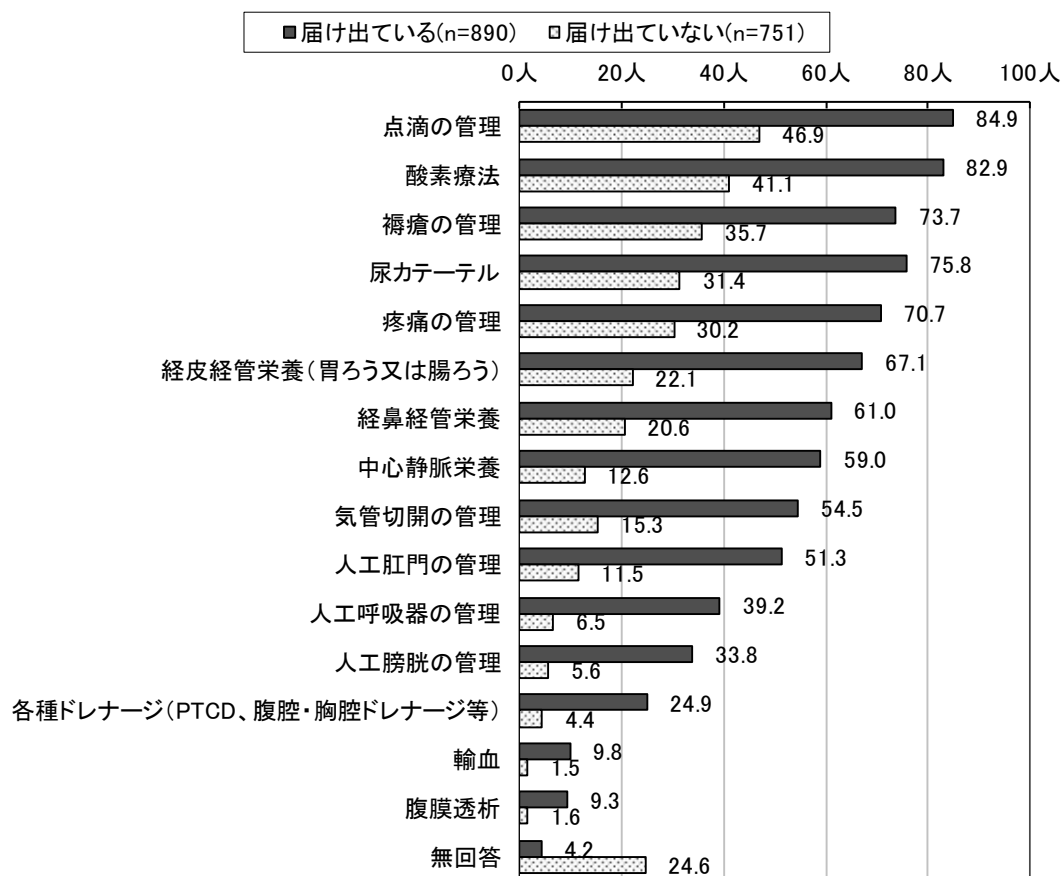
（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1,660 100.0	143 100.0	164 100.0	219 100.0	207 100.0	229 100.0	141 100.0	146 100.0	27 100.0	121 100.0	57 100.0	119 100.0	79 100.0	8 100.0
点滴の管理	1,112 67.0	99 69.2	112 68.3	145 66.2	140 67.6	144 62.9	98 69.5	101 69.2	20 74.1	79 65.3	44 77.2	75 63.0	48 60.8	7 87.5
酸素療法	1,050 63.3	90 62.9	103 62.8	124 56.6	131 63.3	141 61.6	97 68.8	91 62.3	17 63.0	82 67.8	44 77.2	78 65.5	46 58.2	6 75.0
褥瘡の管理	931 56.1	78 54.5	87 53.0	113 51.6	100 48.3	124 54.1	84 59.6	98 67.1	18 66.7	75 62.0	44 77.2	60 50.4	44 55.7	6 75.0
尿カテーテル	916 55.2	74 51.7	88 53.7	110 50.2	106 51.2	123 53.7	80 56.7	83 56.8	17 63.0	72 59.5	39 68.4	74 62.2	44 55.7	6 75.0
疼痛の管理	861 51.9	73 51.0	85 51.8	106 48.4	100 48.3	109 47.6	78 55.3	85 58.2	13 48.1	59 48.8	38 66.7	64 53.8	45 57.0	6 75.0
経皮経管栄養（胃ろう又は腸ろう）	766 46.1	65 45.5	68 41.5	89 40.6	84 40.6	99 43.2	68 48.2	76 52.1	11 40.7	63 52.1	37 64.9	63 52.9	38 48.1	5 62.5
経鼻経管栄養	699 42.1	62 43.4	63 38.4	85 38.8	83 40.1	86 37.6	54 38.3	69 47.3	12 44.4	59 48.8	33 57.9	59 49.6	30 38.0	4 50.0
中心静脈栄養	621 37.4	56 39.2	57 34.8	79 36.1	74 35.7	78 34.1	56 39.7	56 38.4	8 29.6	50 41.3	27 47.4	47 39.5	27 34.2	6 75.0
気管切開の管理	601 36.2	53 37.1	52 31.7	70 32.0	70 33.8	71 31.0	54 38.3	51 34.9	13 48.1	50 41.3	27 47.4	55 46.2	30 38.0	5 62.5
人工肛門の管理	545 32.8	48 33.6	46 28.0	62 28.3	59 28.5	72 31.4	50 35.5	57 39.0	9 33.3	41 33.9	26 45.6	47 39.5	24 30.4	4 50.0
人工呼吸器の管理	399 24.0	37 25.9	34 20.7	50 22.8	38 18.4	54 23.6	39 27.7	33 22.6	9 33.3	29 24.0	21 36.8	34 28.6	20 25.3	1 12.5
人工膀胱の管理	343 20.7	31 21.7	29 17.7	47 21.5	33 15.9	35 15.3	36 25.5	31 21.2	8 29.6	28 23.1	18 31.6	27 22.7	17 21.5	3 37.5
各種ドレナージ（PTCD、 腹腔・胸腔ドレナージ等）	255 15.4	24 16.8	26 15.9	42 19.2	24 11.6	33 14.4	22 15.6	19 13.0	4 14.8	17 14.0	12 21.1	18 15.1	13 16.5	1 12.5
輸血	98 5.9	9 6.3	5 3.0	15 6.8	10 4.8	16 7.0	8 5.7	11 7.5	- -	8 6.6	5 8.8	5 4.2	5 6.3	1 12.5
腹膜透析	95 5.7	14 9.8	11 6.7	14 6.4	10 4.8	8 3.5	2 1.4	14 9.6	2 7.4	6 5.0	2 3.5	8 6.7	3 3.8	1 12.5
無回答	232 14.0	19 13.3	24 14.6	38 17.4	33 15.9	32 14.0	20 14.2	16 11.0	4 14.8	14 11.6	6 10.5	14 11.8	11 13.9	1 12.5

集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 127 訪問診療の対応・実施状況（一般診療所：Q18）在宅療養支援診療所の届出別

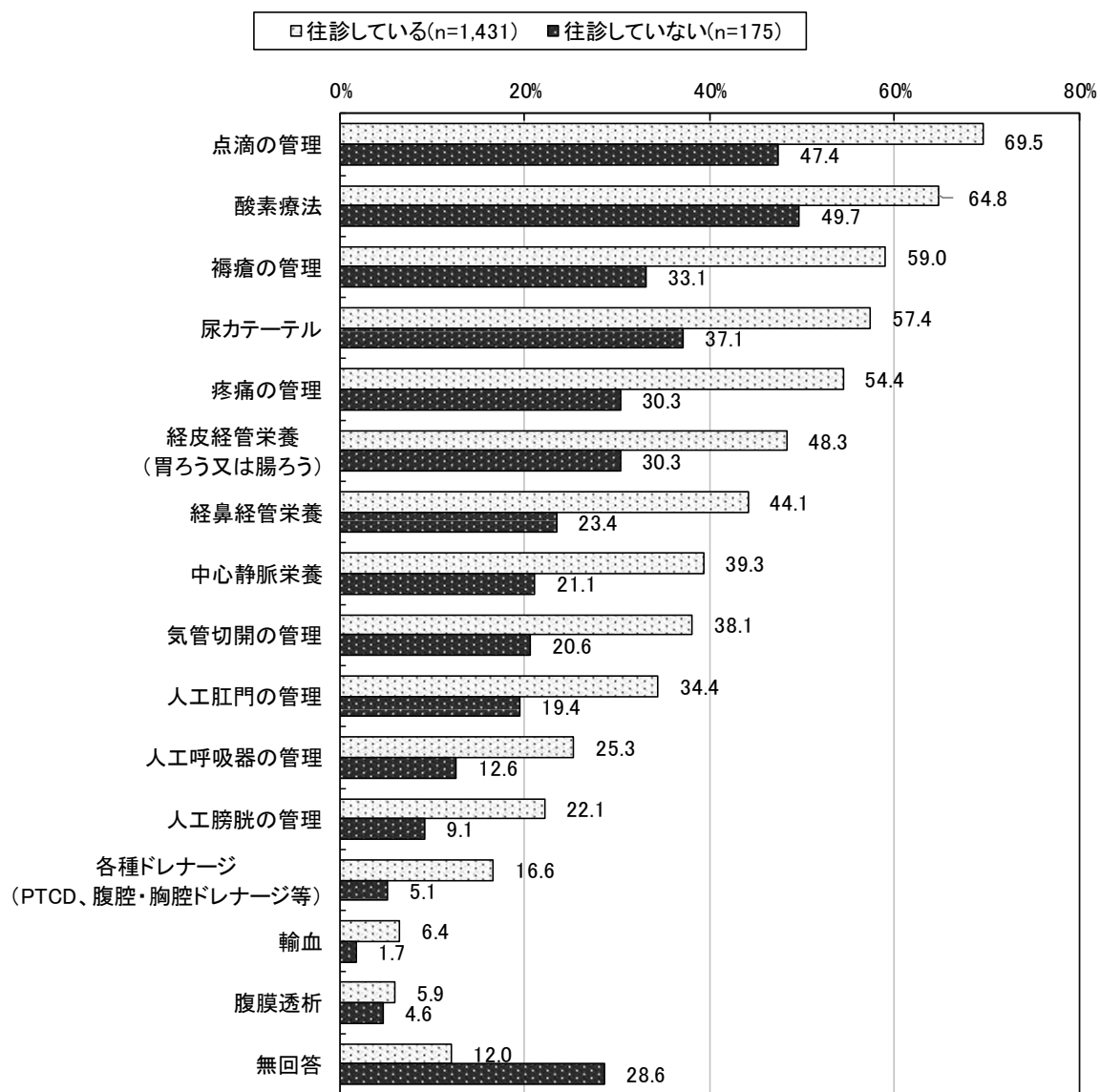
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 128 訪問診療の対応・実施状況（一般診療所：Q18） 往診の実施別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

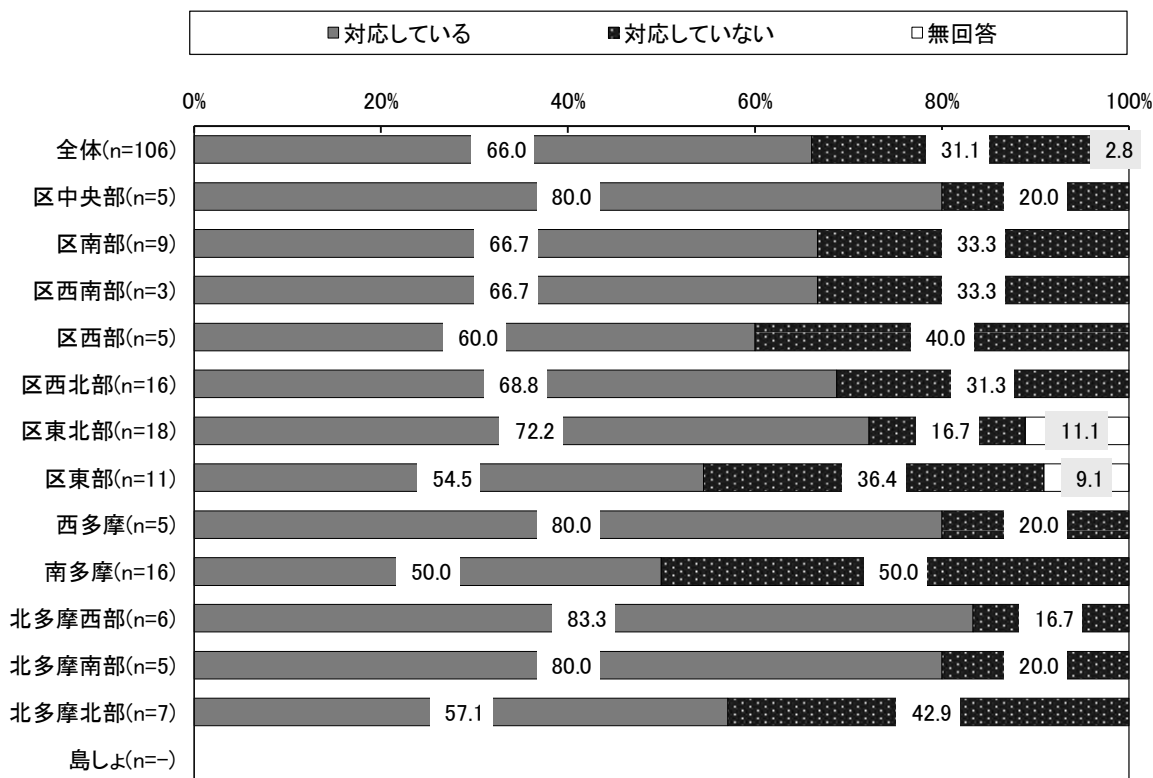
(2) 末期がん患者への訪問診療対応

訪問診療を実施している病院では、66.0%が末期がん患者への訪問診療を実施している。

在宅療養支援病院の届出有無でみると、「届け出ている」施設は「対応している」割合が9割近いが、「届け出していない」施設は「対応していない」が5割を超える。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は「往診していない」施設よりも末期がん患者に対応している割合が高い。地域包括ケア病床の有無でみると、「ある」施設は「ない」施設よりも末期がん患者に対応している割合が高い。

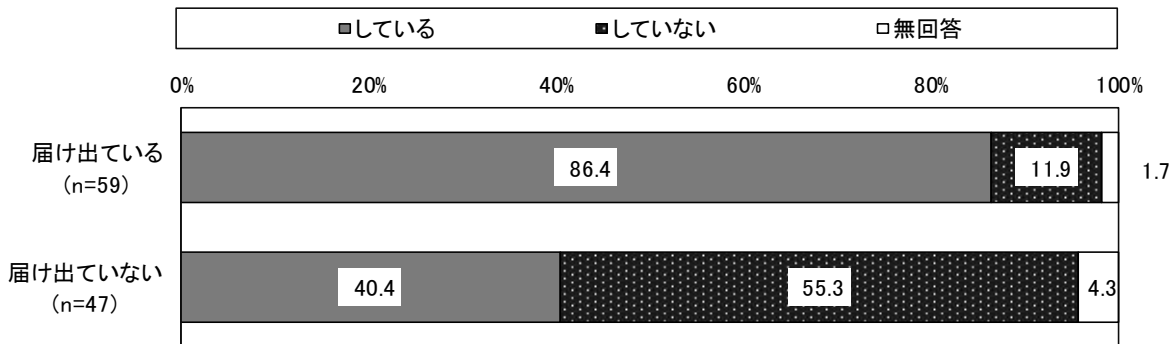
一般診療所では、55.6%が末期がん患者への訪問診療を実施。

図表 129 末期がん患者への訪問診療対応（病院：Q16）二次医療圏別



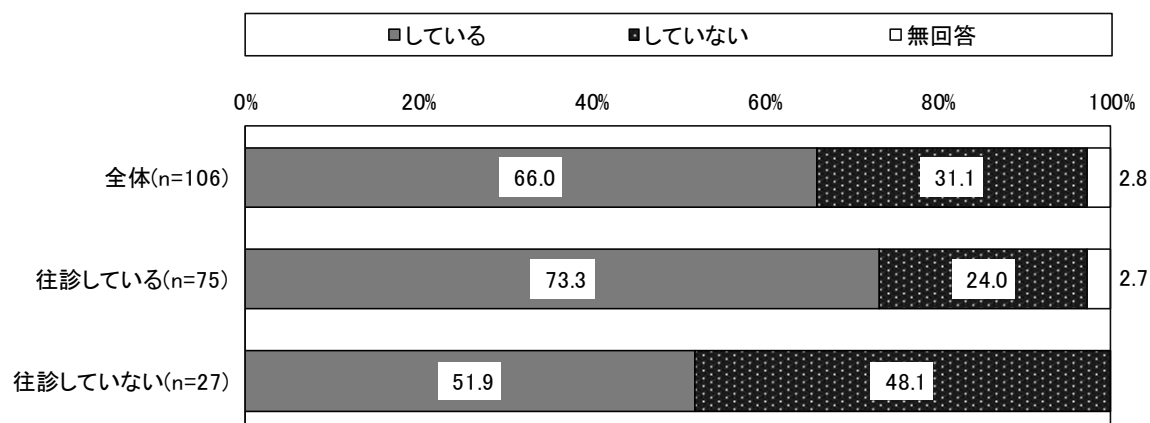
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 130 末期がん患者への訪問診療対応（病院：Q16）在宅療養支援病院の届出別



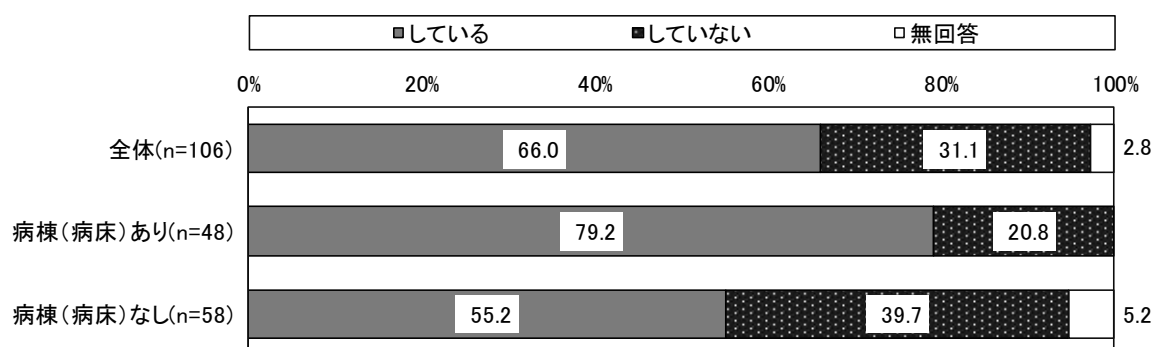
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 131 末期がん患者への訪問診療対応（病院：Q16）往診の実施別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

図表 132 末期がん患者への訪問診療対応（病院：Q16）地域包括ケア病棟（病床）の有無別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

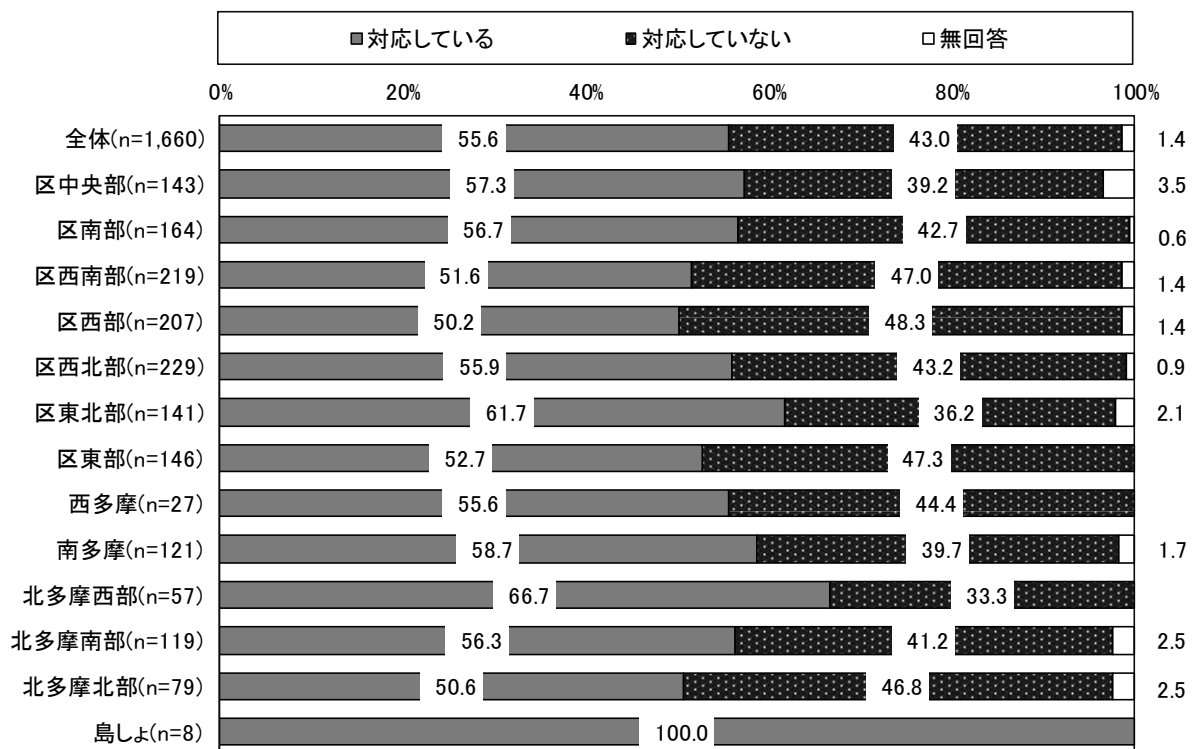
図表 133 末期がん患者に対応していない理由（病院：Q16）

内 容	件数
体制が整っていない（準備・予定含む）	9
対象者がいない	5
精神科対応のため	3
循環器科対応のため	2
依頼がない	2

一般診療所における末期がん患者への対応をみると、55.6%が対応している。

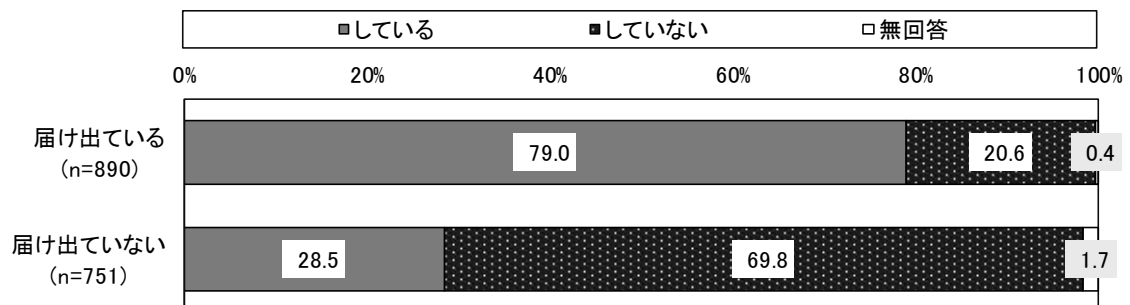
在宅療養支援診療所の届出有無でみると、「届け出ている」施設は「対応している」割合が8割であるが、「届け出していない」施設は「対応していない」が7割を占める。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は「往診していない」施設よりも末期がん患者に対応している割合が高い。訪問診療の位置付け別では、「外来と並行して実施」、「在宅専門で、外来は実施していない」施設は末期がん患者に対応している割合が8割近くを占める。

図表 134 末期がん患者への訪問診療対応（一般診療所：Q17）二次医療圏別



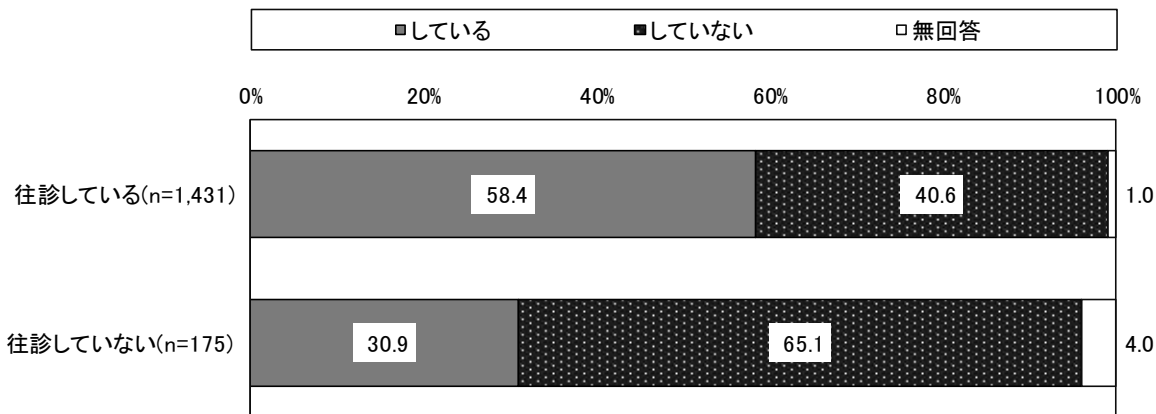
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 135 末期がん患者への訪問診療対応（一般診療所：Q17）在宅療養支援診療所の届出別



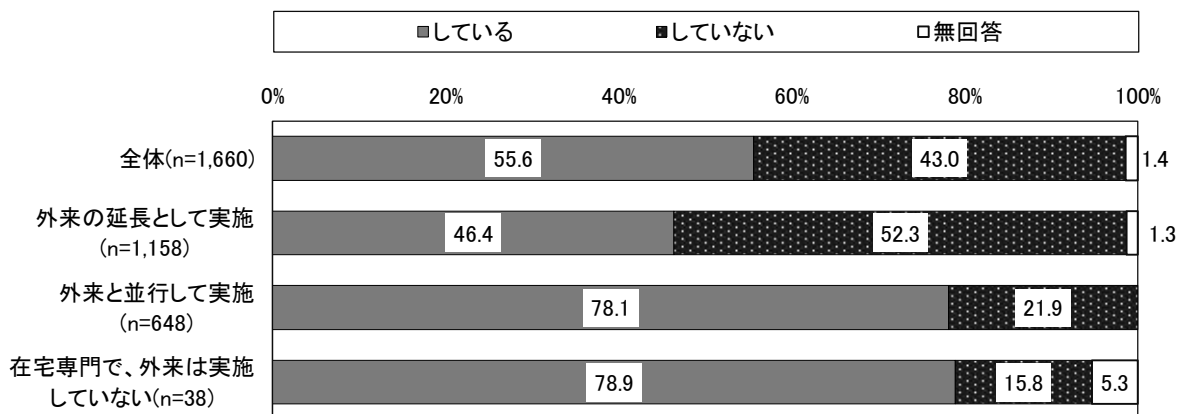
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 136 末期がん患者への訪問診療対応（一般診療所：Q17）往診の実施別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 137 末期がん患者への訪問診療対応（一般診療所：Q17）訪問診療の位置付け別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

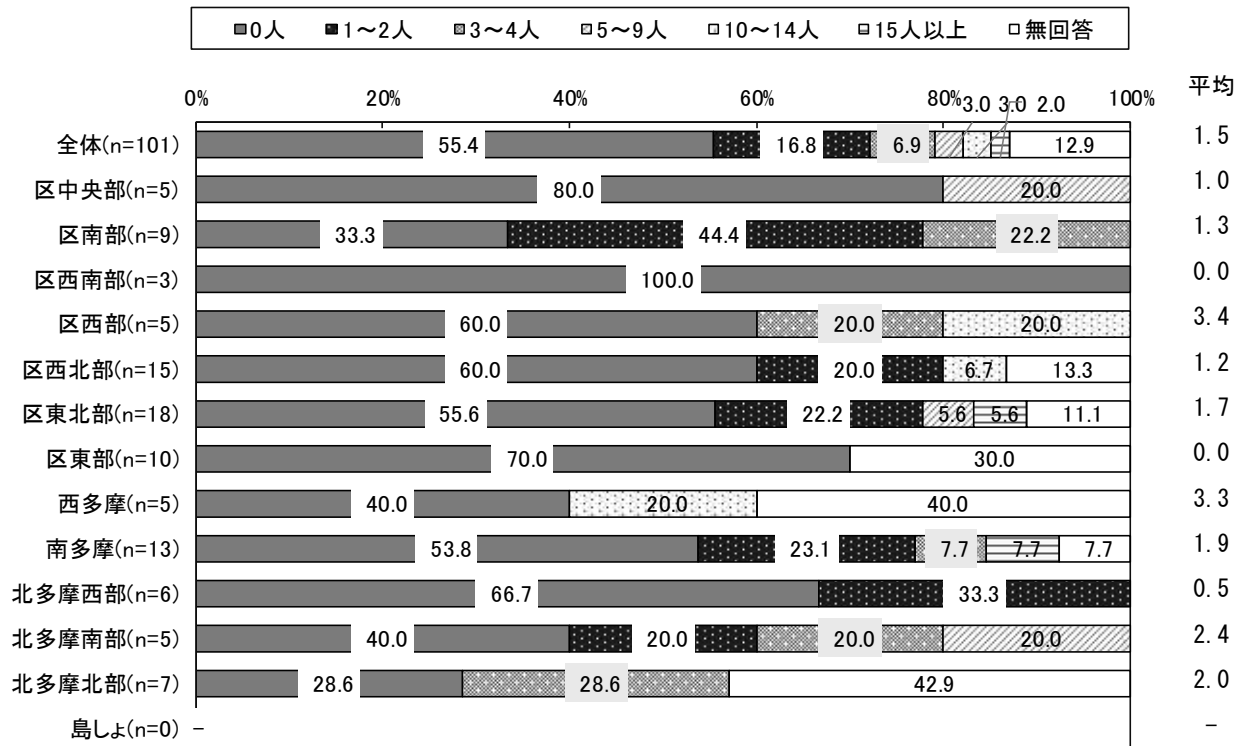
図表 138 末期がん患者に対応していない理由（一般診療所：Q17）

内 容	件数
24 時間対応ができない	63
特定の診療科標榜のため(眼科、精神科、皮膚科、整形外科等)	60
該当する患者がない、依頼がない	57
対応できない、ノウハウ・知識・経験・体力・体制・設備がない等	54
人員不足・マンパワー不足・人材不足	40
疼痛管理・緩和ケア・ターミナルケアに精通していない	27
麻薬を扱わない、麻薬免許を持っていない	21
専門外	20
急変時の対応ができない	18
外来診療を行っているため	12
病院や他の専門医を紹介したり、任せている	12
点滴・経鼻経管栄養・気切・人工肛門・胃ろう等の管理が出来ない	2
その他	13

2019年12月中に訪問診療を行った末期がん患者の実人数をみると、病院では「0人」(55.4%)が最も多く、平均で1.5人である。

一般診療所でも「0人」(48.1%)が最も多く、平均で2.1人である。

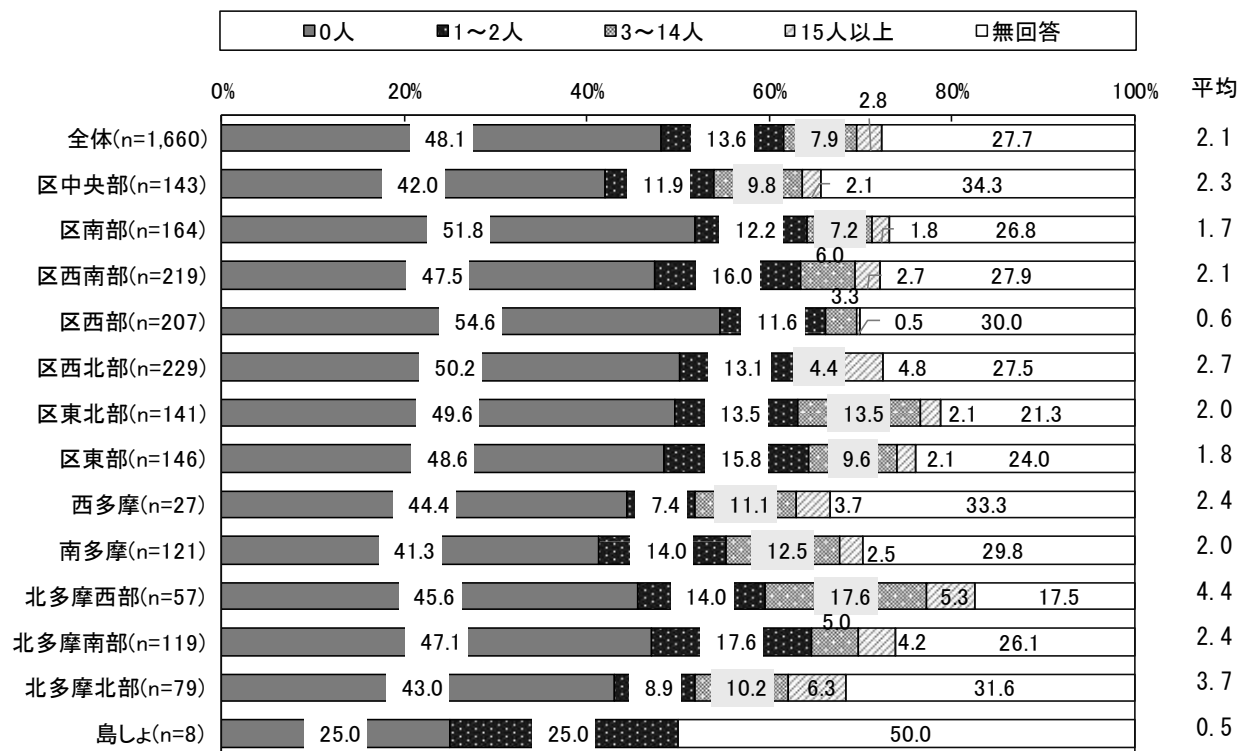
図表 139 2019年12月中の訪問診療を行った末期がん患者の実人数（病院：Q14-1）
二次医療圏別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者数が1人以上の101施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 140 2019年12月中の訪問診療を行った末期がん患者の実人数（一般診療所：Q15-1）
二次医療圏別



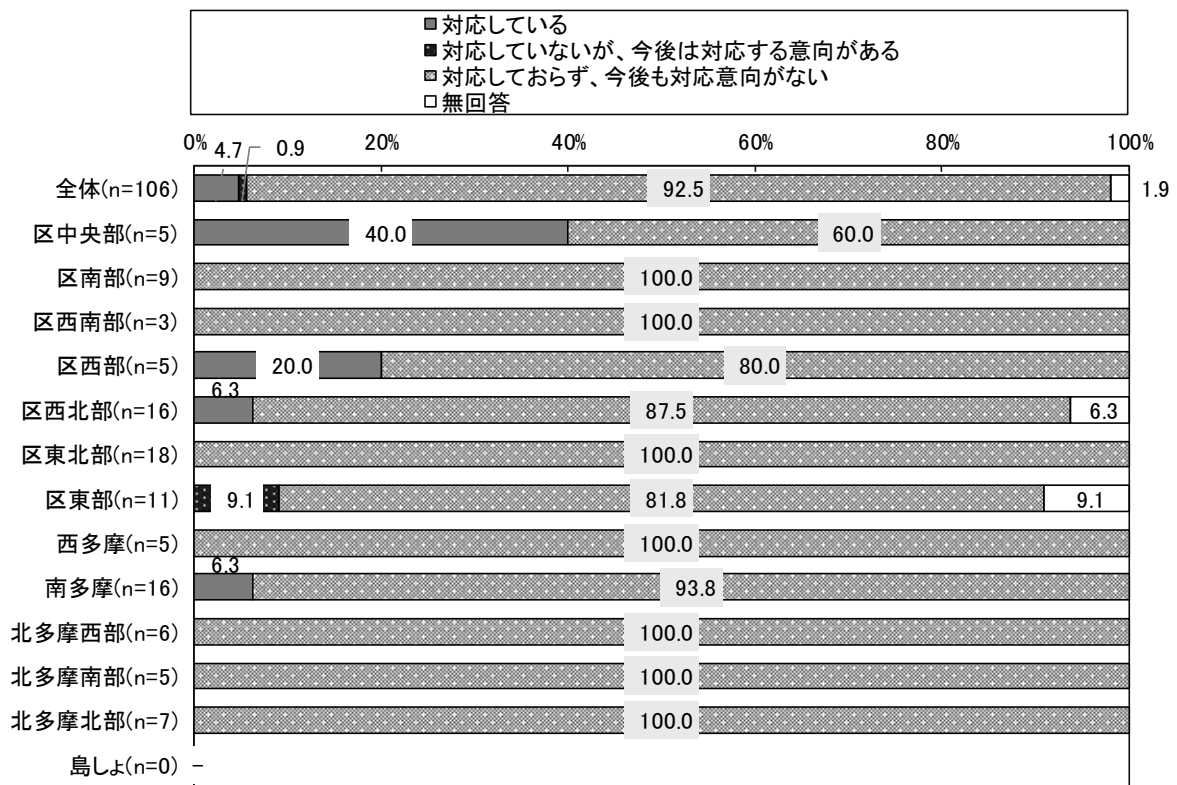
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

(3) 小児患者の在宅医療対応状況

訪問診療実施施設のうち、病院では、4.7%が小児患者の在宅医療を実施している。一方、92.5%が、「小児在宅医療に対応しておらず、今後も小児在宅医療に対応する意向がない」と回答。2019年12月中に訪問診療を行った小児患者数の平均は、0.3人であった。

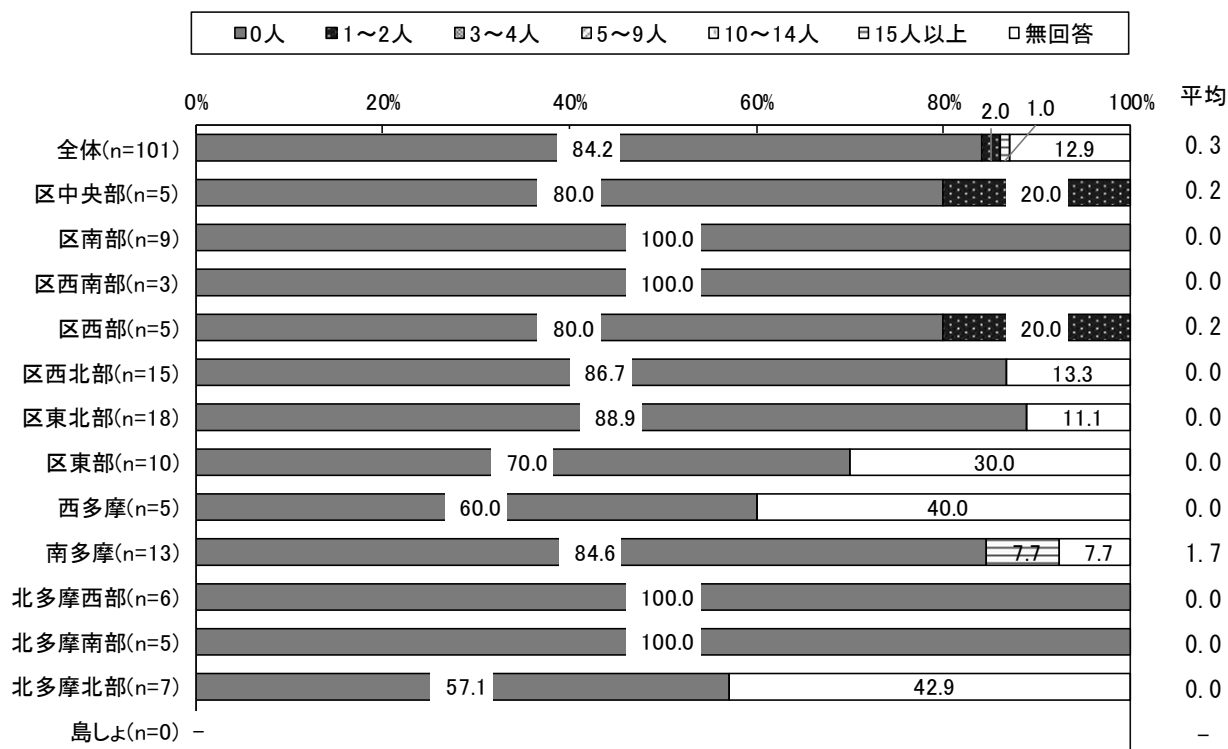
一般診療所では、8.6%が小児患者の在宅医療を実施。2019年12月中に訪問診療を行った小児患者数の平均は、0.5人であった。

図表 141 小児（15歳未満）在宅医療の対応状況（病院：Q22）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

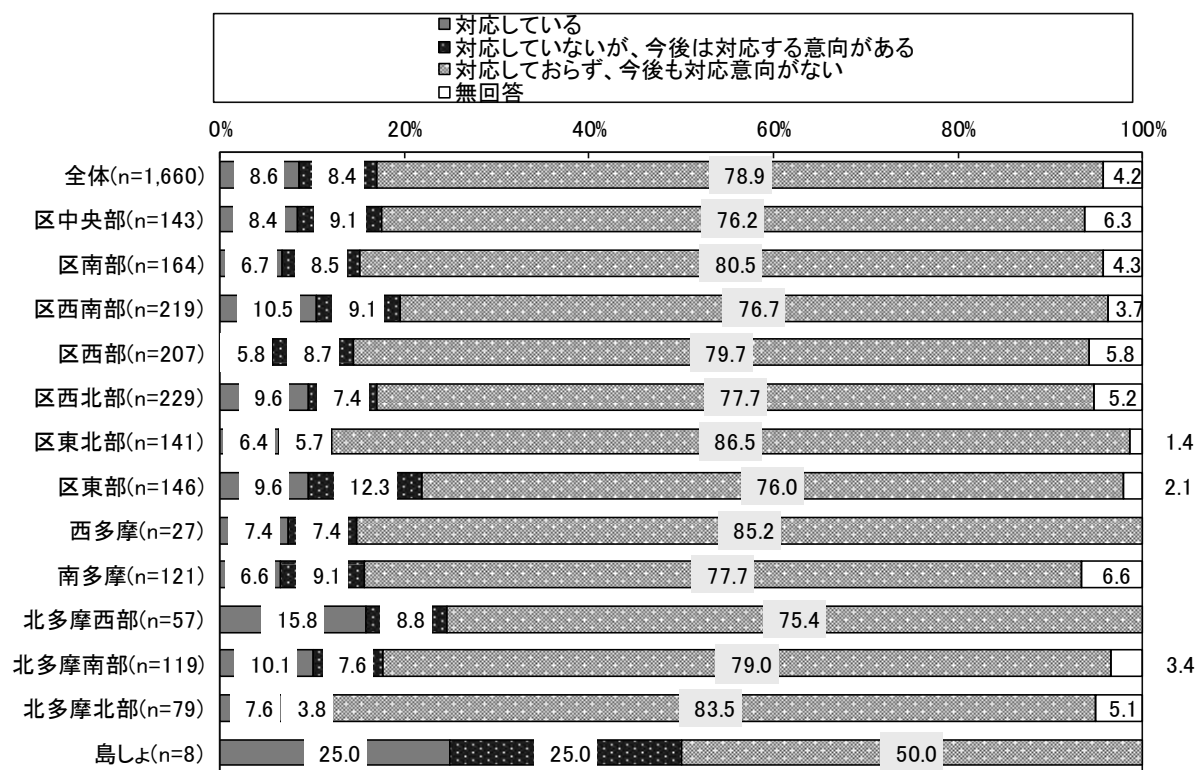
図表 142 2019年12月中の訪問診療を行った小児患者の実人数（病院：Q14-2）二次医療圏別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、2019年12月中に訪問診療を行った患者数が1人以上の101施設

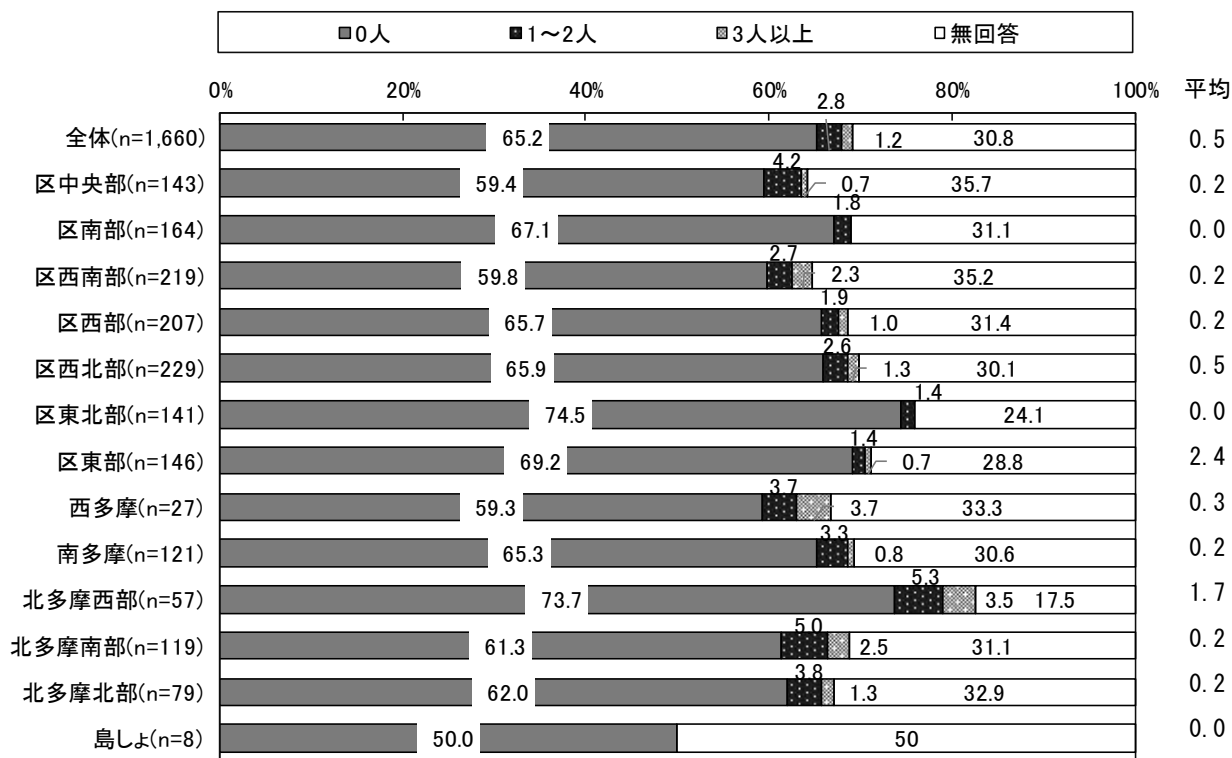
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 143 小児（15歳未満）在宅医療の対応状況（一般診療所：Q25）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 144 2019年12月中の訪問診療を行った小児患者の実人数（一般診療所：Q15-2）二次医療圏別



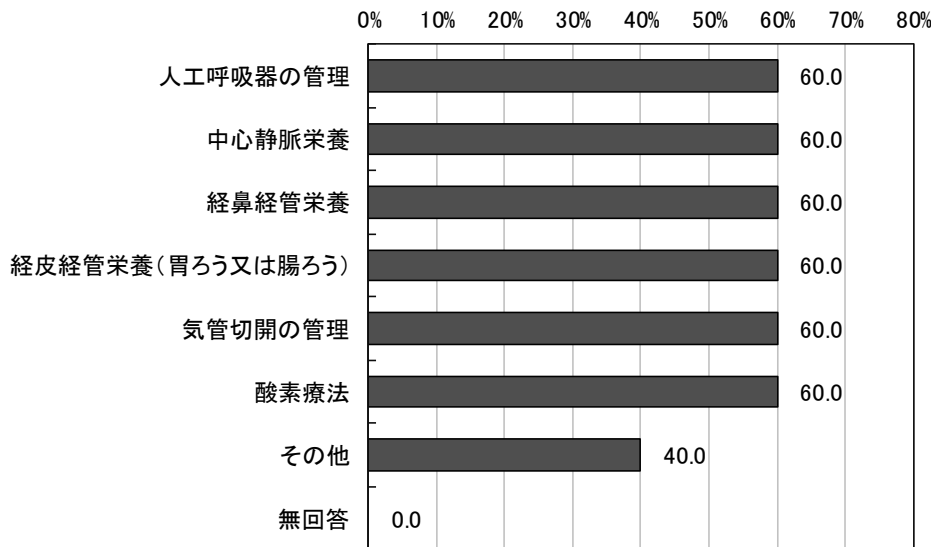
集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

(4) 小児患者の訪問診療にて対応可能な医療行為

小児在宅医療に対応している病院 5 施設では、「人工呼吸器の管理」「中心静脈栄養」「経鼻経管栄養」「経皮経管栄養（胃ろう又は腸ろう）」「気管切開の管理」「酸素療法」を回答施設の 6 割が実施している。一方、一般診療所 142 施設では、「酸素療法」が 70.4%と最も多く、以下、「経鼻経管栄養」（68.3%）、「経皮経管栄養（胃ろう又は腸ろう）」（64.1%）、「気管切開の管理」（64.1%）、「人工呼吸器の管理」（59.2%）などが続く。

図表 145 小児患者に対する訪問診療で対応可能な医療行為（病院：Q23）

（複数回答のため、合計値は 100%を超える）

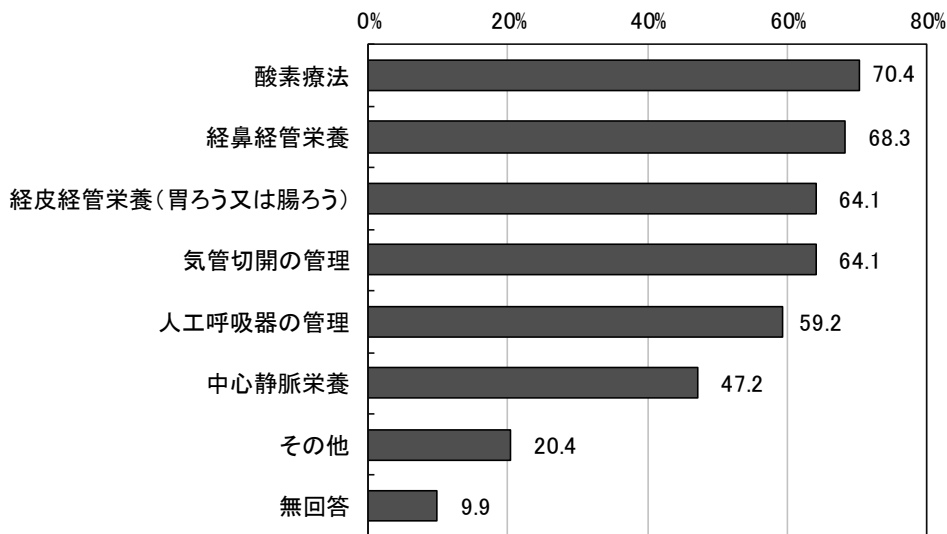


n=5

集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、小児在宅医療に対応している 5 施設

図表 146 小児患者に対する訪問診療で対応可能な医療行為（一般診療所：Q26）

（複数回答のため、合計値は 100%を超える）



n=142

集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、小児在宅医療に対応している 142 施設

図表 147 小児患者に対する訪問診療で対応可能な医療行為－「その他」回答（一般診療所：Q26）

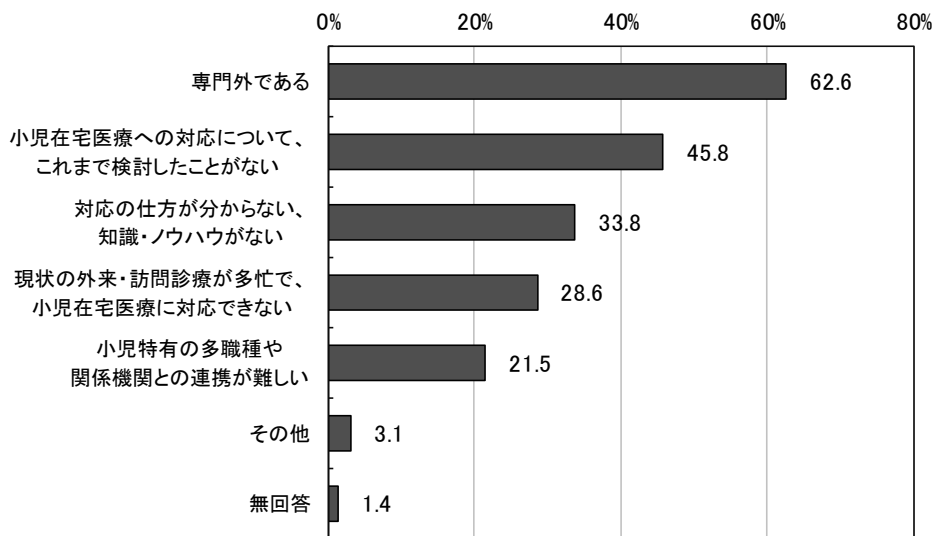
内 容	件数
眼科	4
点滴管理	3
輸血	2
カウンセリング等	2
耳鼻咽喉科	1
整形外科	1
人工肛門	1
腹膜透析ストマ	1
その他	5

(5) 小児在宅医療に対応する意向がない理由（一般診療所）

訪問診療を実施している一般診療所 1,309 施設では、「専門外である」が 62.6%と最も多く、以下、「小児在宅医療に対応について、これまで検討したことがない」(45.8%)、「対応の仕方が分からない、知識・ノウハウがない」(33.8%)、「現状の外来・訪問診療が多忙で、小児在宅医療に対応できない」(28.6%)、「小児特有の多職種や関係機関との連携が難しい」(21.5%)が理由として挙げられた。

図表 148 今後も小児在宅医療に対応する意向がない理由（一般診療所：Q27）

（複数回答のため、合計値は 100%を超える）



n=1,309

集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、今後も小児在宅医療に対応する意向がない 1,309 施設

図表 149 今後も小児在宅医療に対応する意向がない理由（一般診療所：Q27）二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は 100%を超える）

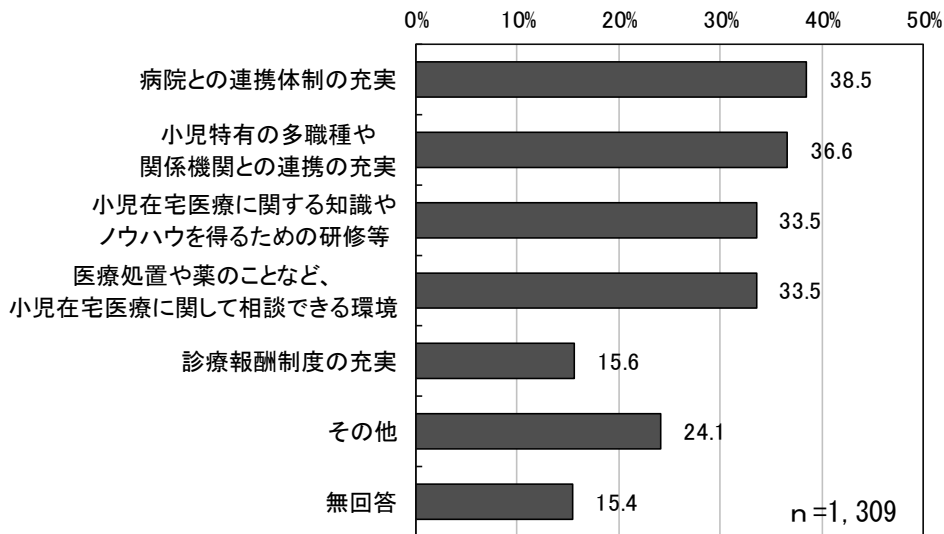
	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1,309 100.0	109 100.0	132 100.0	168 100.0	165 100.0	178 100.0	122 100.0	111 100.0	23 100.0	94 100.0	43 100.0	94 100.0	66 100.0	4 100.0
専門外である	819 62.6	64 58.7	77 58.3	105 62.5	107 64.8	108 60.7	79 64.8	69 62.2	14 60.9	58 61.7	23 53.5	67 71.3	47 71.2	1 25.0
小児在宅医療への対応について、これまで検討したことがない	599 45.8	42 38.5	54 40.9	66 39.3	68 41.2	86 48.3	75 61.5	58 52.3	12 52.2	44 46.8	15 34.9	48 51.1	28 42.4	3 75.0
対応の仕方が分からない、知識・ノウハウがない	442 33.8	36 33.0	50 37.9	59 35.1	50 30.3	58 32.6	33 27.0	41 36.9	7 30.4	38 40.4	11 25.6	35 37.2	21 31.8	3 75.0
現状の外来・訪問診療が多忙で、小児在宅医療に対応できない	375 28.6	35 32.1	39 29.5	46 27.4	39 23.6	55 30.9	32 26.2	27 24.3	7 30.4	28 29.8	13 30.2	27 28.7	25 37.9	2 50.0
小児特有の多職種や関係機関との連携が難しい	281 21.5	26 23.9	30 22.7	34 20.2	24 14.5	46 25.8	33 27.0	21 18.9	5 21.7	18 19.1	9 20.9	19 20.2	14 21.2	2 50.0
その他	41 3.1	5 4.6	7 5.3	2 1.2	4 2.4	4 2.2	3 2.5	-	1 4.3	2 2.1	6 14.0	1 1.1	6 9.1	-
無回答	18 1.4	2 1.8	4 3.0	2 1.2	1 0.6	-	-	3 2.7	-	1 1.1	3 7.0	1 1.1	1 1.5	-

集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、今後も小児在宅医療に対応する意向がない 1,309 施設

(6) 小児在宅医療を可能にする支援（一般診療所）

訪問診療を実施している施設のうち、小児在宅医療に対応する意向がない一般診療所では、「病院との連携体制の充実」が38.5%と最も多く、以下、「小児特有の多職種や関係機関との連携の充実」(36.6%)、「小児在宅医療に関する知識やノウハウを得るための研修等」(33.5%)、「医療処置や薬のことなど、小児在宅医療に関して相談できる環境」(33.5%)、「診療報酬制度の充実」(15.6%)が挙げられた。

図表 150 どのような支援があれば、小児在宅医療への対応ができると思うか（一般診療所：Q28）
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、今後も小児在宅医療に対応する意向がない 1,309 施設

図表 151 どのような支援があれば、小児在宅医療への対応ができると思うか（一般診療所：Q28）
二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1,309 100.0	109 100.0	132 100.0	168 100.0	165 100.0	178 100.0	122 100.0	111 100.0	23 100.0	94 100.0	43 100.0	94 100.0	66 100.0	4 100.0
病院との連携体制の充実	504 38.5	47 43.1	54 40.9	55 32.7	58 35.2	76 42.7	61 50.0	43 38.7	10 43.5	32 34.0	13 30.2	30 31.9	24 36.4	1 25.0
小児特有の多職種や関係機関との連携の充実	479 36.6	38 34.9	41 31.1	58 34.5	49 29.7	71 39.9	62 50.8	45 40.5	6 26.1	33 35.1	14 32.6	41 43.6	21 31.8	-
小児在宅医療に関する知識やノウハウを得るための研修等	439 33.5	40 36.7	40 30.3	47 28.0	54 32.7	63 35.4	49 40.2	41 36.9	7 30.4	34 36.2	12 27.9	34 36.2	17 25.8	1 25.0
医療処置や薬のことなど、小児在宅医療に関して相談できる環境	438 33.5	42 38.5	40 30.3	51 30.4	45 27.3	61 34.3	51 41.8	45 40.5	6 26.1	26 27.7	15 34.9	34 36.2	21 31.8	1 25.0
診療報酬制度の充実	204 15.6	22 20.2	21 15.9	17 10.1	26 15.8	26 14.6	22 18.0	21 18.9	3 13.0	18 19.1	3 7.0	14 14.9	11 16.7	-
その他	316 24.1	19 17.4	32 24.2	37 22.0	44 26.7	34 19.1	24 19.7	19 17.1	4 17.4	33 35.1	14 32.6	28 29.8	26 39.4	2 50.0
無回答	201 15.4	18 16.5	26 19.7	34 20.2	27 16.4	18 10.1	15 12.3	16 14.4	5 21.7	15 16.0	8 18.6	10 10.6	8 12.1	1 25.0

集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、今後も小児在宅医療に対応する意向がない 1,309 施設

図表 152 どのような支援があれば、小児在宅医療への対応ができると思うかー「その他」回答
 (一般診療所：Q28)

内 容	件数
小児科医ではない、小児科の診療はしていない、経験がない	38
小児科医・専門医の確保	30
マンパワー不足、医師1人で対応は困難	16
(自身が) 高齢なので困難、自信がないので困難	11
多忙で困難、余裕があれば対応	10
高齢者の対応が優先	9
医療体制や安全の確保	7
研修や知識の必要性	6
外来診療重視	3
信頼関係、リスク	2
分からない、不明	2
その他	5

3 過去1年間の緊急入院、看取り患者

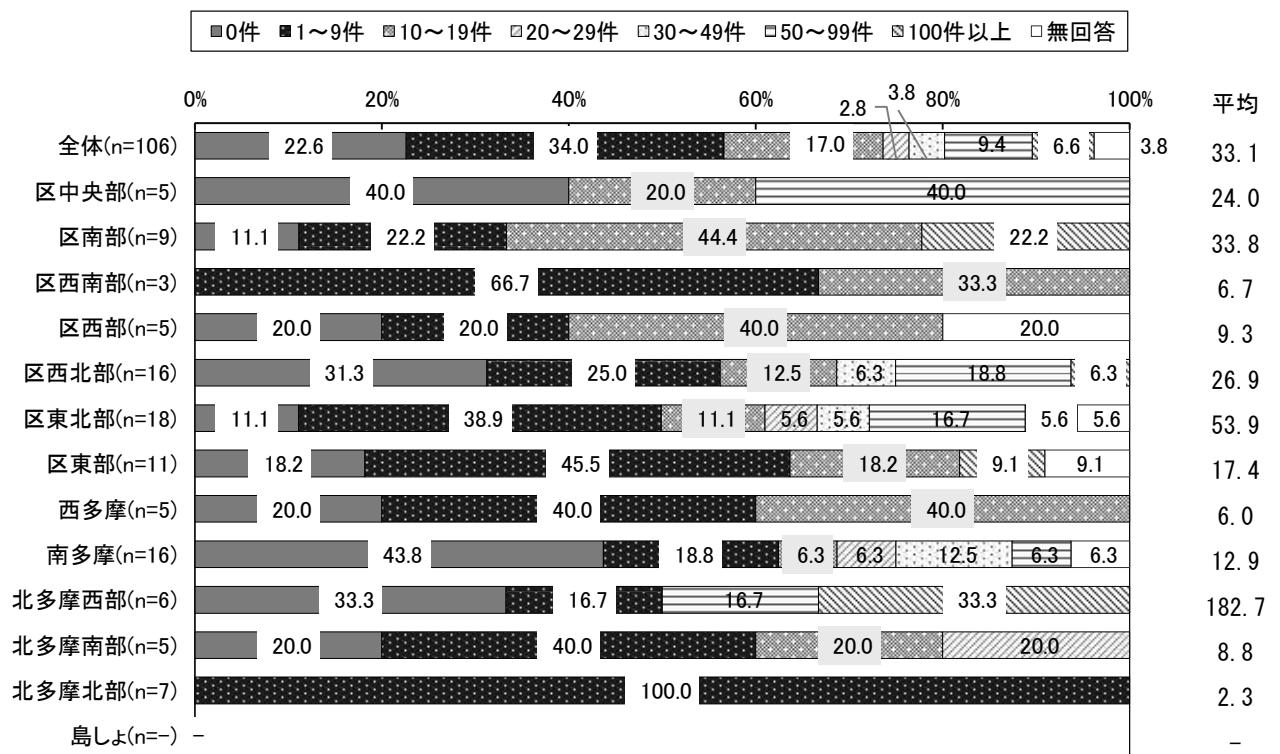
(1) 過去1年間で緊急入院が必要になった件数

訪問診療を実施している病院では、「1～9件」が34.0%で最も多く、平均では、33.1件である。

在宅療養支援病院の届出有無で、緊急入院が必要になった件数の平均を比較すると、「届け出ている」施設では53.7件に対し、「届け出していない」施設は6.1件である。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は42.5件で「往診していない」施設は9.2件である。地域包括ケア病床の有無でみると、「ある」施設は43.2件で「ない」施設は24.5件である。

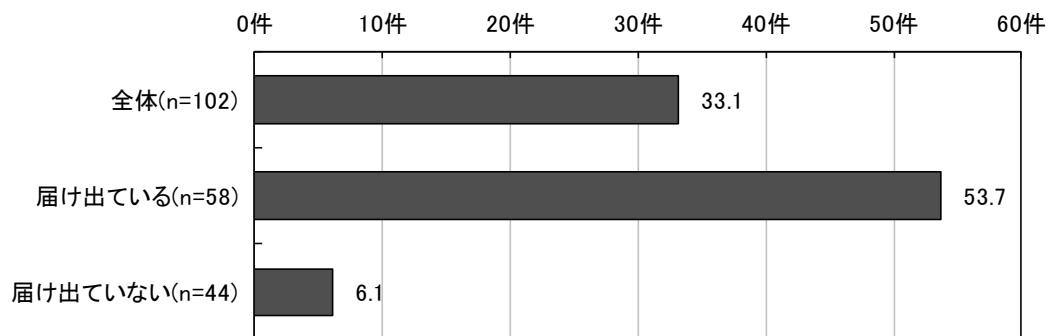
1週間あたりの訪問診療件数別でみると、概ね件数が多いほど緊急入院の件数も多くなる。2019年12月中の訪問診療患者数別でみると、「100人以上」では、2019年1～12月の1年間の緊急入院件数が78.4件である。

図表 153 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）二次医療圏別



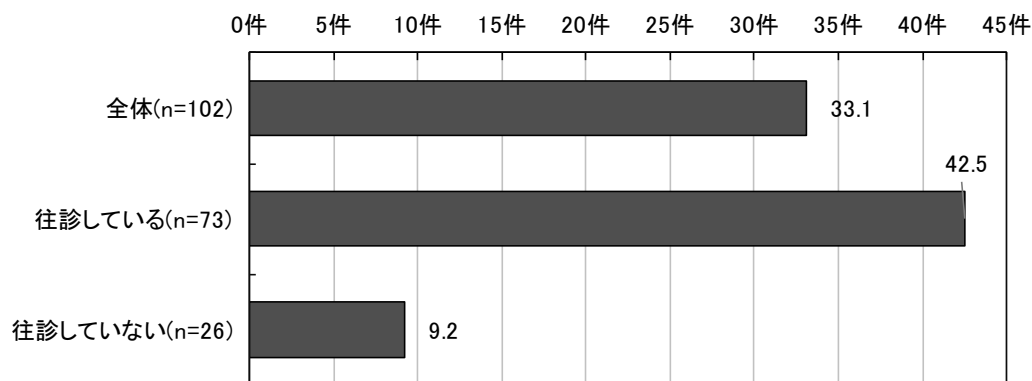
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 154 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）在宅療養支援病院の届出別平均件数



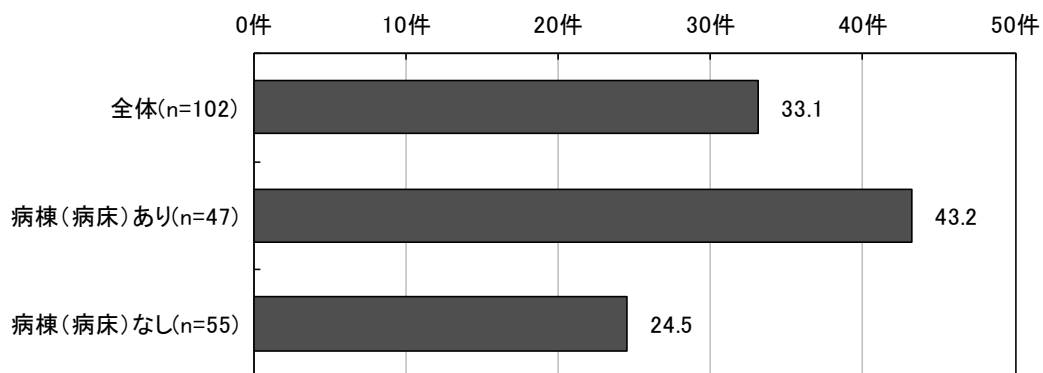
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 155 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）往診の実施別平均件数



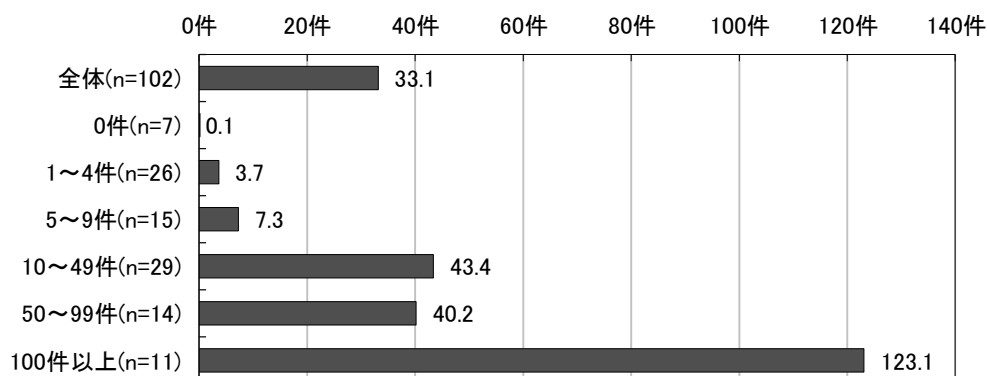
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 156 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）地域包括ケア病棟（病床）の有無別平均件数



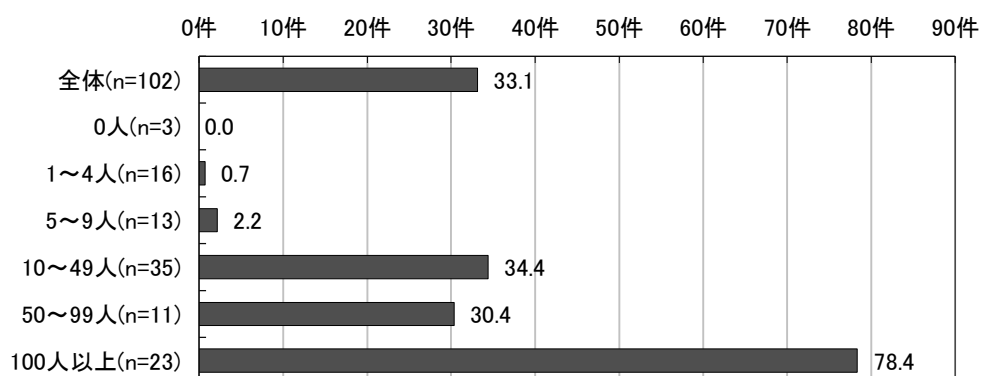
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 157 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）1週間当たりの訪問診療件数別平均件数



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 158 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（病院：Q19）2019年12月中の訪問診療患者数別平均件数



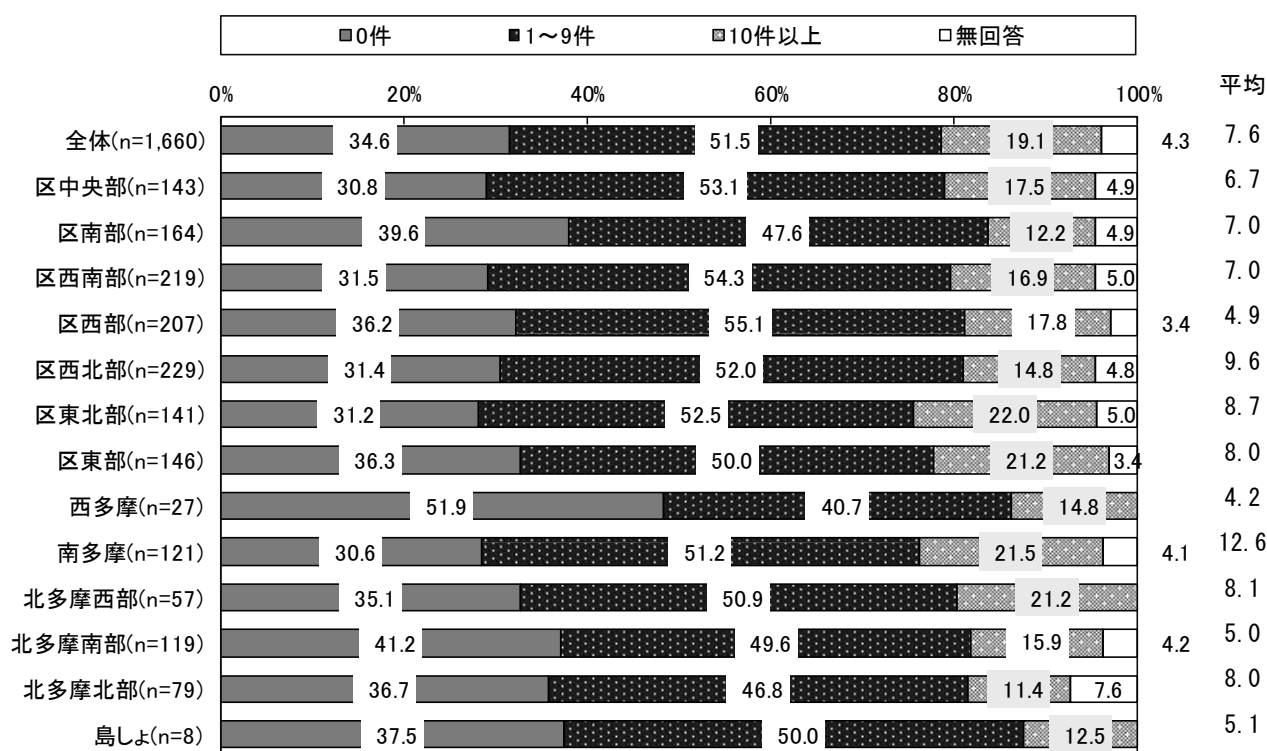
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

訪問診療を実施している一般診療所における過去1年間で緊急入院が必要になった件数をみると、「1～9件」が51.5%と半数を占め、平均では、7.6件となっている。

在宅療養支援診療所の届出有無で、緊急入院が必要になった件数の平均を比較すると、「届け出ている」施設では12.6件で、「届け出していない」施設は1.8件である。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は8.1件で「往診していない」施設は3.3件である。

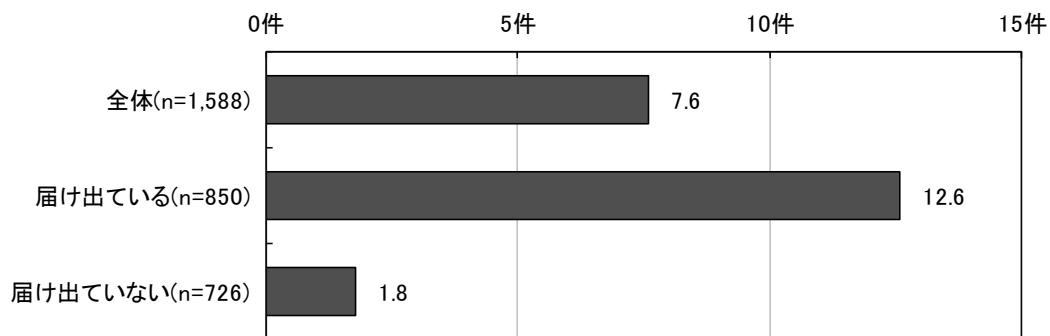
1週間あたりの訪問診療件数別でみると、件数が多いほど緊急入院の件数も多くなる。2019年12月中の訪問診療患者数別でみると、患者数が多いほど緊急入院患者数も多く、「100人以上」では、2019年1～12月の1年間の緊急入院件数が38.2件である。訪問診療の位置付け別では、「在宅専門で、外来は実施していない」施設では23.2件と他より多い。

図表 159 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、およその件数（一般診療所：Q21）二次医療圏別



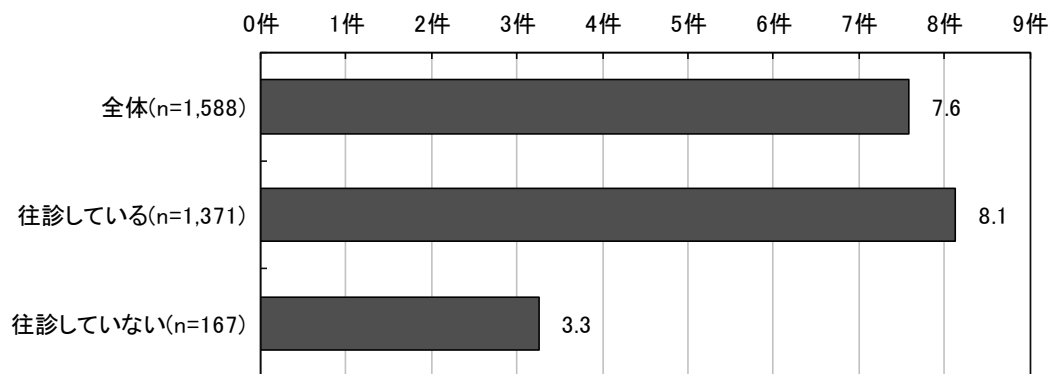
集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 160 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（一般診療所：Q21）在宅療養支援診療所の届出別平均件数



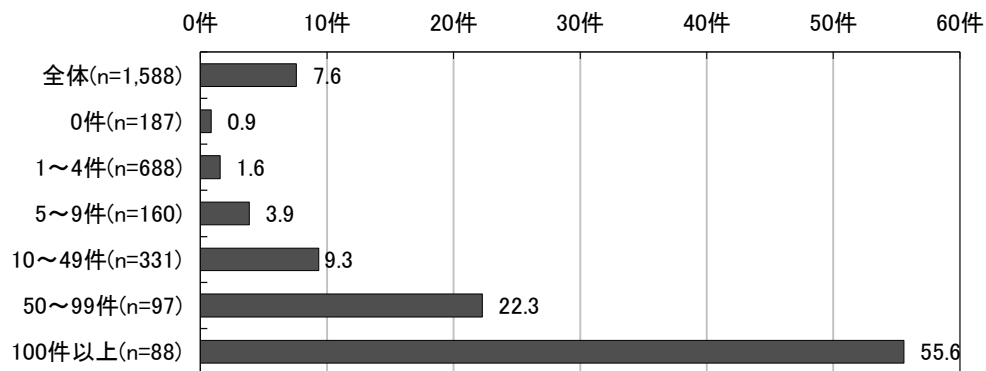
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 161 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（一般診療所：Q21）往診の実施別平均件数



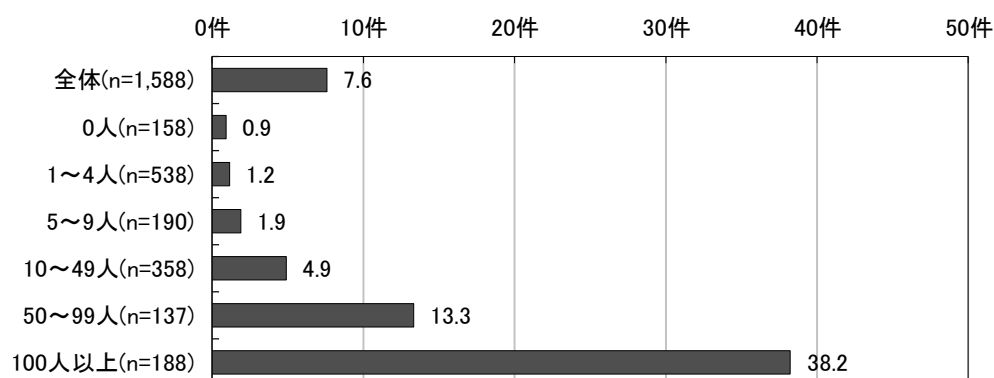
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 162 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（一般診療所：Q21）1週間当たりの訪問診療件数別平均件数



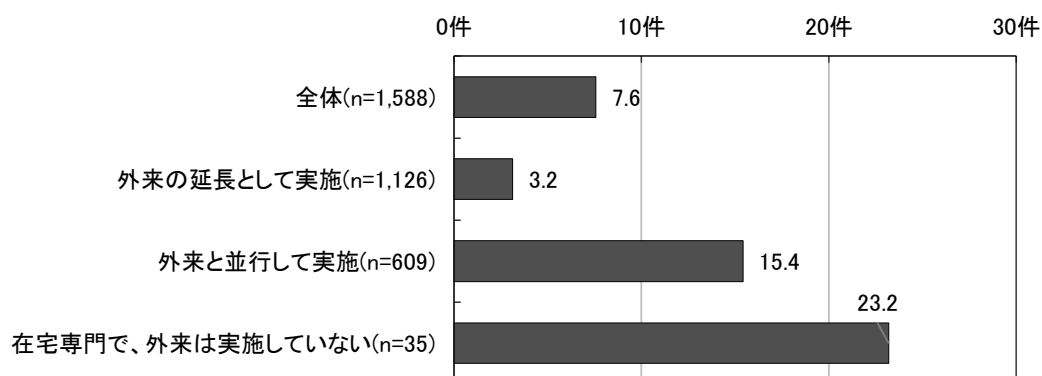
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 163 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（一般診療所：Q21）2019年12月中の訪問診療患者数別平均件数



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 164 過去1年間（2019年1～12月）で緊急入院が必要となったケースの、おおよその件数（一般診療所：Q21）訪問診療の位置付け別平均件数



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

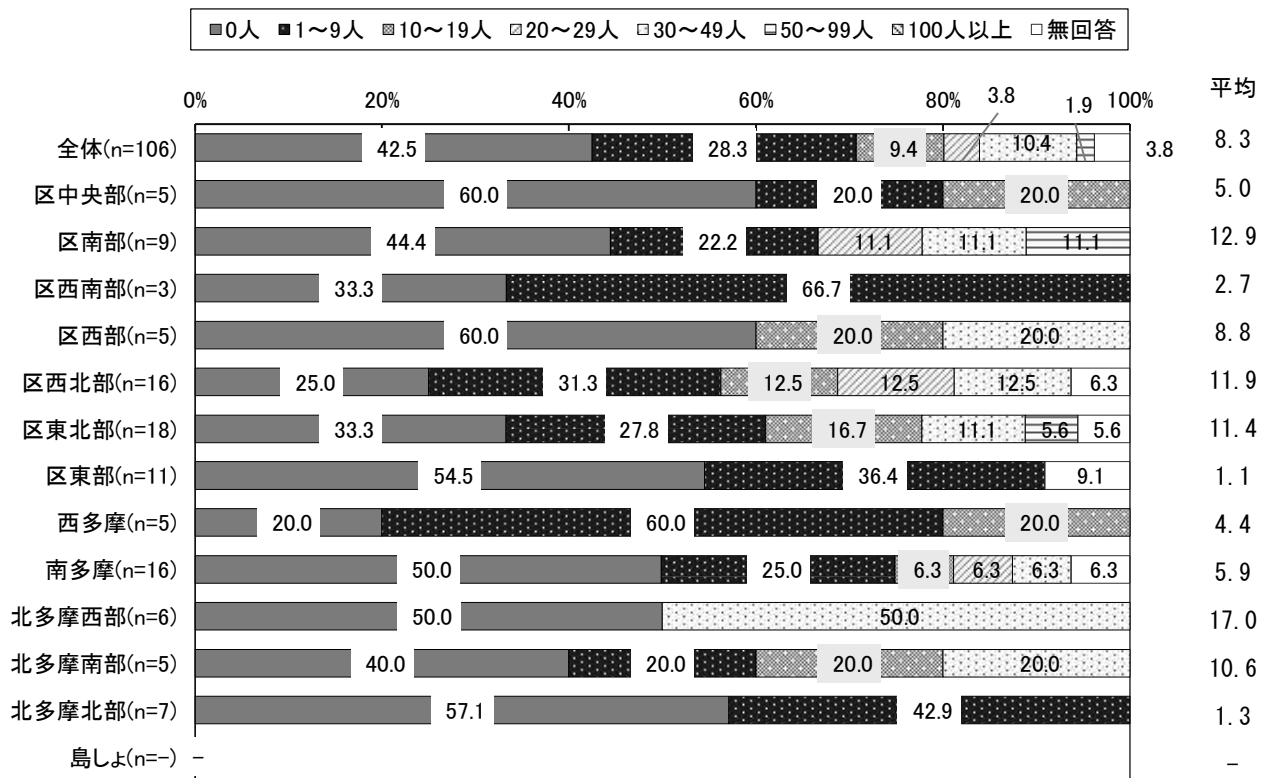
(2) 過去1年間で看取りの実施人数

訪問診療を実施している病院では、「0人」が42.5%と最も多く、次いで「1～9人」(28.3%)である。平均では、8.3人となっている。

在宅療養支援病院の届出有無で、看取り患者数の平均を比較すると、「届け出ている」施設では13.7人で、「届け出していない」施設は1.3人である。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は11.0人で「往診していない」施設は1.9人である。地域包括ケア病床の有無でみると、「ある」施設は9.8人で「ない」施設は7.1人である。

1週間あたりの訪問診療件数別でみると、概ね件数が多いほど看取り患者数も多くなる。2019年12月中の訪問診療患者数別でも、概ね訪問診療患者数が多いほど看取り患者数も多くなる。

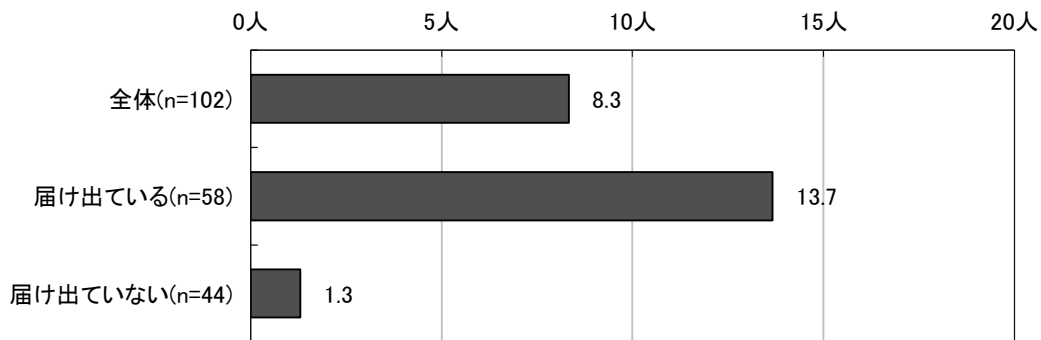
図表 165 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全366施設のうち、訪問診療を実施している106施設

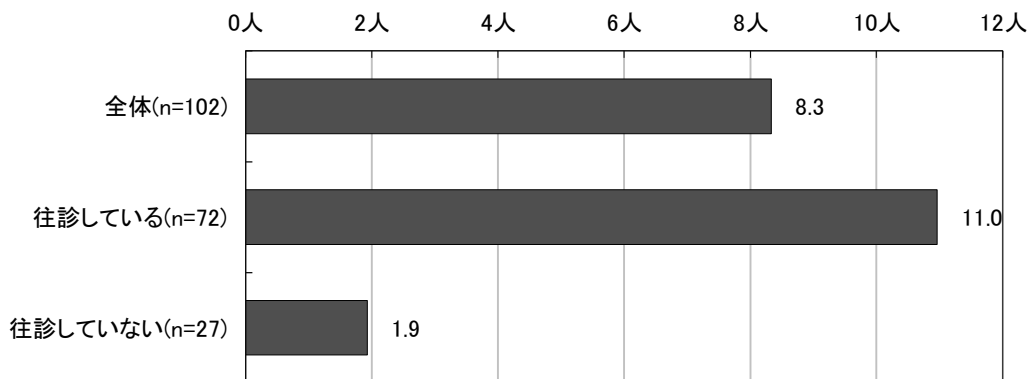
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 166 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
在宅療養支援病院の届出別平均人数



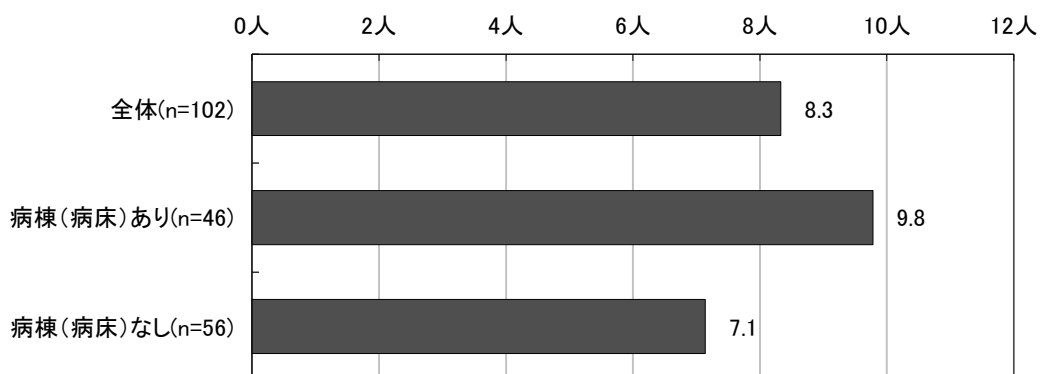
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 167 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
往診の実施別平均人数



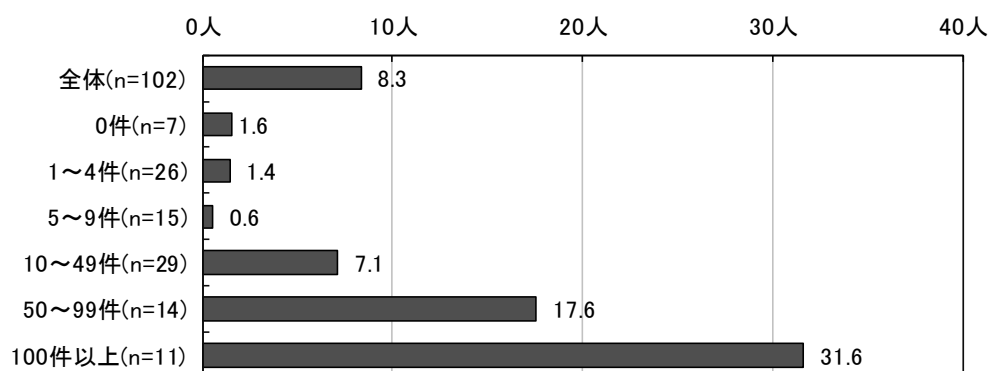
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 168 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
地域包括ケア病棟（病床）の有無別平均人数



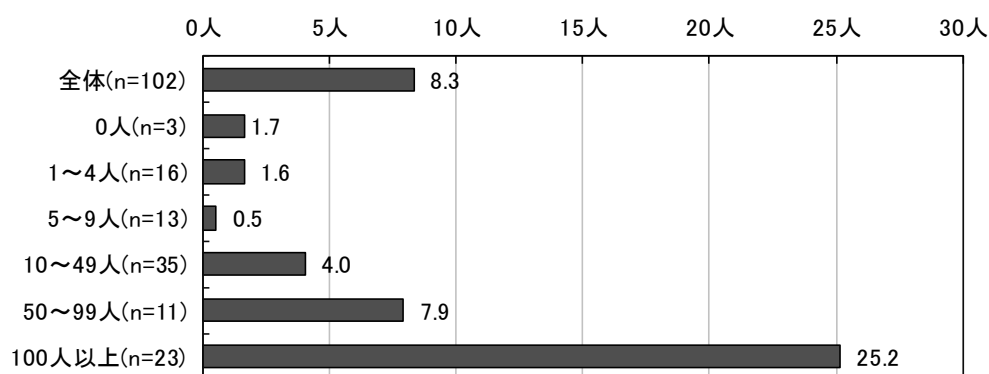
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 169 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
1週間当たりの訪問診療件数別平均人数



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 170 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（病院：Q20）
2019年12月中の訪問診療患者数別平均人数



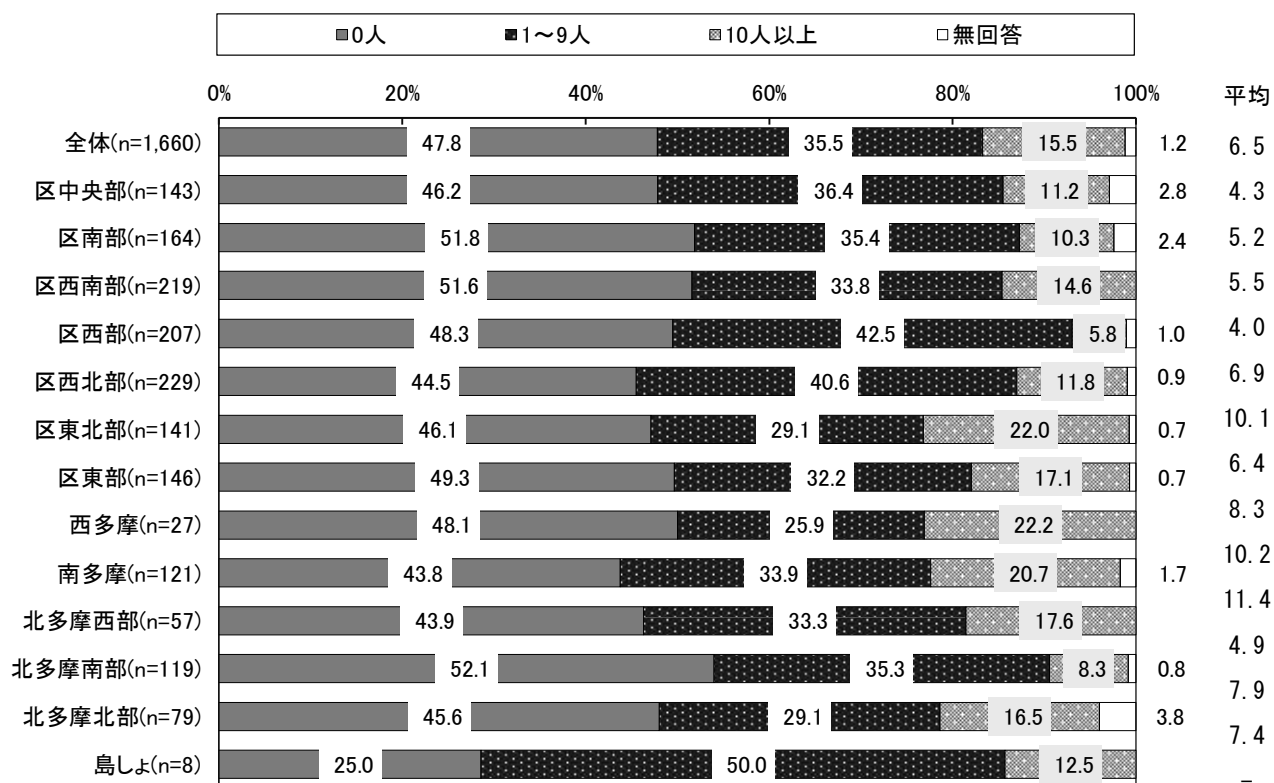
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

訪問診療を実施している一般診療所における在宅で看取りを行った患者数は、「0人」が47.8%と最も多く、次いで「1～9人」(35.5%)である。平均では、6.5人となっている。

在宅療養支援診療所の届出有無で、看取り患者数の平均を比較すると、「届け出ている」施設では11.5人で、「届け出していない」施設は0.7人である。往診の実施状況でみると、「往診している」施設は7.1人で「往診していない」施設は1.9人である。

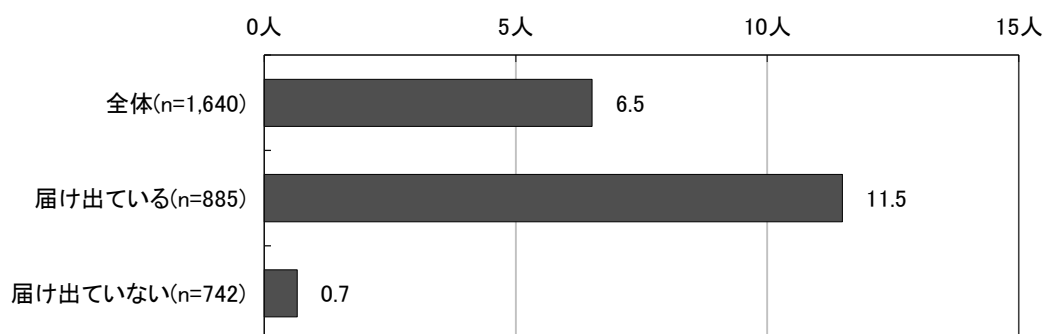
1週間あたりの訪問診療件数別でみると、件数が多いほど看取り患者数も多くなる。2019年12月中の訪問診療患者数別でも、患者数が多いほど看取り患者数が多くなる。訪問診療の位置づけ別では、「在宅専門で、外来は実施していない」施設では31.6人と他より多い。

図表 171 過去1年間(2019年1～12月)に在宅で看取りを行った患者の人数(一般診療所: Q23) 二次医療圏別



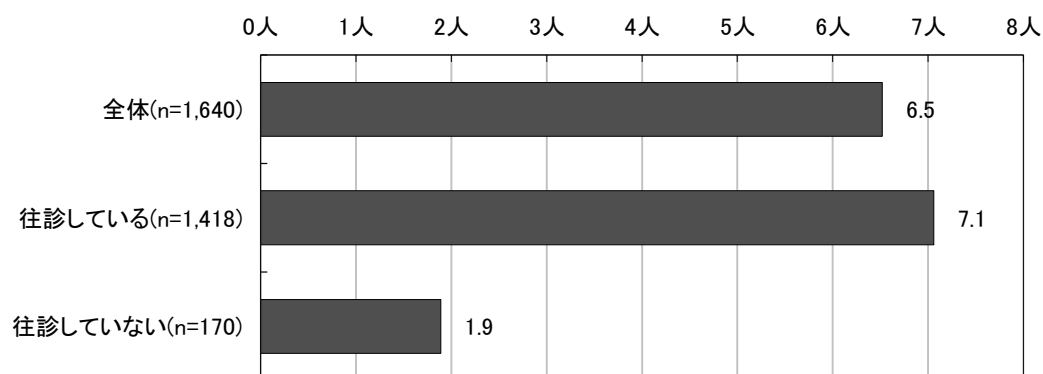
集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 172 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（一般診療所：Q23）在宅療養支援診療所の届出別平均人数



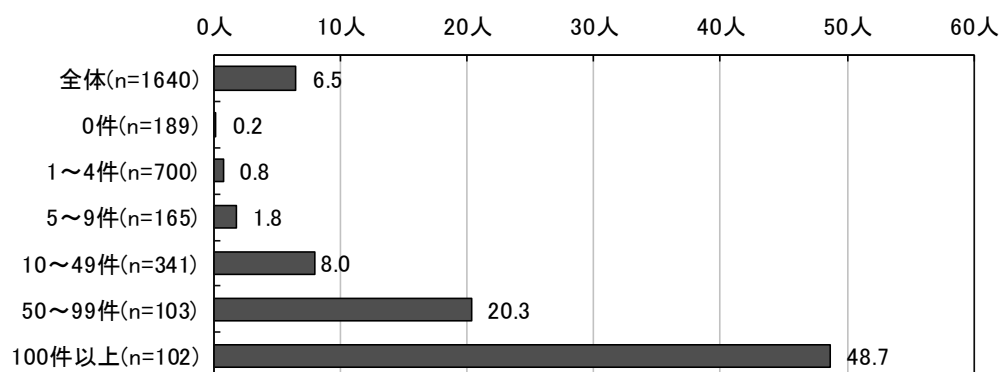
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 173 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（一般診療所：Q23）往診の実施別平均人数



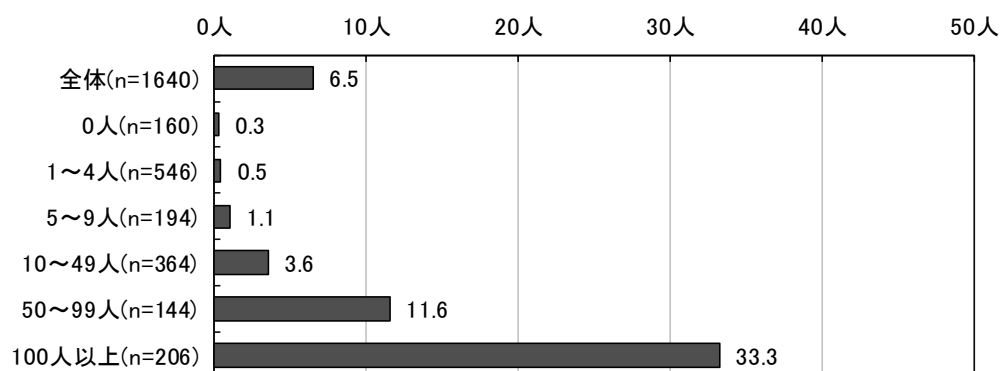
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 174 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（一般診療所：Q23）1週間当たりの訪問診療件数別平均人数



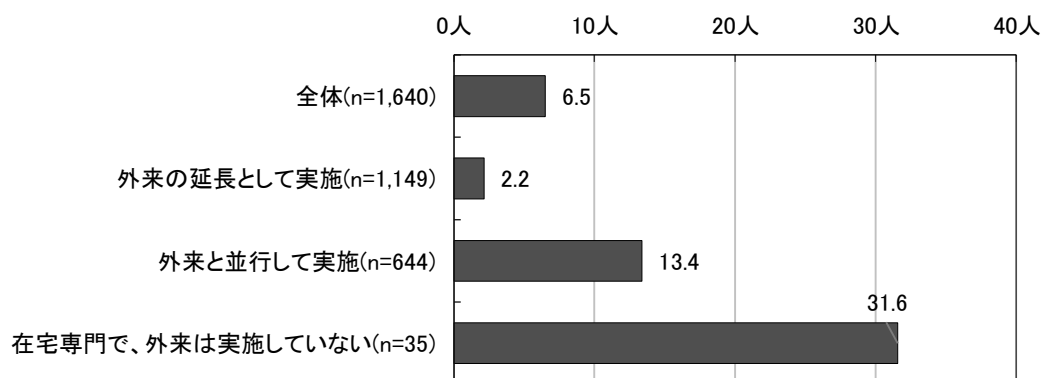
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 175 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（一般診療所：Q23）2019年12月中の訪問診療患者数別平均人数



集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 176 過去1年間（2019年1～12月）に在宅で看取りを行った患者の人数（一般診療所：Q23）訪問診療の位置付け別平均人数



集計対象：調査に回答した一般診療所全8,864施設のうち、訪問診療を実施している1,660施設
平均は、「無回答」を除いて算出

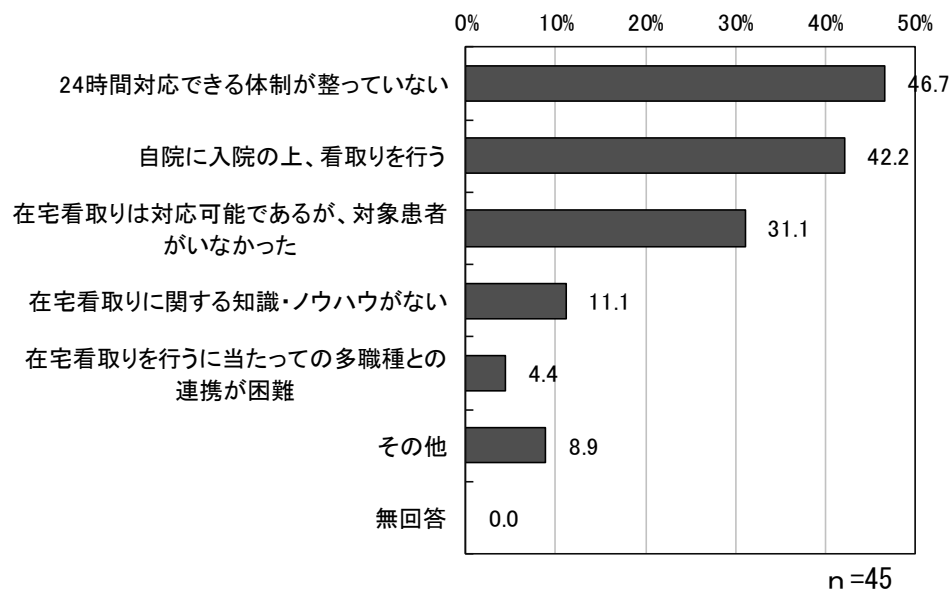
(3) 過去1年間の看取り人数が0人だった理由

訪問診療を実施している病院では、「24時間対応できる体制が整っていない」が46.7%と最も多く、以下、「自院に入院の上、看取りを行う」(42.2%)、「在宅看取りは対応可能であるが、対象患者がいなかった」(31.1%)、「在宅看取りに関する知識・ノウハウがない」(11.1%)、「在宅看取りを行うに当たっての多職種との連携が困難」(4.4%)が続く。

訪問診療を実施している一般診療所では、「在宅看取りは対応可能であるが、対象患者がいなかった」が51.8%と最も多く、以下、「24時間対応できる体制が整っていない」(36.3%)、「在宅看取りに関する知識・ノウハウがない」(11.7%)、「在宅看取りを行うに当たっての多職種との連携が困難」(9.4%)が続いている。

図表 177 在宅で看取りを行った人数が0人だった理由（病院：Q21）

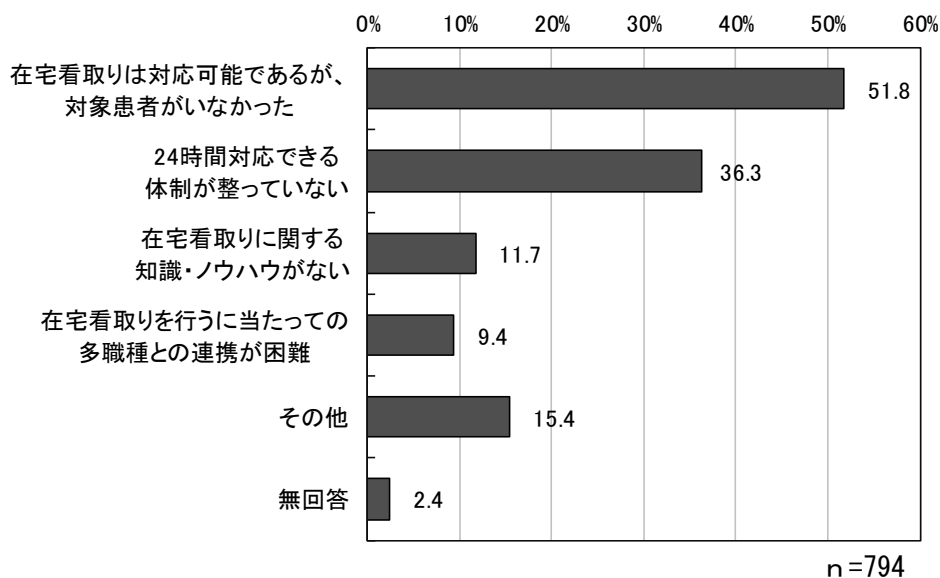
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：訪問診療を実施している病院106施設のうち、2019年1～12月に在宅で看取りを行った人数が0人の45施設

図表 178 在宅で看取りを行った人数が0人だった理由（一般診療所：Q24）

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：訪問診療を実施している診療所 1,660 施設のうち、2019年1～12月に在宅で看取りを行った人数が0人の794施設

図表 179 在宅で看取りを行った人数が0人だった理由（一般診療所：Q24）二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	794 100.0	66 100.0	85 100.0	113 100.0	100 100.0	102 100.0	65 100.0	72 100.0	13 100.0	53 100.0	25 100.0	62 100.0	36 100.0	2 100.0
在宅看取りは対応可能であるが、対象患者がいなかった	411 51.8	31 47.0	46 54.1	53 46.9	56 56.0	52 51.0	33 50.8	42 58.3	5 38.5	27 50.9	13 52.0	31 50.0	20 55.6	2 100.0
24時間対応できる体制が整っていない	288 36.3	27 40.9	34 40.0	50 44.2	30 30.0	41 40.2	28 43.1	20 27.8	4 30.8	14 26.4	11 44.0	18 29.0	11 30.6	-
在宅看取りに関する知識・ノウハウがない	93 11.7	10 15.2	9 10.6	16 14.2	15 15.0	14 13.7	9 13.8	8 11.1	-	3 5.7	2 8.0	5 8.1	2 5.6	-
在宅看取りを行うに当たっての多職種との連携が困難	75 9.4	7 10.6	8 9.4	8 7.1	12 12.0	11 10.8	7 10.8	8 11.1	1 7.7	5 9.4	5 20.0	3 4.8	-	-
その他	122 15.4	10 15.2	9 10.6	16 14.2	17 17.0	14 13.7	9 13.8	10 13.9	5 38.5	9 17.0	3 12.0	13 21.0	7 19.4	-
無回答	19 2.4	2 3.0	2 2.4	3 2.7	1 1.0	1 1.0	1 1.5	1 1.4	-	3 5.7	-	4 6.5	1 2.8	-

集計対象：訪問診療を実施している診療所 1,660 施設のうち、2019年1～12月に在宅で看取りを行った人数が0人の794施設

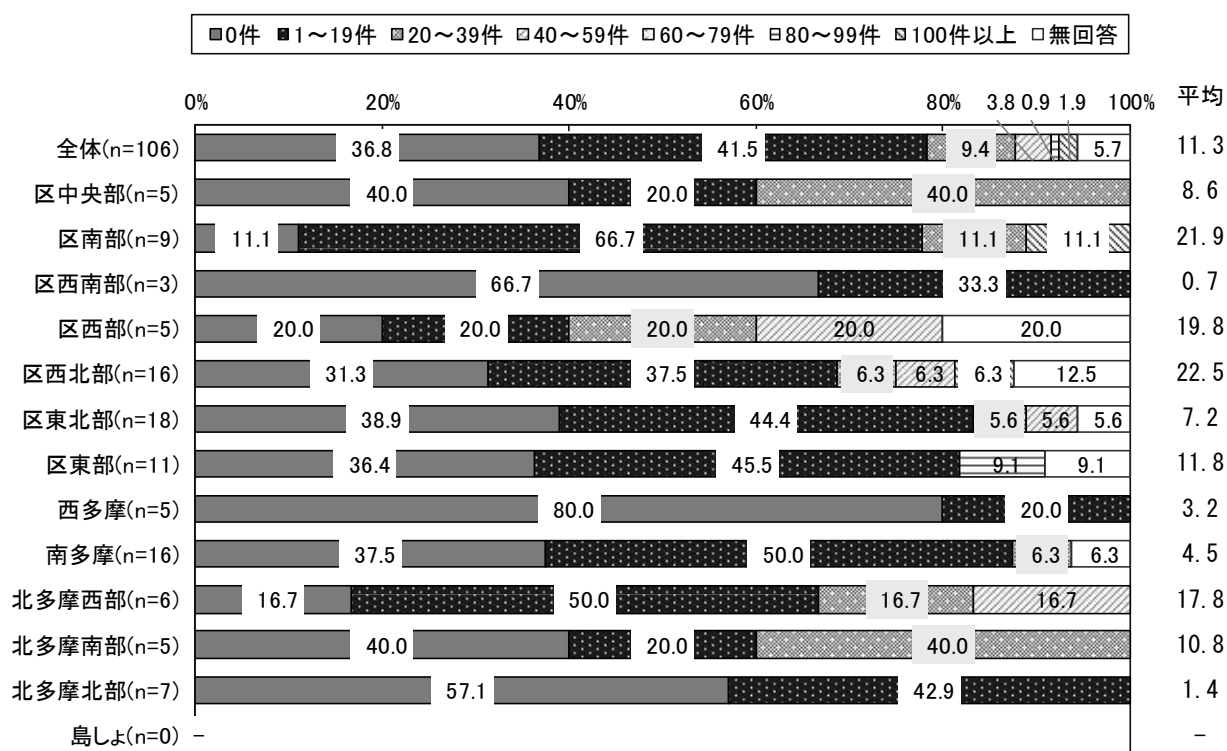
4 休日・夜間、夏休みや年末年始の対応

(1) 1か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数

病院では、「1～19件」が41.5%と最も多く、次いで「0件」(36.8%)、「20～39件」(9.4%)などが続く。平均では、11.3件となっている。

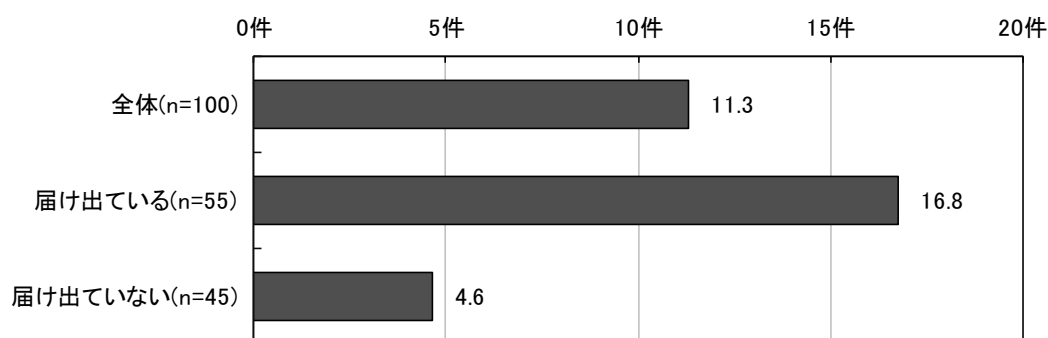
対応件数平均を在宅療養支援病院の届出有無でみると、「届け出ている」施設は16.8件で、「届け出していない」施設は4.6件である。加算状況別では、「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」を算定している施設では、62.4件と多い。往診状況別では、「往診している」施設で15.1件、「往診していない」施設で1.6件である。

図表 180 1か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（病院：Q18）
二次医療圏別



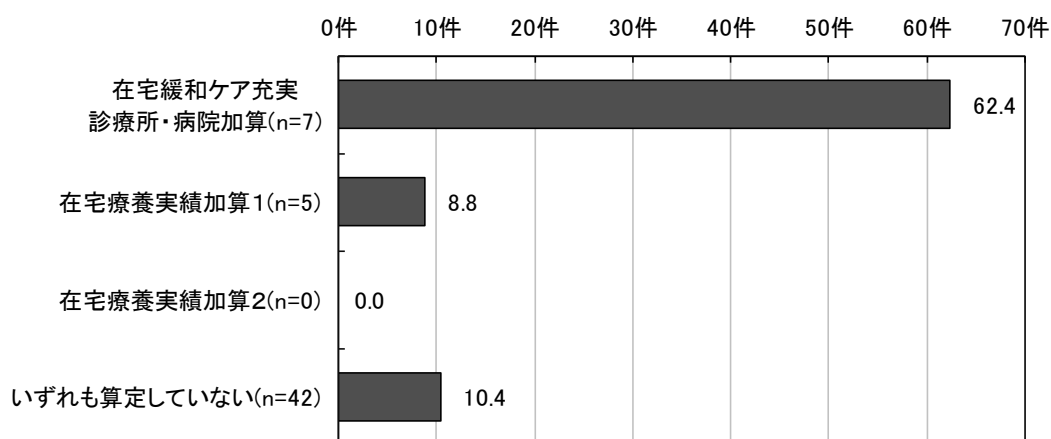
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 181 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（病院：Q18）
在宅療養支援病院の届出別平均件数



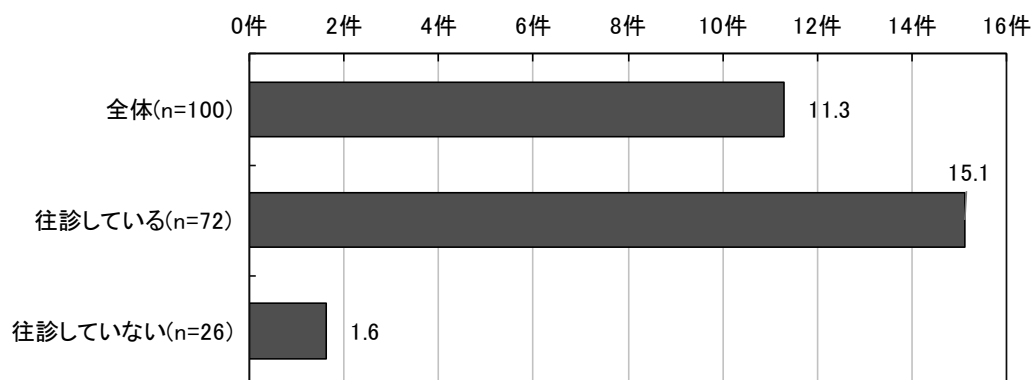
集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 182 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（病院：Q18）
加算状況別平均件数



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 183 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（病院：Q18）
往診の実施別平均件数

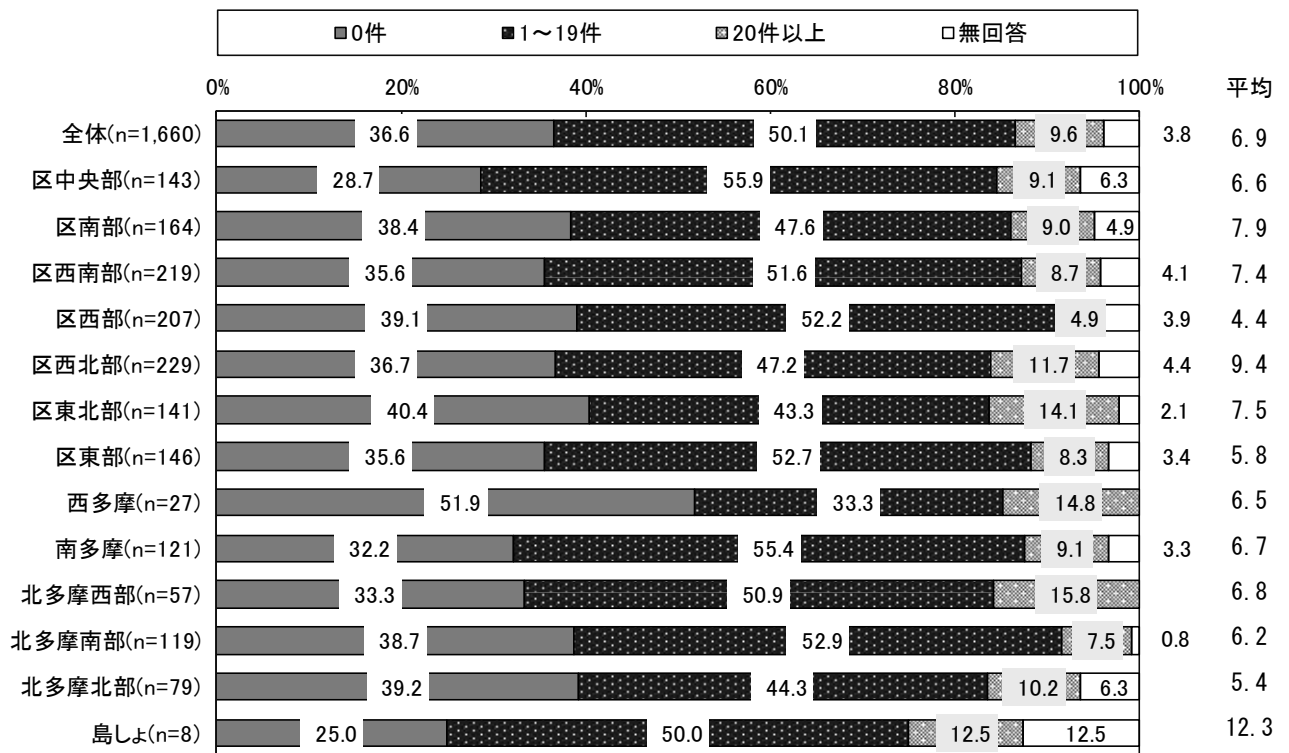


集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

一般診療所について、1か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数をみると、「1～19件」が50.1%と最も多く、次いで「0件」(36.6%)、「20件以上」(9.6%)が続く。平均では、6.9件となっている。

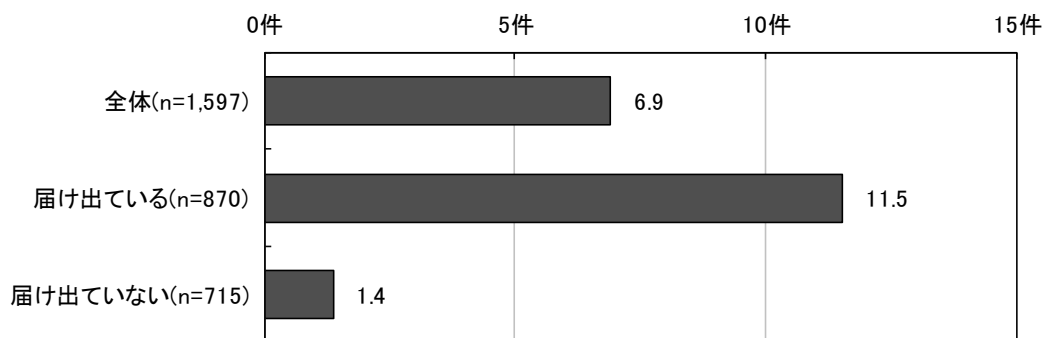
対応件数の平均を在宅療養支援診療所の届出有無でみると、「届け出ている」施設は11.5件で、「届け出していない」施設は1.4件である。加算状況別では、「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」を算定している施設では、38.2件である。往診状況別では、「往診している」施設で7.3件、「往診していない」施設で3.2件である。訪問診療の位置付け別では、「在宅専門で、外来は実施していない」施設は24.9件と多い。

図表 184 1か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（一般診療所：Q19） 二次医療圏別



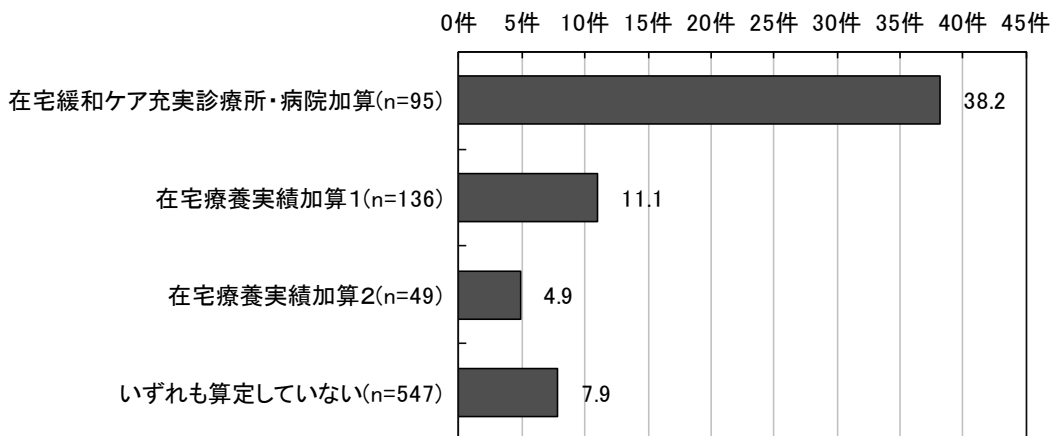
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 185 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（一般診療所：Q19）在宅療養支援診療所の届出別平均件数



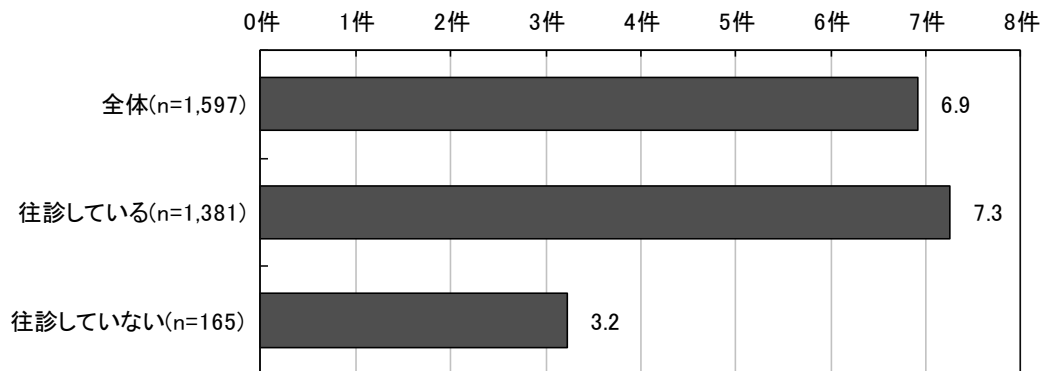
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 186 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（一般診療所：Q19）加算状況別平均件数



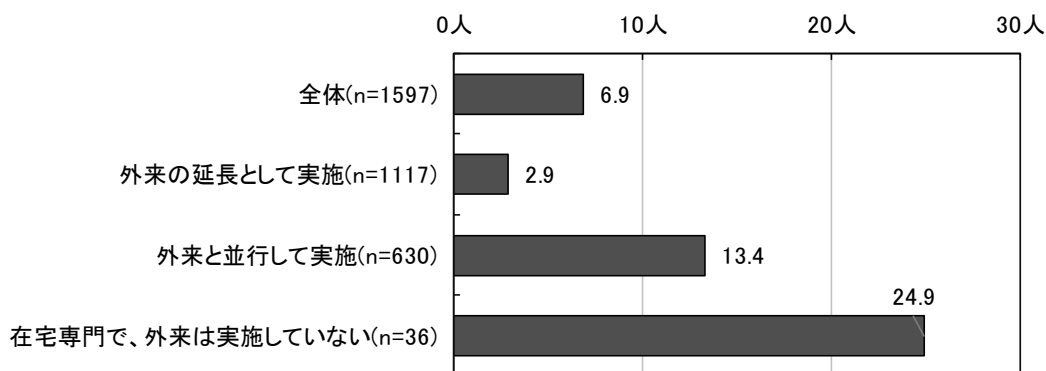
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

図表 187 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（一般診療所：Q19）往診の実施別平均件数



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

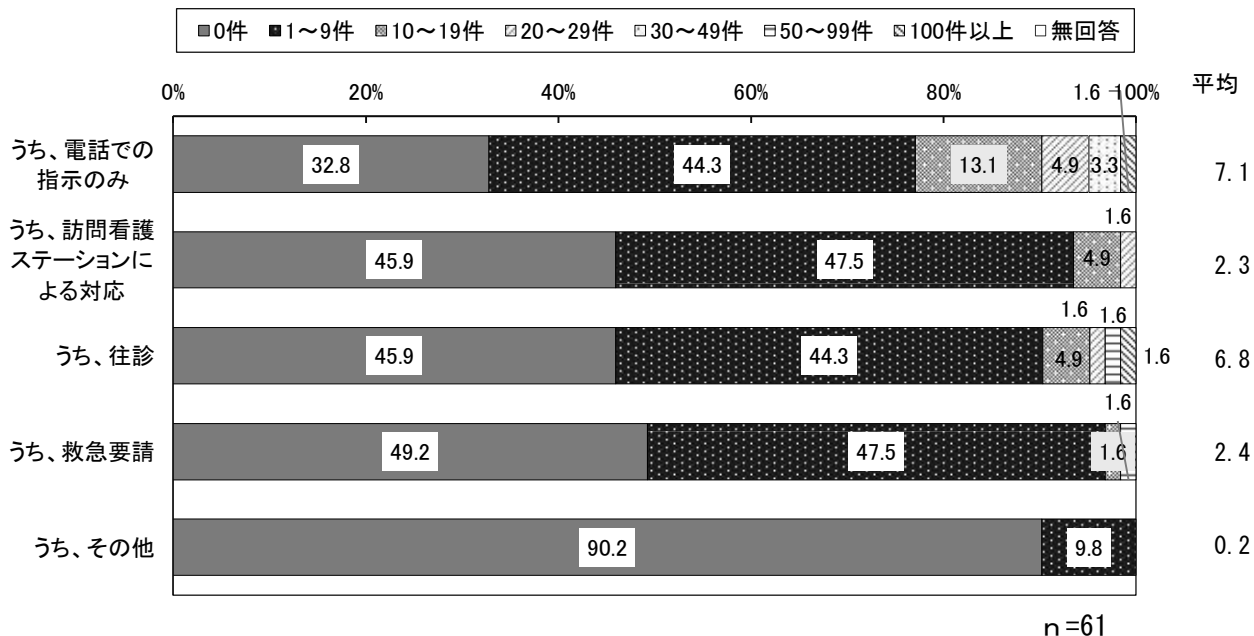
図表 188 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数（一般診療所：Q19）訪問診療の位置付け別平均件数



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設
平均は、「無回答」を除いて算出

1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳を病院についてみると、件数の平均では「電話での指示のみ」(7.1 件) が最も多く、次いで「往診」(6.8 件) である。

図表 189 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳（病院：Q18）



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数が 1 件以上ある 61 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 190 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳平均
(病院 : Q18) 二次医療圏別平均件数 n=61

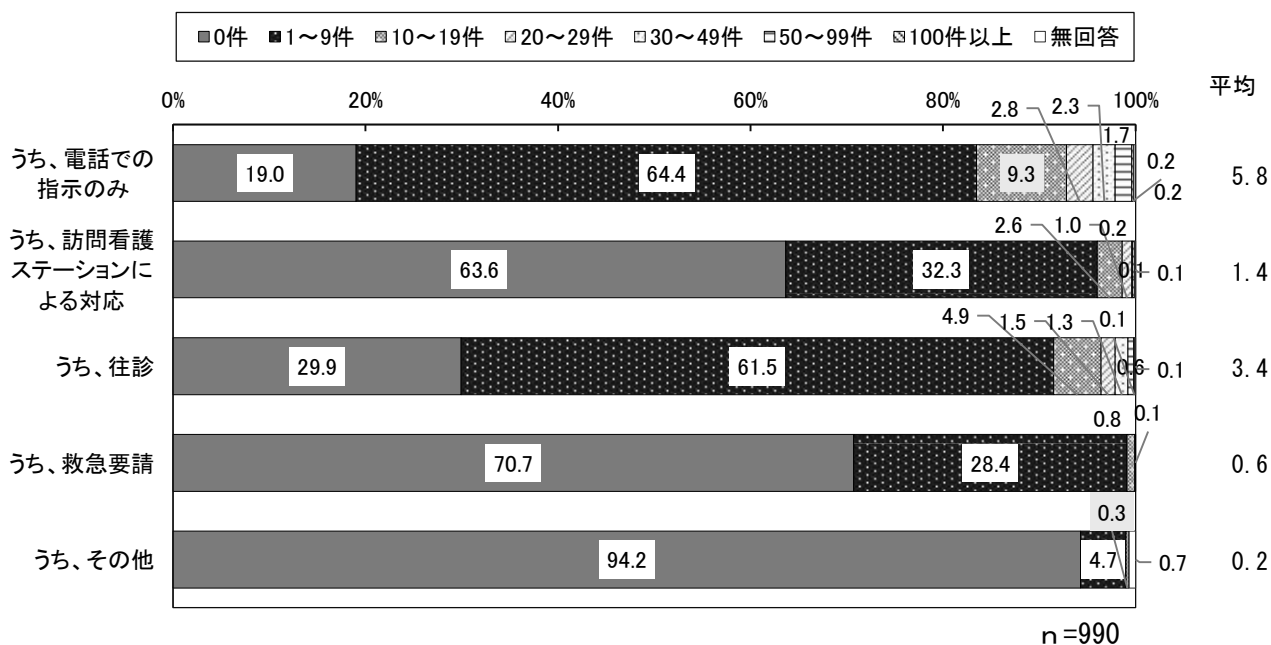
	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
電話での指示のみ	7.1	11.0	19.5	2.0	17.3	5.0	1.7	3.5	-	3.6	13.4	3.0	0.3	-
訪問看護ステーションによる対応	2.3	6.0	1.1	-	3.7	0.8	1.4	0.3	15.0	2.4	1.6	11.3	1.0	-
往診	6.8	3.3	2.1	-	4.0	26.8	8.2	0.3	1.0	1.2	5.0	2.7	1.0	-
救急要請	2.4	0.3	1.9	-	1.3	2.2	0.8	15.2	-	0.3	0.4	1.0	0.7	-
その他	0.2	-	-	-	-	0.2	0.2	0.3	-	-	1.0	-	0.3	-

集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数が 1 件以上ある 61 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳を一般診療所についてみると、件数平均では「電話での指示のみ」(5.8 件) が最も多く、次いで「往診」(3.4 件) である。

図表 191 1 か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳（一般診療所 : Q19)



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数が 1 件以上ある 990 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

図表 192 1か月間のおおよその休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数の内訳平均（一般診療所：Q19）二次医療圏別平均件数

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
電話での指示のみ	5.8	5.7	8.0	6.3	4.3	8.1	5.2	3.7	3.9	5.3	5.8	6.0	3.9	2.8
訪問看護ステーションによる対応	1.4	1.1	1.1	1.1	0.6	1.0	3.9	1.4	5.5	1.4	1.3	0.9	1.6	-
往診	3.4	2.2	3.5	4.0	2.1	5.4	3.0	3.9	3.9	2.9	2.6	2.9	3.1	2.0
救急要請	0.6	0.5	0.8	0.6	0.5	0.7	0.9	0.3	0.3	0.9	0.3	0.4	0.5	4.0
その他	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.4	0.3	0.1	-	0.2	0.3	0.2	0.3	1.0

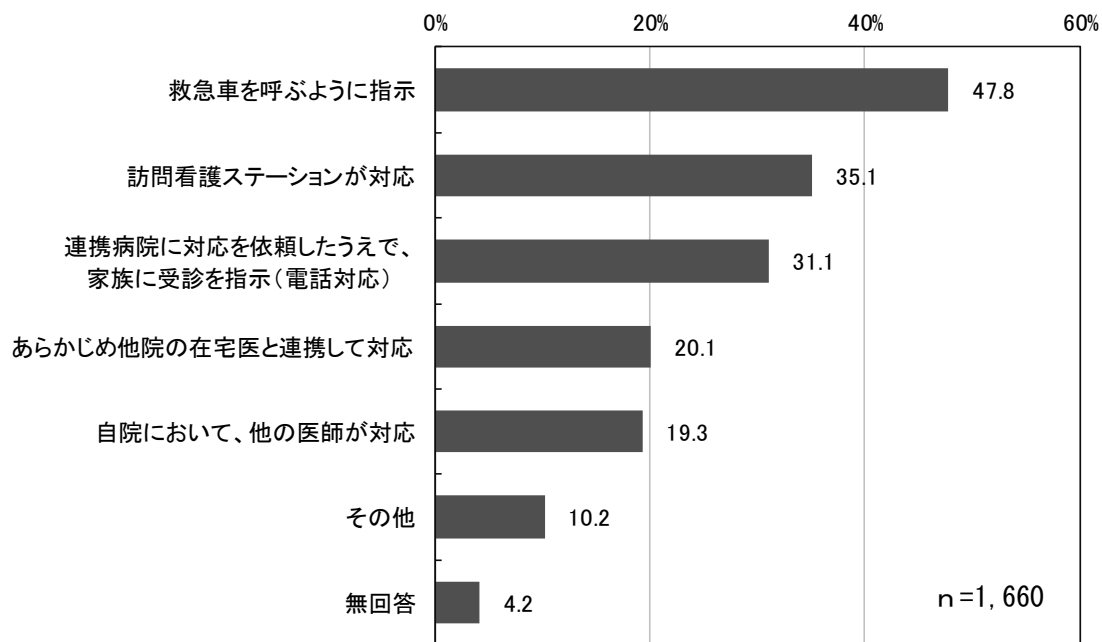
集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、休日・夜間の患者家族からの連絡への対応件数が 1 件以上ある 990 施設

平均は、「無回答」を除いて算出

(2) 主治医不在の休日・夜間に往診が必要となった場合の対応（一般診療所）

訪問診療を実施している一般診療所では、「救急車を呼ぶように指示」(47.8%)が最も多く、次いで「訪問看護ステーションが対応」(35.1%)、「連携病院に対応を依頼したうえで、家族に受診を指示（電話対応）」(31.1%)、「あらかじめ他院の在宅医と連携して対応」(20.1%)、「自院において、他の医師が対応」(19.3%)が続く。

図表 193 休日・夜間に往診が必要となったが主治医が不在の場合の主な対応（一般診療所:Q20）
（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 194 休日・夜間に往診が必要となったが主治医が不在の場合の主な対応（一般診療所:Q20）
二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1,660 100.0	143 100.0	164 100.0	219 100.0	207 100.0	229 100.0	141 100.0	146 100.0	27 100.0	121 100.0	57 100.0	119 100.0	79 100.0	8 100.0
救急車を呼ぶように指示	794 47.8	54 37.8	89 54.3	102 46.6	106 51.2	115 50.2	70 49.6	64 43.8	15 55.6	60 49.6	24 42.1	57 47.9	36 45.6	2 25.0
訪問看護ステーションが対応	582 35.1	55 38.5	44 26.8	69 31.5	69 33.3	64 27.9	49 34.8	60 41.1	7 25.9	58 47.9	24 42.1	43 36.1	40 50.6	-
連携病院に対応を依頼した うえで、家族に受診を指示 (電話対応)	517 31.1	41 28.7	53 32.3	74 33.8	63 30.4	78 34.1	36 25.5	47 32.2	5 18.5	32 26.4	17 29.8	39 32.8	31 39.2	1 12.5
あらかじめ他院の在宅医と 連携して対応	333 20.1	30 21.0	35 21.3	49 22.4	41 19.8	41 17.9	26 18.4	30 20.5	5 18.5	34 28.1	10 17.5	22 18.5	10 12.7	-
自院において、他の医師が 対応	321 19.3	31 21.7	19 11.6	36 16.4	38 18.4	42 18.3	38 27.0	31 21.2	6 22.2	23 19.0	15 26.3	21 17.6	16 20.3	5 62.5
その他	169 10.2	23 16.1	14 8.5	18 8.2	18 8.7	21 9.2	14 9.9	12 8.2	2 7.4	11 9.1	10 17.5	15 12.6	9 11.4	2 25.0
無回答	70 4.2	8 5.6	15 9.1	9 4.1	7 3.4	6 2.6	4 2.8	5 3.4	1 3.7	5 4.1	2 3.5	5 4.2	3 3.8	-

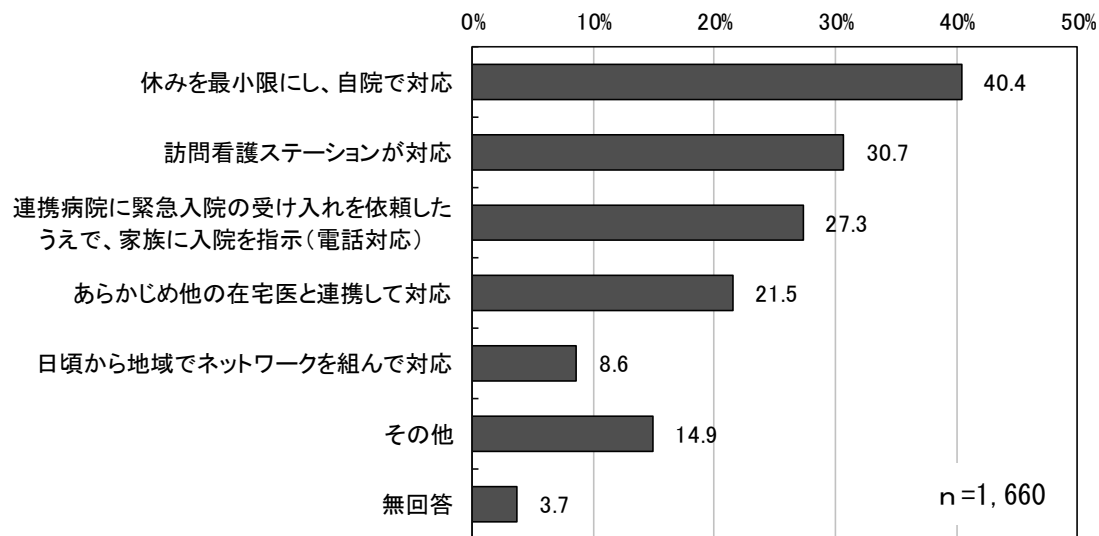
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

(3) 夏休みや年末年始における対応の工夫（一般診療所）

訪問診療を実施している一般診療所では、「休みを最小限にし、自院で対応」が40.4%と最も多く、次いで「訪問看護ステーションが対応」（30.7%）、「連携病院に緊急入院の受け入れを依頼したうえで、家族に入院を指示（電話対応）」（27.3%）、「あらかじめ他の在宅医と連携して対応」（21.5%）などが続く。

図表 195 夏休みや年末年始における対応の工夫（一般診療所：Q22）

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 196 夏休みや年末年始における対応の工夫（一般診療所：Q22）二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	1,660	143	164	219	207	229	141	146	27	121	57	119	79	8
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
休みを最小限にし、自院で対応	670	58	55	97	87	111	48	54	13	42	22	49	31	3
	40.4	40.6	33.5	44.3	42.0	48.5	34.0	37.0	48.1	34.7	38.6	41.2	39.2	37.5
訪問看護ステーションが対応	510	42	41	57	58	54	46	60	8	48	25	37	34	-
	30.7	29.4	25.0	26.0	28.0	23.6	32.6	41.1	29.6	39.7	43.9	31.1	43.0	-
携病院に緊急入院の受け入れを依頼したうえで、家族に入院を指示(電話対応)	453	37	53	50	63	67	48	46	6	19	18	27	19	-
	27.3	25.9	32.3	22.8	30.4	29.3	34.0	31.5	22.2	15.7	31.6	22.7	24.1	-
あらかじめ他の在宅医と連携して対応	357	36	31	52	48	39	31	26	6	36	9	28	15	-
	21.5	25.2	18.9	23.7	23.2	17.0	22.0	17.8	22.2	29.8	15.8	23.5	19.0	-
日頃から地域でネットワークを組んで対応	142	10	18	12	14	22	13	9	3	16	7	12	5	1
	8.6	7.0	11.0	5.5	6.8	9.6	9.2	6.2	11.1	13.2	12.3	10.1	6.3	12.5
その他	248	20	21	28	27	29	28	20	-	18	16	22	15	4
	14.9	14.0	12.8	12.8	13.0	12.7	19.9	13.7	-	14.9	28.1	18.5	19.0	50.0
無回答	62	9	16	6	6	6	3	3	1	4	-	4	4	-
	3.7	6.3	9.8	2.7	2.9	2.6	2.1	2.1	3.7	3.3	-	3.4	5.1	-

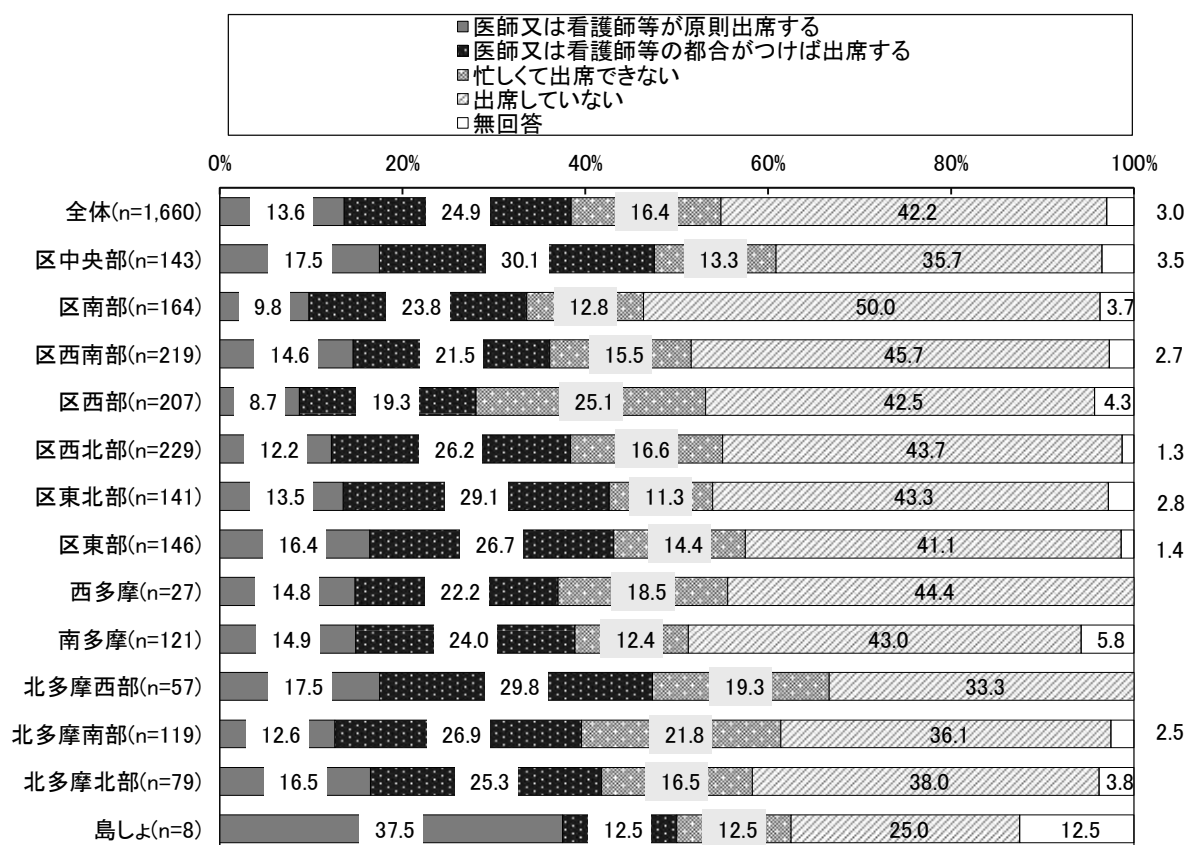
集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

5 退院前合同カンファレンスへの出席状況（一般診療所）

一般診療所では、「出席していない」が42.2%と4割を超える。「医師又は看護師等が原則出席する」との回答は、13.6%にとどまる。

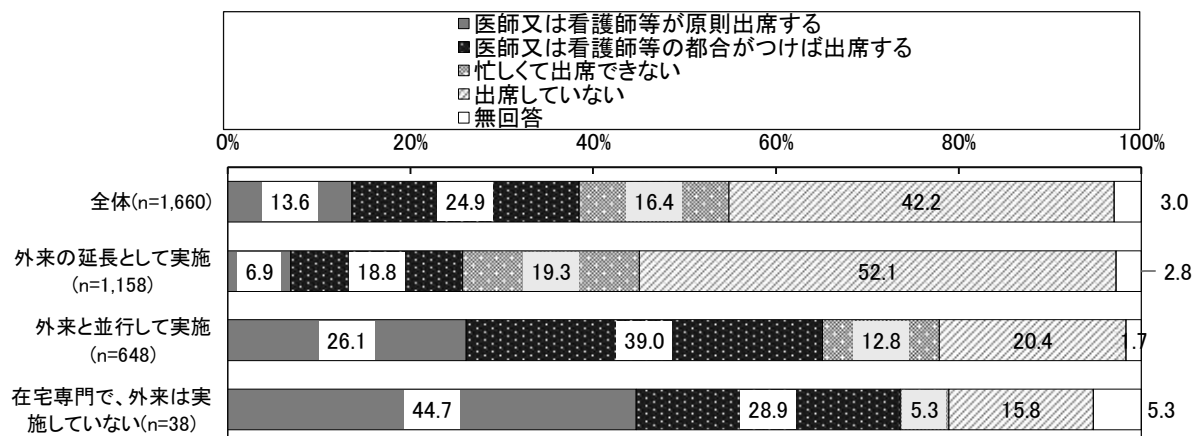
訪問診療の位置付け別では、「外来と並行して実施」している施設は「都合がつけば出席する」が39.0%で、「在宅専門で、外来は実施していない」施設は「原則出席する」が44.7%を占める。

図表 197 病院での退院前合同カンファレンス（退院時共同指導）への出席（一般診療所：Q30）
二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

図表 198 病院での退院前合同カンファレンス（退院時共同指導）への出席（一般診療所：Q30）
訪問診療の位置付け別



6 ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールの利用

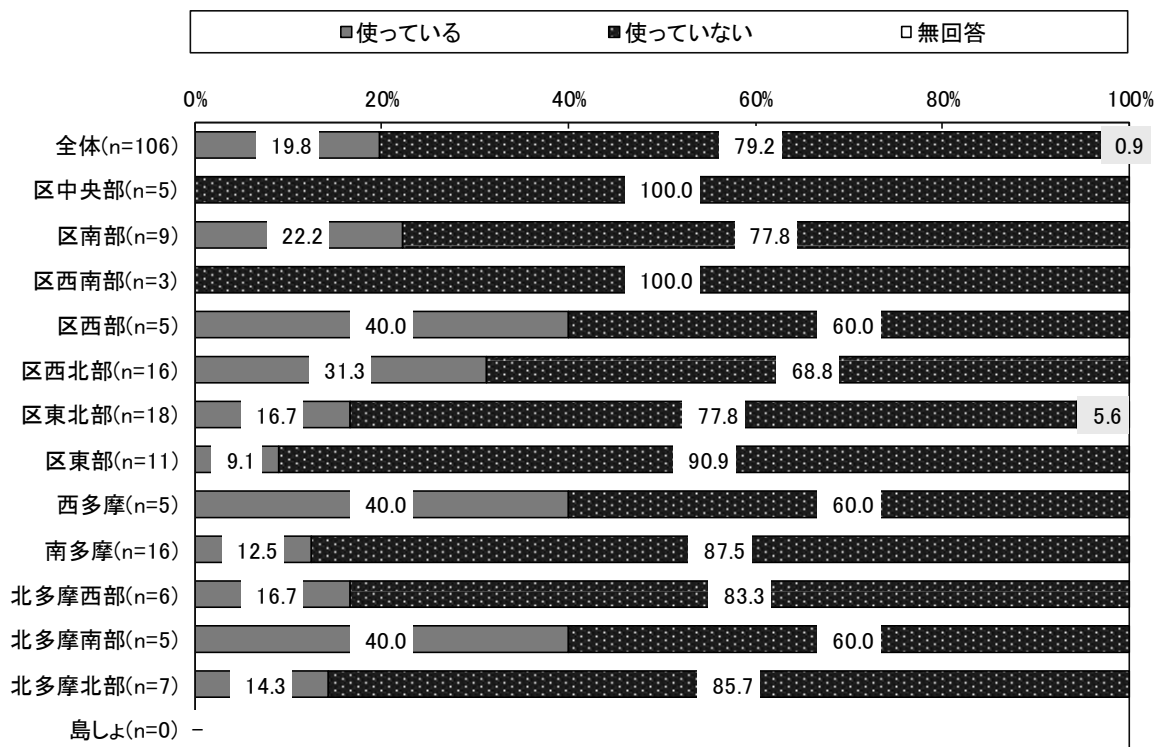
(1) ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有

① ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールの利用状況

訪問診療を実施している施設のうち、医療・介護関係者間で情報共有ツールを用いて、訪問診療を行っている患者の情報を共有している病院は19.8%、一般診療所は26.1%である。

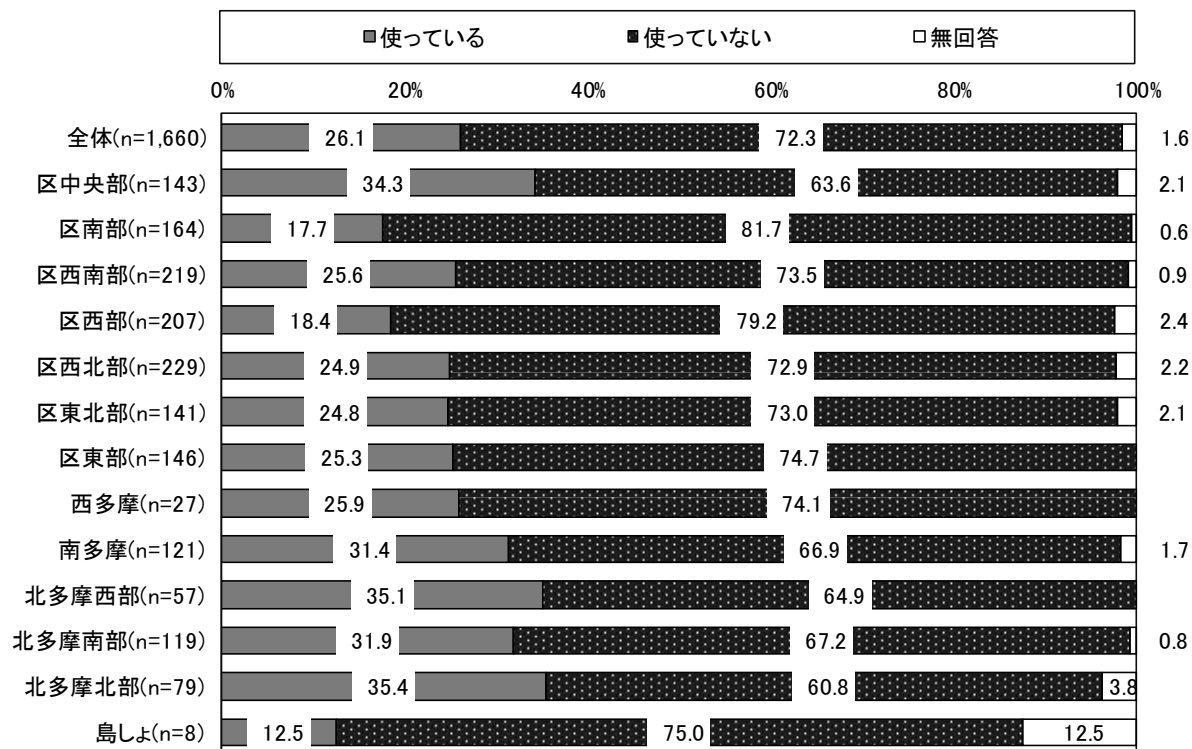
使用している情報共有ツールについて、「区市町村や地区医師会が導入している情報共有ツールを使っている」病院は57.1%、一般診療所が62.8%となっている。

図表 199 ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者の情報共有（病院：Q24（1）①）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

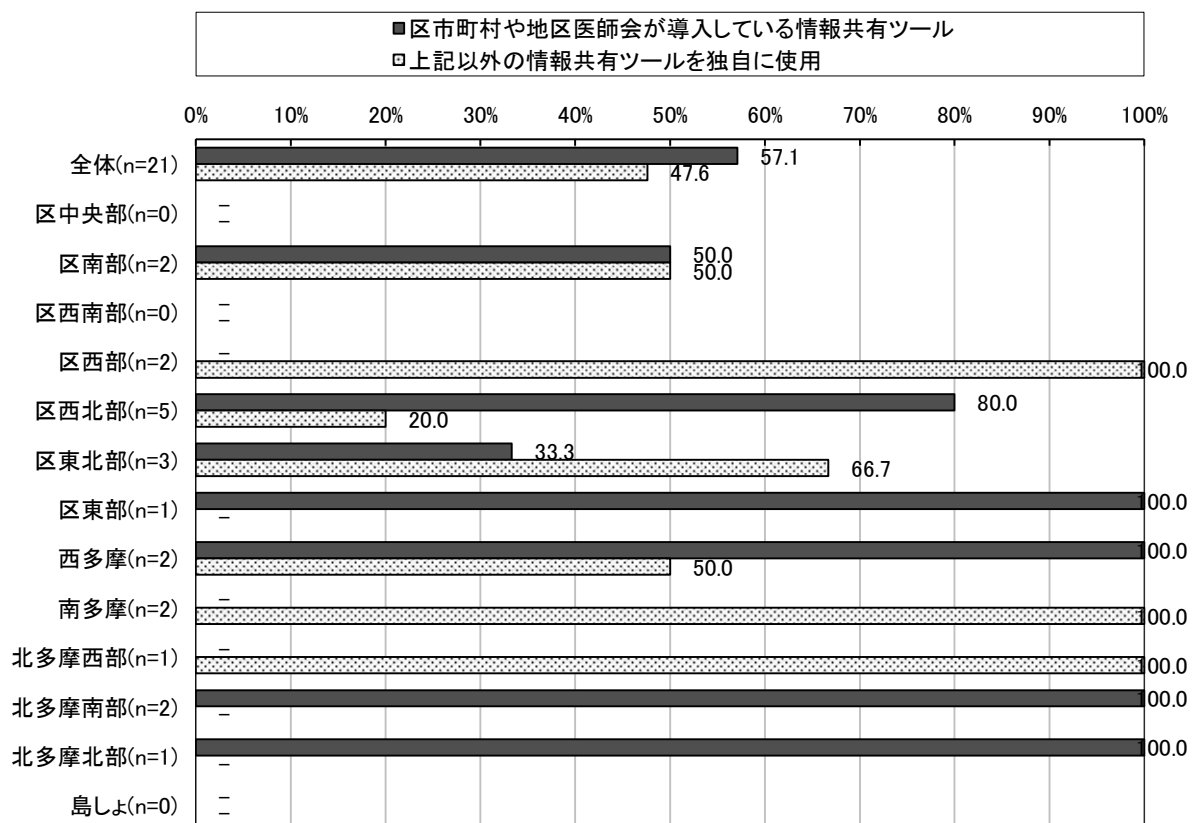
図表 200 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者の情報共有（一般診療所：Q31-①）二次医療圏別



集計対象：調査に回答した一般診療所全 8,864 施設のうち、訪問診療を実施している 1,660 施設

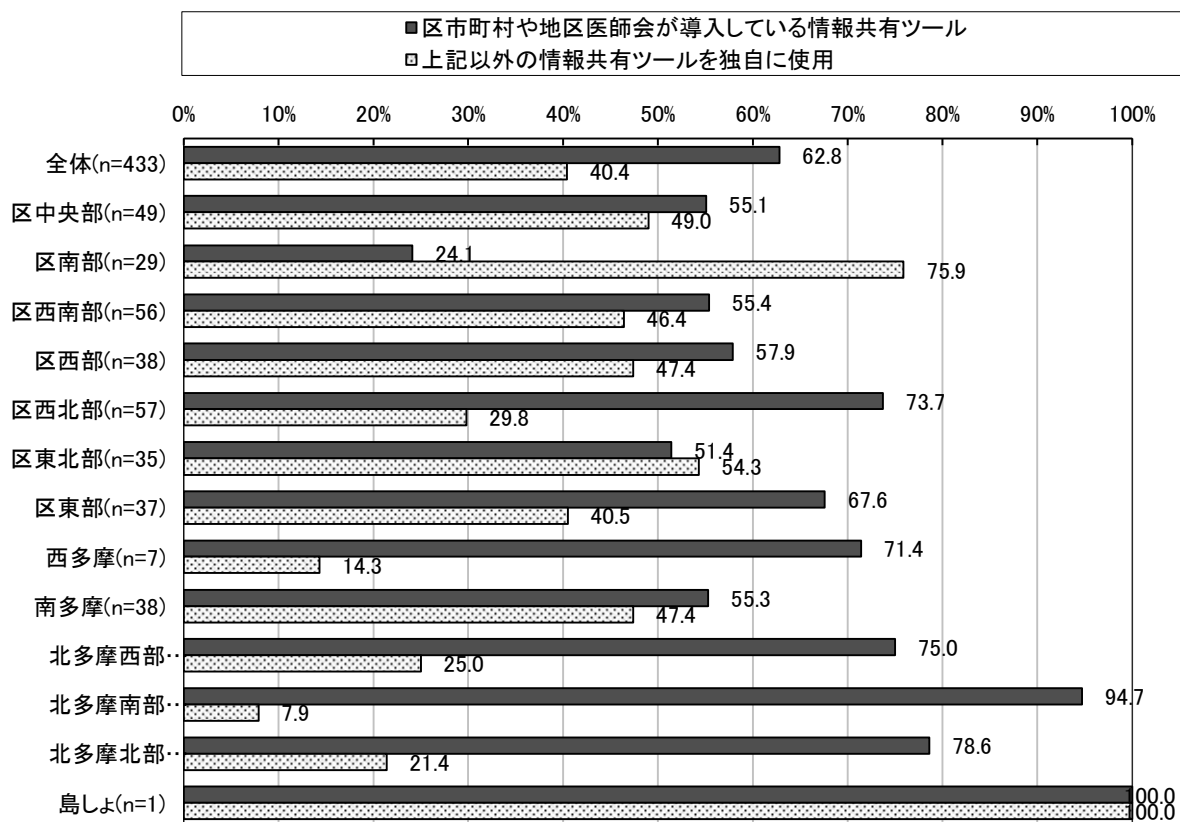
図表 201 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者の情報共有のために使用している情報共有ツール (病院：Q24 (1) ②) 二次医療圏別

(複数回答のため、合計値は 100%を超える)



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っている 21 施設

図表 202 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者の情報共有のために使用している情報共有ツール（一般診療所：Q31-②）二次医療圏別（複数回答のため、合計値は100%を超える）

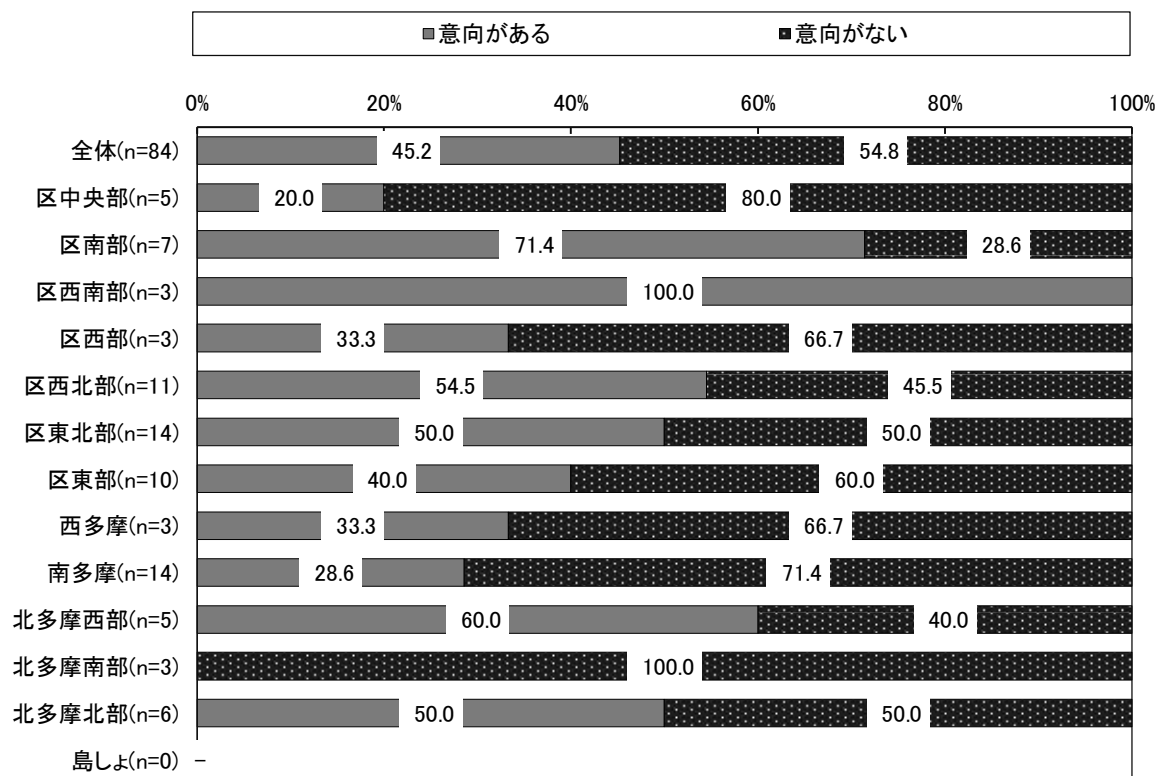


集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っている 433 施設

② 未利用者の利用意向の有無

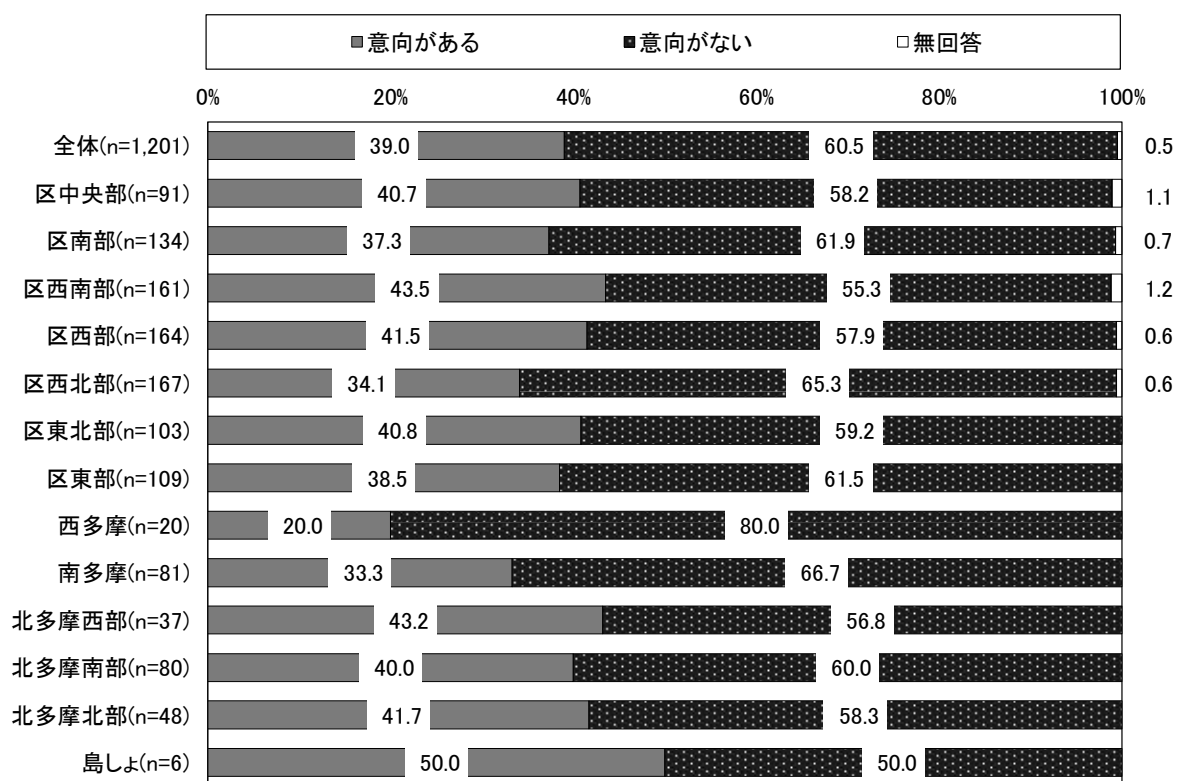
病院では、現在、「訪問診療を行っている患者の情報共有を目的として、ICTを利用した情報共有ツールを利用していない施設」のうち、45.2%が、今後の利用意向について「意向がある」と回答。一般診療所では、39.0%が「意向がある」と回答。

図表 203 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者のための情報共有ツールの、今後の利用意向（病院：Q24（1）③）二次医療圏別



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っていない 84 施設

図表 204 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者の情報共有のための、今後の利用意向（一般診療所：Q31-③）二次医療圏別



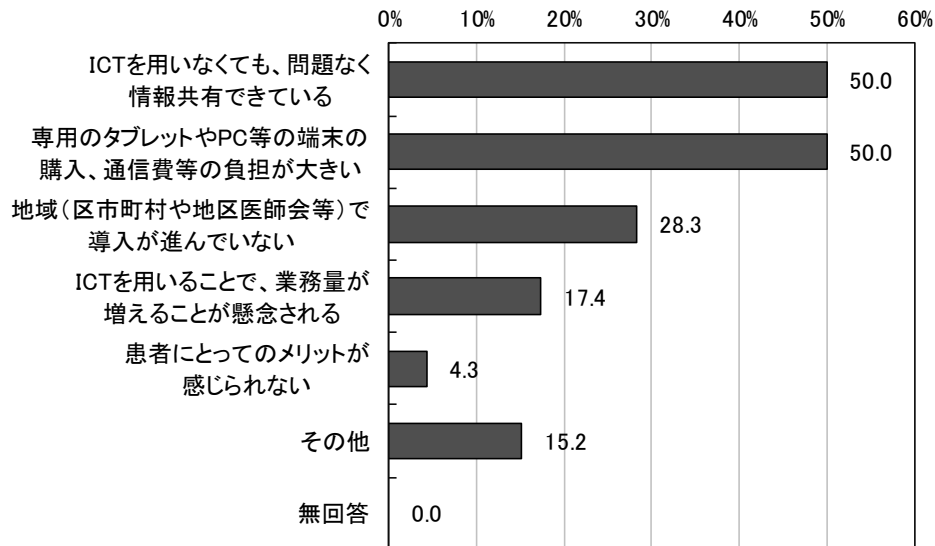
集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っていない 1,201 施設

③ 利用意向がない理由

病院では、「ICT を用いなくても、問題なく情報共有できている」と「専用のタブレットやパソコン等の端末の購入、通信費等の負担が大きい」がともに 50.0%と最も多くなっている。

図表 205 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者のための情報共有ツールの利用意向がない理由（病院：Q24（1）④）

（複数回答のため、合計値は 100%を超える）



n=46

集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っておらず、今後も利用意向がない 46 施設

図表 206 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツール—訪問診療を行っている患者のための情報共有ツールの利用意向がない理由（病院：Q24（1）④）二次医療別圏

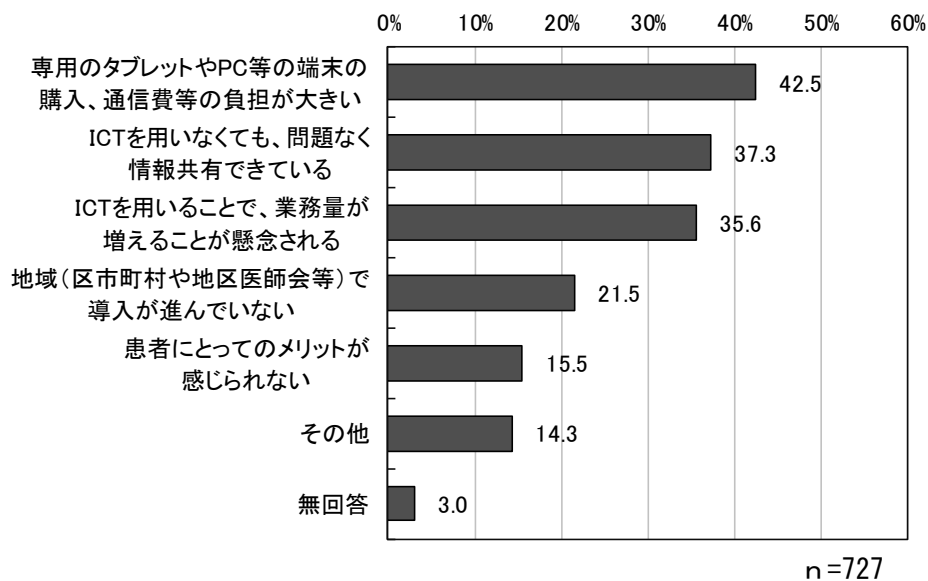
（複数回答のため、合計値は 100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	46	4	2	-	2	5	7	6	2	10	2	3	3	-
	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている	23	2	1	-	-	3	5	4	1	5	-	1	1	-
	50.0	50.0	50.0	-	-	60.0	71.4	66.7	50.0	50.0	-	33.3	33.3	-
専用のタブレットやPC等の端末の購入、通信費等の負担が大きい	23	1	1	-	1	2	5	2	1	6	2	1	1	-
	50.0	25.0	50.0	-	50.0	40.0	71.4	33.3	50.0	60.0	100.0	33.3	33.3	-
地域(区市町村や地区医師会等)で導入が進んでいない	13	1	-	-	-	1	2	1	1	4	1	2	-	-
	28.3	25.0	-	-	-	20.0	28.6	16.7	50.0	40.0	50.0	66.7	-	-
ICTを用いることで、業務量が増えることが懸念される	8	1	-	-	1	2	1	1	-	1	1	-	-	-
	17.4	25.0	-	-	50.0	40.0	14.3	16.7	-	10.0	50.0	-	-	-
患者にとってのメリットが感じられない	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	4.3	-	-	-	-	-	-	16.7	-	10.0	-	-	-	-
その他	7	1	1	-	-	-	-	1	-	2	1	-	1	-
	15.2	25.0	50.0	-	-	-	-	16.7	-	20.0	50.0	-	33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一般診療所では、「専用のタブレットやパソコン等の端末の購入、通信費等の負担が大きい」が42.5%と最も多く、次いで「ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている」(37.3%)、「ICTを用いることで、業務量が増えることが懸念される」(35.6%)などの理由が多くなっている。

図表 207 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー訪問診療を行っている患者のための情報共有ツールの利用意向がない理由（一般診療所：Q31-④）

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：訪問診療を実施している一般診療所 1,660 施設のうち、ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールを使っておらず、今後も利用意向がない 727 施設

図表 208 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー訪問診療を行っている患者のための情報共有ツールの利用意向がない理由（一般診療所：Q31-④）二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

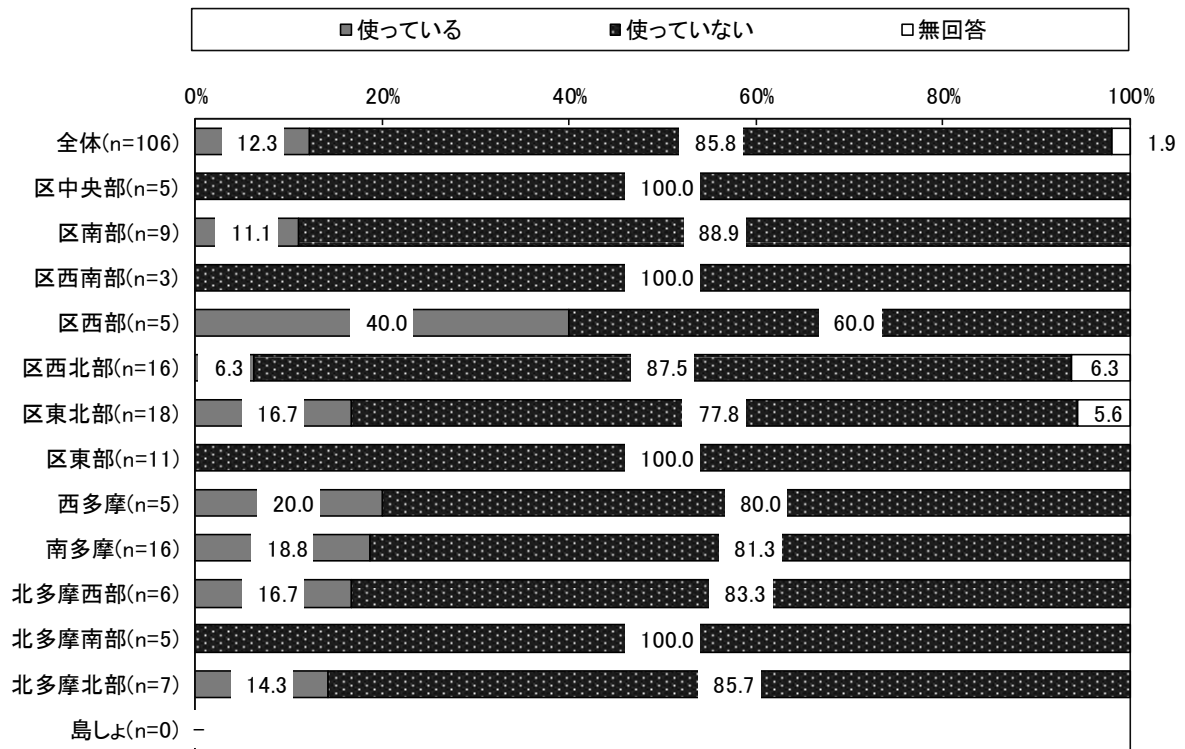
	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	727 100.0	53 100.0	83 100.0	89 100.0	95 100.0	109 100.0	61 100.0	67 100.0	16 100.0	54 100.0	21 100.0	48 100.0	28 100.0	3 100.0
専用のタブレットやPC等の端末の購入、通信費等の負担が大きい	309 42.5	19 35.8	33 39.8	33 37.1	43 45.3	52 47.7	32 52.5	30 44.8	5 31.3	26 48.1	10 47.6	18 37.5	8 28.6	-
ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている	271 37.3	18 34.0	24 28.9	32 36.0	37 38.9	36 33.0	28 45.9	33 49.3	10 62.5	21 38.9	7 33.3	18 37.5	5 17.9	2 66.7
ICTを用いることで、業務量が増えることが懸念される	259 35.6	19 35.8	27 32.5	34 38.2	31 32.6	42 38.5	24 39.3	24 35.8	7 43.8	21 38.9	6 28.6	14 29.2	9 32.1	1 33.3
地域(区市町村や地区医師会等)で導入が進んでいない	156 21.5	10 18.9	23 27.7	17 19.1	25 26.3	21 19.3	15 24.6	13 19.4	3 18.8	10 18.5	4 19.0	10 20.8	4 14.3	1 33.3
患者にとってのメリットが感じられない	113 15.5	11 20.8	13 15.7	18 20.2	19 20.0	15 13.8	14 23.0	6 9.0	2 12.5	4 7.4	2 9.5	5 10.4	4 14.3	-
その他	104 14.3	8 15.1	15 18.1	19 21.3	16 16.8	12 11.0	6 9.8	5 7.5	3 18.8	11 20.4	1 4.8	5 10.4	3 10.7	-
無回答	22 3.0	2 3.8	2 2.4	2 2.2	-	7 6.4	-	2 3.0	1 6.3	1 1.9	-	2 4.2	3 10.7	-

(2) ICTを活用した入院患者の情報共有（病院）

① ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールの利用状況

訪問診療を実施している病院のうち、患者の入退院時などに入院患者の情報を地域の医療・介護関係者間で共有することを目的として、ICTを活用した情報共有ツールを「使っている」と回答した病院は12.3%であった。

図表 209 ICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー入院患者の情報共有（病院：Q24（2）①）二次医療圏別

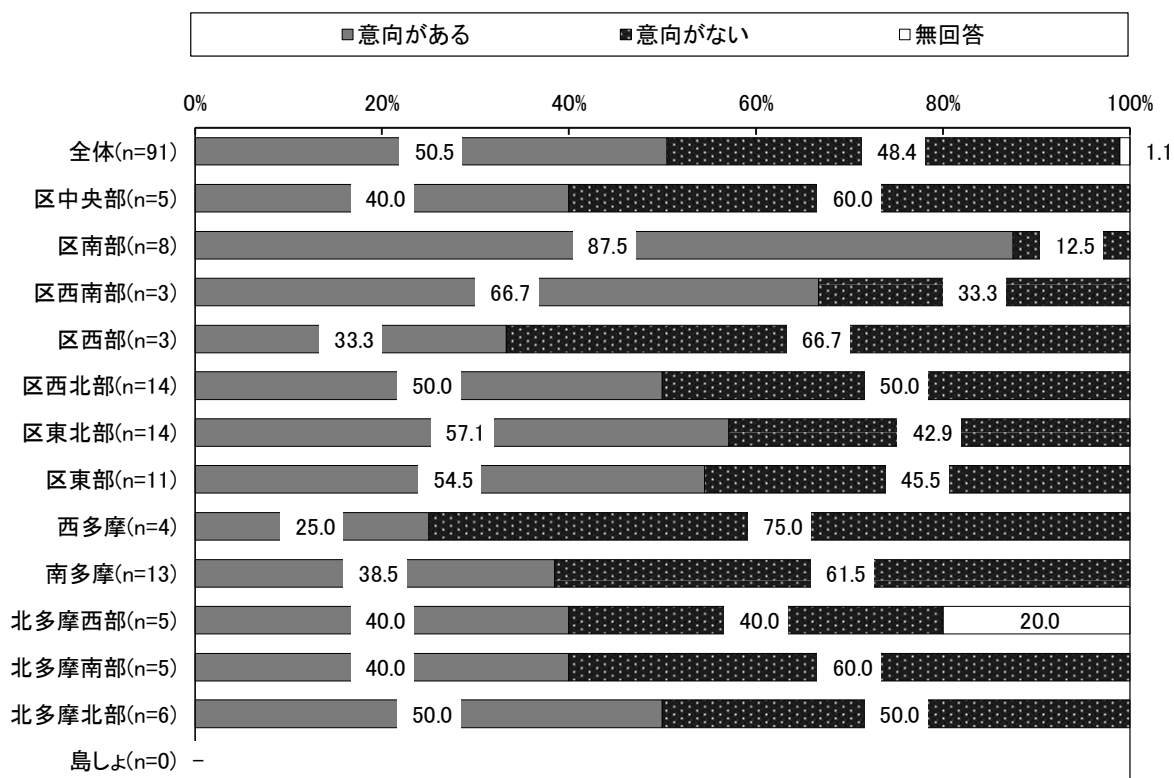


集計対象：調査に回答した病院全 366 施設のうち、訪問診療を実施している 106 施設

② 未利用者の利用意向の有無

患者の入退院時などに入院患者の情報を地域の医療・介護関係者間で共有することを目的として、ICTを活用した情報共有ツールを「使っていない」と回答した訪問診療を実施している病院のうち、今後、情報共有ルールを用いる「意向がある」との回答が50.5%で半数となっている。

図表 210 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー入院患者の情報共有のための情報共有ツールの利用意向（病院：Q24（2）②）二次医療圏別



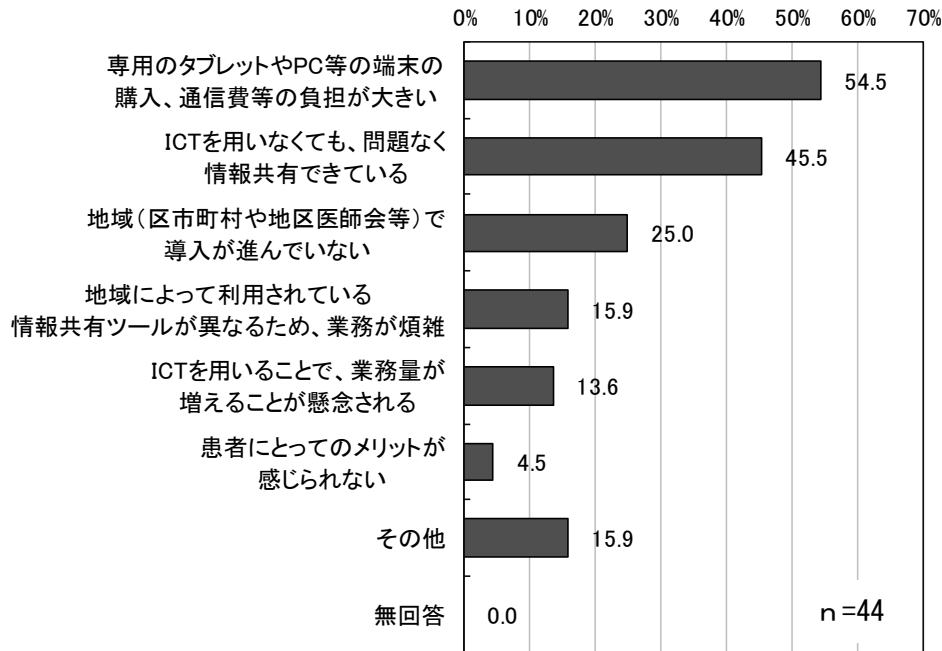
集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、入院患者のための情報共有ツールを使っていない 91 施設

③ 利用意向がない理由

病院での入院患者の情報共有ツールの利用意向がない理由は、「専用のタブレットやパソコン等の端末の購入、通信費等の負担が大きい」が54.5%と最も多く、次いで「ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている」(45.5%)などが続いている。

図表 211 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー入院患者の情報共有のための情報共有ツールの利用意向がない理由（病院：Q24（2）③）

（複数回答のため、合計値は100%を超える）



集計対象：訪問診療を実施している病院 106 施設のうち、今後も入院患者のための情報共有ツールを使う意向がない 44 施設

図表 212 ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有ツールー入院患者の情報共有のための情報共有ツールの利用意向がない理由（病院：Q24（2）③）二次医療圏別

（複数回答のため、合計値は100%を超える）

	全体	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
全体	44 100.0	3 100.0	1 100.0	1 100.0	2 100.0	7 100.0	6 100.0	5 100.0	3 100.0	8 100.0	2 100.0	3 100.0	3 100.0	-
専用のタブレットやPC等の端末の購入、通信費等の負担が大きい	24 54.5	1 33.3	1 100.0	1 100.0	1 50.0	3 42.9	4 66.7	1 20.0	1 33.3	6 75.0	2 100.0	1 33.3	2 66.7	-
ICTを用いなくても、問題なく情報共有できている	20 45.5	-	1 100.0	-	-	4 57.1	5 83.3	3 60.0	2 66.7	4 50.0	-	1 33.3	-	-
地域（区市町村や地区医師会等）で導入が進んでいない	11 25.0	-	-	-	-	1 14.3	1 16.7	-	2 66.7	2 25.0	1 50.0	3 100.0	1 33.3	-
地域によって利用されている情報共有ツールが異なるため、業務が煩雑	7 15.9	1 33.3	-	-	-	2 28.6	-	-	-	2 25.0	1 50.0	1 33.3	-	-
ICTを用いることで、業務量が増えることが懸念される	6 13.6	-	-	-	1 50.0	1 14.3	2 33.3	-	-	1 12.5	1 50.0	-	-	-
患者にとってのメリットが感じられない	2 4.5	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	1 12.5	-	-	-	-
その他	7 15.9	2 66.7	-	-	-	-	-	1 20.0	-	2 25.0	1 50.0	-	1 33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-